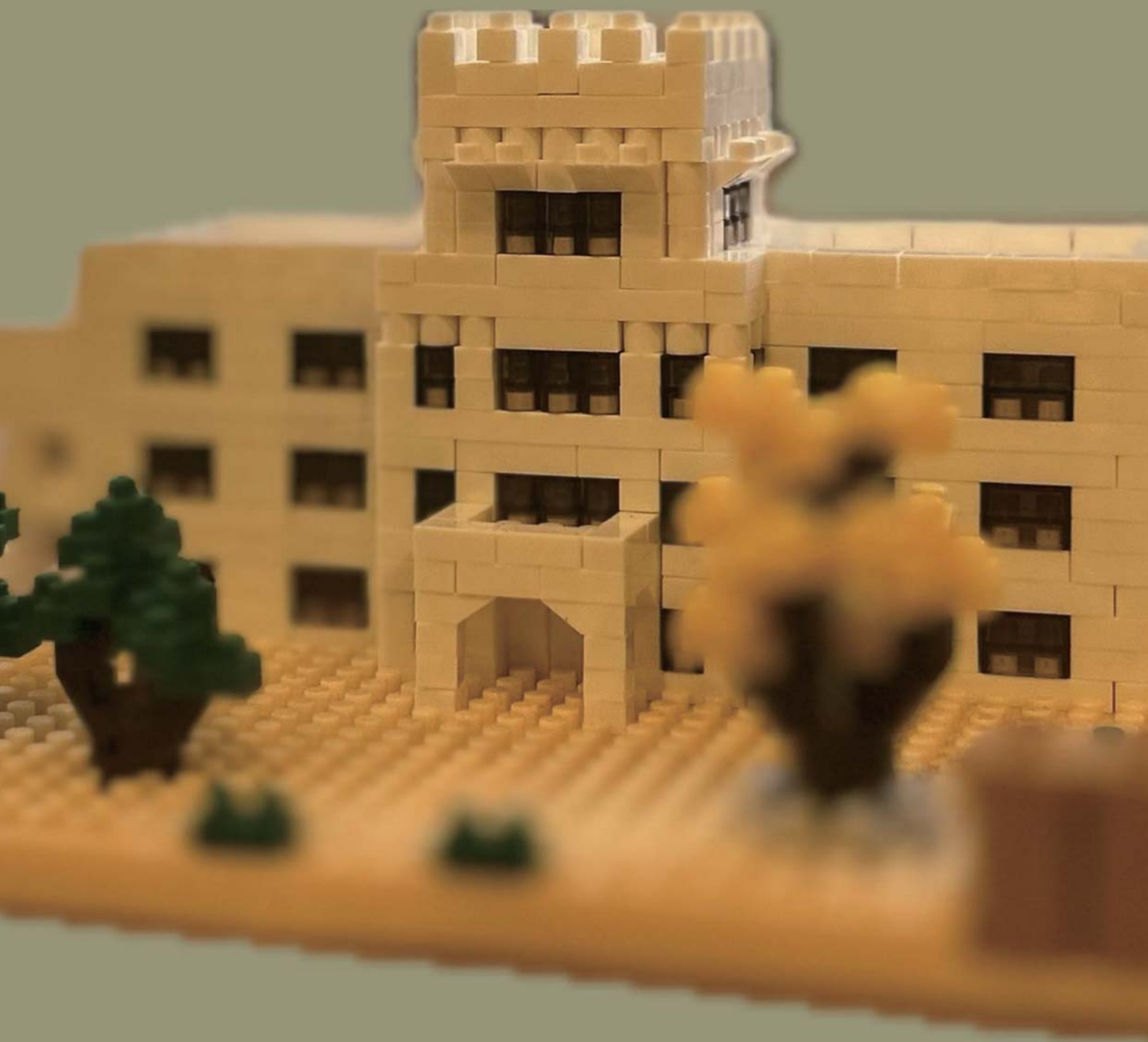


研究年報

2 0 2 4

KONAN RESEARCH ANNUAL REPORT



甲南大学

研究年報

2 0 2 4

KONAN RESEARCH ANNUAL REPORT

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

挨拶

研究TOPICS 2

データで見る研究力 8

表彰アワード 12

研究推進組織体制 16

附置研究所の活動報告

特定プロジェクト研究所の活動報告

研究業績一覧 32

挨拶



甲南学園は、創立者・平生鈇三郎の教育理念

「個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」の下に発展を続け、創立100周年を超えて「甲南新世紀」を力強く歩み続けています。

その中にあって人文・自然・社会科学の3分野を備えた学生数約9,000名の

“ミディアムサイズ総合大学”である甲南大学は、“人物教育のクオリティ・リーダー”として、研究分野の広がりや隅々まで行き届く質の高い教育の実現を追い求めてきました。

甲南新世紀ビジョン「KONAN U.VISION2025」では、「世界に通用する研究力と地域社会の発展に資する共働互助の力を教育に生かし、人物の育成と社会貢献を通じてよりよい社会の実現に持続的に貢献する大学になる」との決意を「ありたき姿」の一つとして掲げています。

良質な研究が甲南大学の教育基盤を支え、その質の高い教育を受けた卒業生を世に送り出すことこそが社会貢献につながるという考えのもと、世界レベルの先進的な研究を行っている教員が、日々学生の成長を支えていることを誇りに、研究力の向上を目指しています。

甲南大学の卒業生は関西経済界をはじめ世界を舞台として各界で活躍し、広く根をはったネットワークを形成しています。産官学連携研究の推進も重要な取り組みであり、このネットワークは今後さらに重要性を増すことでしょう。甲南大学の活躍のフィールドは、キャンパスを置く岡本の街、東灘区、神戸市、西宮市、兵庫県にとどまらず、姫路市、加古川市、堺市、和歌山市、そして、京都府、徳島市や中四国の各県との協定を通じてさまざまな自治体、そして世界へと広がっています。これらの「つながる力」を生かし、研究成果の教育への還元をはかりながら、学生が主体的に地域の課題解決に参画するプロジェクトも展開しています。

世界レベルの最新の研究成果が教育にしっかりと還元され、その質を漸進的に高め続けることによって、「選ばれる大学」、「確かな価値を提供する大学」そして「社会に貢献する大学」であり続けたいと考えています。

甲南大学長 中井 伊都子

研究TOPICS

10号館1階「i Entrance」が完成

10号館1階の「i Entrance」が完成し、2025年3月25日の学位記授与式に合わせてオープンしました。「i Entrance」内で展開している「知のギャラリー」では、デジタルサイネージや展示棚、ポスターを通して研究・教育などについて発信しています。



令和6年度「私立大学等改革総合支援事業」タイプ2に採択

「私立大学等改革総合支援事業」は、教育及び研究面からの大学改革に組織的・体系的に取り組む私立大学等を選定し、当該大学等の財政基盤の充実を図ることを目的に、平成25年度から開始された事業です。

このたび本学は、タイプ2「特色ある高度な研究の展開」に初めて採択されました。4年制大学からのタイプ2への申請は120件、採択は45件（選定率38%）でした。

「知財ワン・ツー・スリー！プロジェクト」始動

2024年度より、知財に関する人材育成プロジェクトに取り組んでいます。ステップ1では、オンデマンドコンテンツを視聴し知財に関する知識を習得、ステップ2では、「キャリア創生共通科目」（2年次配当）を受講し、特許に関する知識を深め、そしてステップ3では、学生がひらめいたアイデアを実際に特許化する体験ができます。申請に必要な費用（※）は本学が負担し、申請手続きも全面的にサポートします。知的財産権や特許制度に関する知識を得ることで、自身の研究成果や技術の価値を最大化する戦略を考える力を身につけることができます。また、企業や研究機関での研究開発、知的財産管理などで必要とされる知識を身につけることで、卒業後のキャリアの選択肢を広げることも期待できます。

※特許出願にかかる費用（14,000円）及び専門家による書類作成や申請手続き代行にかかる費用

知財スキルを持つ人材が
社会で活躍しています！

甲南大学が皆さんの知財リテラシーの修得をサポートします。



あなたの
ひらめきを
特許に！



知財スキルに興味がある人は
是非チャレンジしてください

オンデマンドコンテンツ
を視聴しよう！

ステップ1

フロンティア研究推進機構が配信するオンデマンドコンテンツを視聴し、知的財産権や特許制度に関する知識を修得し、知的財産についてのリテラシーを身につけましょう。

知財に関する開講科目
を受講しよう！

ステップ2

2年次からキャリア創生共通科目で知財に関する科目を受講することができます。講義科目を受講し、知財に関する理論を身につけましょう。

特許申請の手続き
を体験しよう！

ステップ3

学生・大学院生の発明を費用面・技術面からサポートします。弁護士による指導を受けることで、特許申請に関する一連の実務を体験し、自身のキャリアに役立ててください。

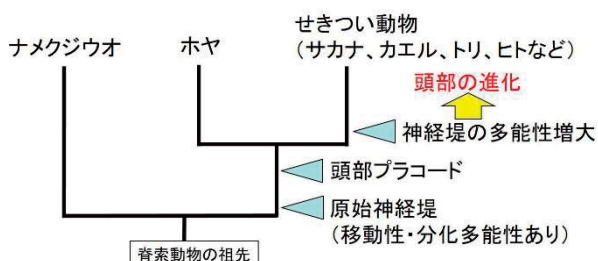
甲南大学プレミアプロジェクト
知財ワン・ツー・スリー！
プロジェクト

【甲南大学／中部大学】ヒトの頭をつくる組織の「元」をホヤで発見。脊椎動物における頭部の進化の謎解明に期待—研究成果が英国科学雑誌Natureに掲載

理工学部の日下部岳広教授と中部大学先端研究センターの大沼耕平博士研究員は、米国の大学との国際共同研究によって、脊椎動物の発達した頭部の進化のカギを握る組織である「神経堤」が、脊椎動物に近い生物であるホヤに存在することを明らかにしました。脊椎動物以外の生物では、脊椎動物にみられる神経堤が発見されていなかったため、私たちの頭部がどのように進化してきたのか、大きな謎でした。

今後、体のつくりが単純なホヤを神経堤研究のモデル生物として用いることで、神経堤に特有の性質と進化の謎の解明が期待されます。なお、本研究成果は、2024年10月24日Natureオンライン版に掲載されました。

英国科学雑誌Natureへの掲載は2015年以來の快挙です。Natureには、毎週およそ200編の論文が投稿されていますが、誌面に限りがあるため、そのわずか8%あまりの論文しか掲載できません。



次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) 選抜学生の声を発信

「次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)」は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う存在である、志の高い優秀な博士後期課程学生に対して、経済的支援を強化し、幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めることを目的としています。この事業は、上記目的を主体的に行う実力と意欲のある大学の取組を、国として支援する制度です。本学では、選抜された博士後期課程学生に対して、年間で生活費相当額として約200万円、研究費として約50万円を支給しています。2024年度は9名の大学院博士後期課程学生が制度を活用しています。

次世代を担う博士後期課程の学生から、現在の研究テーマや次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) を通じて期待していること、将来の目標といった、「研究」の魅力だけではなく、大学院を目指す学部生や高校生に向けてのメッセージ等、YouTubeやKONAN-PLANETで発信しています。



総合研究所「大学院生研究助成」再開

総合研究所では、2024 年度から学際的あるいは先端的な研究に挑戦しようとする大学院生の研究チームまたは個人を対象に、「大学院生研究助成」を再開しました。2024 年度は 4 名の応募があり、応募書類に基づき書類審査が行われた結果、フロンティアサイエンス研究科博士課程 1 年次の山田詢介さんが採択され、研究費として、75 万円が助成されました。

山田詢介さんの研究内容は、「これまで単体金属（銅、ニッケルにのみ適用されてきた SED 法に対し、2 種以上の金属イオンが同時に反応する多成分系イオン輸送プロセスを平衡論・速度論的に記述し、金属イオンと膜のイオン交換基間の相互作用が、電解質膜におけるイオン拡散及び輸送選択性に与える影響を解明することを目的として研究を進める。」となっており、高い研究成果が期待されます。

2024 年 10 月には目録贈呈式が行われ、三上和彦総合研究所長から山田詢介さんに目録が贈呈された後、中井学長からご祝辞と激励のお言葉をいただきました。指導教員であるフロンティアサイエンス学部 of 赤松教授からは、山田詢介さんの日頃の研究の状況などのご紹介があり、終始和やかな雰囲気です式が行われました。山田詢介さんの研究成果は、総合研究所ホームページで公開されています。



第2回甲南大学先端研究社会実装シンポジウム開催決定

第 2 回 甲南大学先端研究社会実装シンポジウムを 2025 年 11 月 21 日（金）に開催することとなりました。基調講演には、株式会社東芝 島田太郎 代表取締役 社長執行役員 CEO（1990 年本学理理学部・物理学科卒業）をお招きし、特別講演では、フロンティアサイエンス学部の長濱宏治教授が登壇します。また、第 1 回（2023 年 9 月開催）同様に、展示ブース・出展者によるプレゼンテーション・大学院生のポスター展示を予定しています。申込方法は 9 月からホームページ等で告知する予定です。みなさまのご参加をお待ちしています。

特別講演

「再生医療の革新と普及を実現する機能性ゲルの創出」



長濱 宏治
NAGAHAMA Koji
甲南大学フロンティアサイエンス学部 教授

特別講演にはフロンティアサイエンス学部の長濱教授が登壇します。
近年の医療の目覚ましい進歩は、医学、薬学、生物学などの学術の進展に加え、材料や機器の進展にも基づいています。つまり、医師（医学研究者）や薬剤師（創薬研究者）に加え、材料や機器を開発するモノづくりの研究者なくして現代医療（未来医療も）は成り立ちません。
長濱教授は未来医療を拓く医療材料を創出する研究に取り組んでおり、研究のゴールは、創出した医療材料を社会実装して医療現場に届け、従来の医療では救えない多くの人々を救うことです。
特別講演では、次世代医療として有望視されている再生医療の革新と普及を実現する機能性ゲルの創出について講演します。

基調講演

「AIと量子が拓くサステナブルな未来」

進化を続けるAIの発展には、データと知識が重要であり、ここに日本にとってのチャンスが存在します。一方、AIは莫大な電力と資金を必要とし、その解決には量子技術の進化が不可欠となります。量子技術の産業化に向けて、今何が起きているのか、産官学連携の重要性を含めて紹介いたします。

株式会社東芝 代表取締役社長執行役員CEO 島田 太郎 氏
(1990年甲南大学理学部物理学科卒)



©Copyright株式会社東芝

「甲南新世紀戦略研究プロジェクト（第Ⅰ期）」の研究プロジェクト始動

「甲南新世紀戦略研究プロジェクト」は、最先端で甲南らしい特色ある研究から、イノベーション創出など社会の発展に大きく寄与する取組みや、地域に根差し、その課題解決を通じて地域の経済・社会・雇用・文化などの発展・深化に大きく寄与する取組みに助成を行い、甲南大学の研究力の向上、教育への波及効果を得ることを目的とした学内大型研究助成制度です。

第Ⅰ期（2024 年度～2027 年度の 4 年間）の研究プロジェクト募集は 2023 年度に行われ、選考の結果、以下の 3 件が第Ⅰ期の研究プロジェクトとして採択され、研究が始まっています。詳細は各研究所の活動報告（p16～31）を参照ください。

非ワトソン-クリックワールドの核酸化学の確立と国際核酸化学研究拠点の形成

研究代表者： 建石 寿枝 フロンティアサイエンス研究科 准教授



ゲノム編集や遺伝子組換え技術を用いない遺伝子発現制御の実現に向けて

環境に応答する核酸の二重らせん、及び非二重らせん構造を予測できるエネルギーデータベース、GENERAL (Gene-Environment Energetically Related Academic Library:環境応答性核酸の汎用エネルギーデータベース) を構築する。この GENERAL を基に、核酸構造により制御される遺伝子の情報伝達機構を解明する。さらに、生命の普遍的かつ基盤的現象を担う核酸構造から構成される、「非ワトソン-クリックワールド」という新たな概念を提唱し、KONAN FIBER を中核とした核酸化学の国際研究拠点を形成することを目指し、「計る」「創る」「編む」「用いる」の順に各研究ステップを設け研究を遂行している。GENERAL は、ヒトに限らず、あらゆる生命体に存在する核酸構造に適用できるため、医療・健康産業におけるヒトの遺伝子制御に活用できるだけでなく、環境問題の解決に必要とされる、生物資源を活用した農業や工業の発展にも貢献できることが期待される。

2024 年度 10 月の時点において、学術論文 4 報を発表し、学会発表も積極的に行っている。また、本研究プロジェクトに参画する研究者らは、共同研究契約を結んだ企業との共同研究を 2 件推進し、その成果の一部を本研究プロジェクトと共有し、研究活動を活性化させている。

カーボンニュートラルに貢献するエネルギー変換材料の開発研究

研究代表者： 町田 信也 理工学部 教授・エネルギー変換材料研究所長

カーボンニュートラルの実現で 脱炭素社会の未来を創る

カーボンニュートラル社会に不可欠な重点領域である「次世代太陽電池」、「水素」ならびに「蓄電池」分野におけるエネルギー変換材料の開発研究を行う。具体的には、有機半導体を用いたフレキシブルで発電効率の高い次世代太陽電池の開発、光反応を利用した水分解による高効率な水素発生触媒材料、高い安全性と大きなエネルギー密度を実現する全固体電池用材料の開発を目指す。

2024 年度はサブテーマの 1 つである次世代太陽電池用材料の研究において、担当者が独自に見出した新しい反応を用いることで、これまで有機太陽電池で発電に活用できなかった近赤外光領域を用いることにつながる研究が進み、太陽光エネルギーの有効活用が期待できる状況となりつつある。この研究は熱電変換材料や、光熱変換材料にも応用が期待でき、当初予定になかった新テーマとして「有機電極活物質の創製」、「高効率長波長発光有機材料の創製」を新たに見出すことができた。



未利用熱マネジメントに向けた革新的熱電変換ナノ材料の開発

研究代表者： 赤松 謙祐 フロンティアサイエンス学部 教授・ナノ材料工学研究所長

熱を電気に変換する 革新的なナノ材料の開発



本学における長年の共同研究の中で開発した「有機-無機複合ナノ材料の精密合成」に関する研究から着想を得た、「金属ナノ結晶を前駆体としたバルク焼結体への高密度欠陥導入技術」を基盤技術として用いて、シングルナノサイズの有機-無機複合ナノ結晶の焼結過程における結晶成長ダイナミクスを解明し、現行性能をはるかに凌駕する革新的熱電変換材料の開発を行う。これにより、現在廃熱として環境中に放出されている熱エネルギーの最大 20% (2.5 エクサジュール) を電力に変換可能なエネルギー変換素子としての社会実装可能性を開拓する。

2024 年度は金属材料合成分野では熱電変換ナノ材料の精密化学合成を進め、保護剤合成分野では熱電変換ナノ粒子の表面修飾剤の調製、構造評価分野では熱電変換材料の形態・構造評価、薄膜化分野では低次元配位高分子薄膜の作製と機能制御、複合化分野では熱電変換材料の合成といったことを実施した。

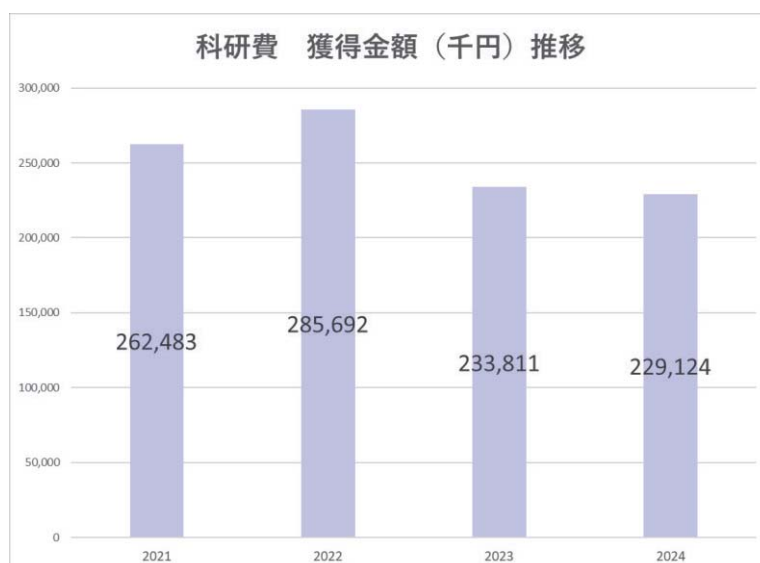
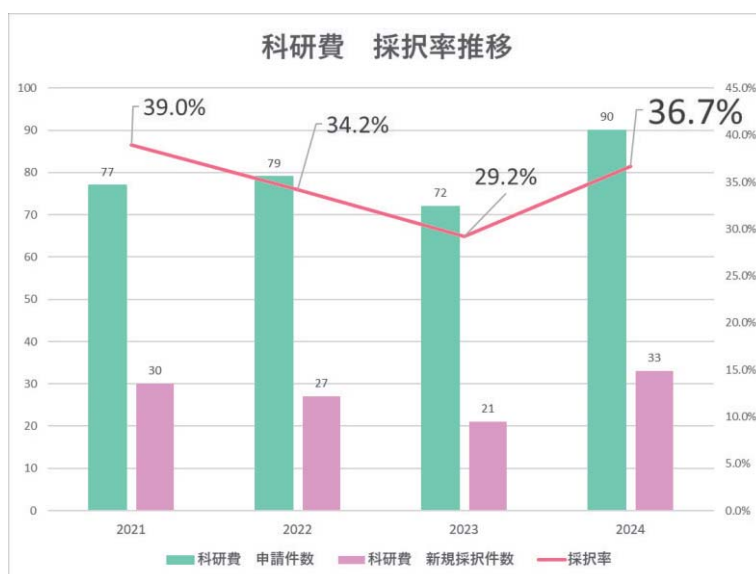


「甲南新世紀戦略研究プロジェクト (第 1 期)」にかかる
研究紹介動画は YouTube にて公開しています。

データで見る研究力

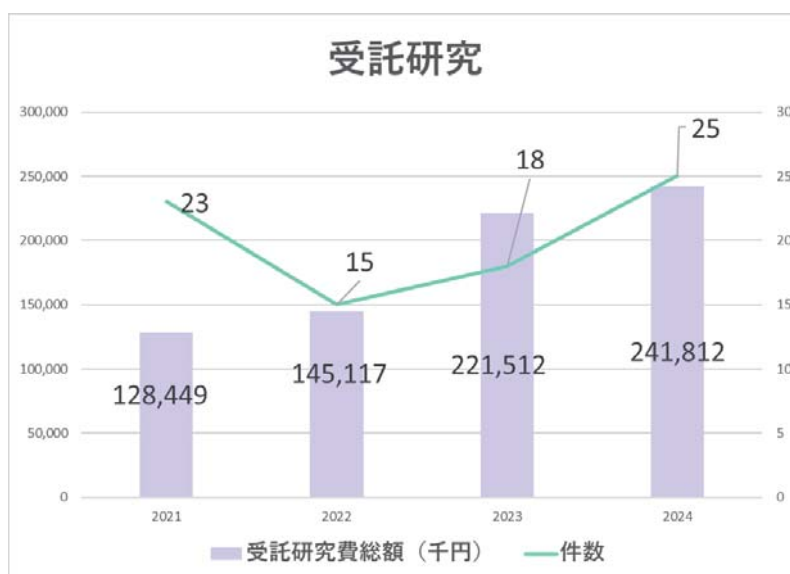
科学研究費助成事業

科学研究費助成事業（科研費）は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする競争的研究資金です。2024 年度は新規申請数 90 件のうち、新規採択数は 33 件、採択率は 36.7%でした。

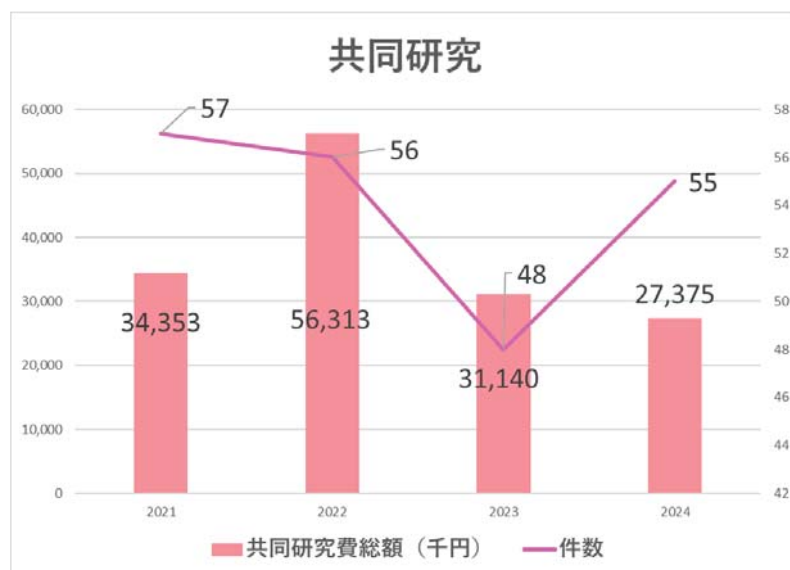


受託研究・共同研究 ―外部資金獲得実績

受託研究とは、学外の研究機関等からの委託を受けて行う研究です。本学では領域を越えた産官学連携の場を提供するとともに、受託研究などの活動を通して、本学の多様な研究成果を社会に還元します。2024 年度の受託研究は 25 件、総額 241,812 千円の獲得となり、受託研究による**研究費総額は過去 4 年間で最多**となりました。



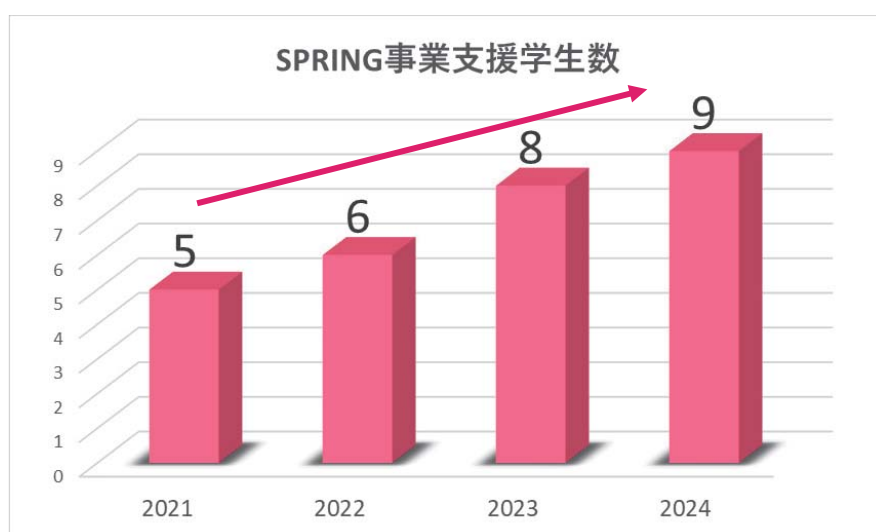
共同研究とは、学外の研究機関等と本学の教員が共同で行う研究です。2024 年度の共同研究は 55 件、共同研究費総額は 27,375 千円となりました。



次世代研究者育成

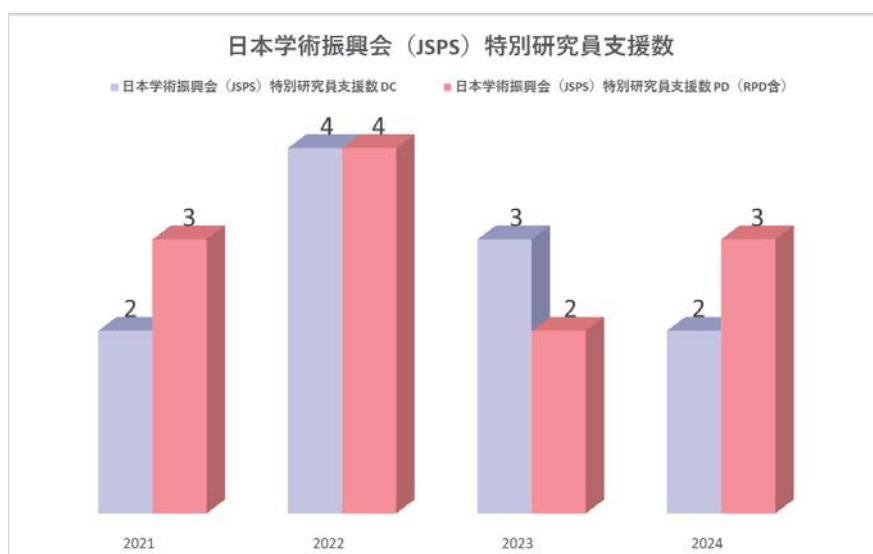
次世代研究者挑戦的研究プログラム事業（SPRING）

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「次世代研究者挑戦的研究プログラム事業（SPRING）」に、2021 年度より継続して採択されています。本事業は、志の高い優秀な博士後期課程学生に対して、経済的支援を強化し、幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めることを目的とし、選抜された博士後期課程学生に対して、年間で生活費相当額として約 200 万円、研究費として約 50 万円が支給される制度です。



日本学術振興会（JSPS）特別研究員

特別研究員制度とは、優れた若手研究者が自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念できる環境を整備するため、研究奨励金を支給する制度です。2024 年度は 5 名が支援を受けました。



大学院研究科 学位授与数等

令和6年度（2024年度）大学院研究科の学位授与数

○修士・博士		学位授与者数					
区分	修士課程			博士後期課程			
	男	女	計	男	女	計	
人文科学研究科	3	2	5	0	0	0	
日本語日本文学専攻	1	0	1	0	0	0	
英語英米文学専攻	0	1	1	0	0	0	
応用社会学専攻	0	0	0	0	0	0	
人間科学専攻	2	1	3	0	0	0	
自然科学研究科	29	4	33	1	0	1	
物理学専攻	7	0	7	0	0	0	
化学専攻	10	3	13				
生物学専攻	4	1	5				
生命・機能科学専攻				0	0	0	
知能情報学専攻	8	0	8	1	0	1	
社会科学研究科	3	2	5	2	0	2	
経済学専攻	2	2	4				
経営学専攻	1	0	1				
フロンティアサイエンス研究科	5	2	7	1	1	2	
生命化学専攻	5	2	7	1	1	2	
計	40	10	50	4	1	5	

論文題名 博士後期課程修了者

(ふりがな) 氏名	博士名	研究科	専攻	論文題名
(ちょう はくぶん) 張 伯 聞	博士 (工学)	自然科学	知能情報学	A Post-Installable Safety Assistance System for Mobility Scooters in Residential Areas (住宅地におけるシニアカー用後付け安全支援システム)
(みなみ つねゆき) 南 常 之	博士 (経営学)	社会科学	経営学	日本企業におけるコレクティブエフィカシーに関する研究 ートップマネジメントによるインダイレクトリーダーシップの影響力に注目してー
(しまだ よしみち) 島 田 善 道	博士 (経営学)	社会科学	経営学	日本企業におけるグローバルミドルリーダー行動の探究 ー海外派遣者を対象にした質的研究ー
(うへだ なつみ) 上 田 菜摘美	博士 (理工学)	フロンティア サイエンス	生命化学	細胞間力学伝導ゲルの開発とそのTissue Engineering技術への革新的展開
(つるた みつき) 鶴 田 充 生	博士 (理工学)	フロンティア サイエンス	生命化学	核酸のグアニン四重らせん構造によって誘起される液液相分離に対するエビジェネティック修飾の影響とその作用機構の解明

表彰アワード

【知能情報学部】 本学卒業生/学部生を含む共同研究の研究成果において学会賞を受賞

一般社団法人日本人間工学会主催の 2023 年度（第 32 回）/2022 年度（第 31 回）日本人間工学会システム大会において、知能情報学部 前田多章准教授、本学卒業生 榎原学人さん、学部 4 年次生 町田明佳音さんを含む研究グループが各学会賞を受賞しました。

日本人間工学会は、人間工学、心理学（認知心理学・組織心理学）、生理学、感性工学など、ヒトに関連する様々な専門領域を有する人間工学の中心学会であり、今回の受賞は、本学と兵庫教育大学との共同研究での研究成果によるものです。

【FIRST/FIBER】 建石寿枝准教授が 2024 年度「女性科学者の会 奨励賞」を受賞

フロンティアサイエンス研究科・先端生命工学研究所の建石寿枝准教授が、一般財団法人日本女性科学者の会より、奨励賞を受賞しました。

建石准教授は、『非二重らせん核酸に調節される遺伝子発現機構の解明とその制御法の開発』の演題で奨励賞受賞講演を行いました。講演では、核酸の構造が、遺伝子発現の制御に及ぼす影響について示し、がん細胞などの疾患細胞における核酸の構造の役割や疾患発現の制御に関する研究成果及び今後の展望が発表されました。受賞講演後には、講演会に参加していた自然科学分野の先生方との活発な意見交換が行われました。

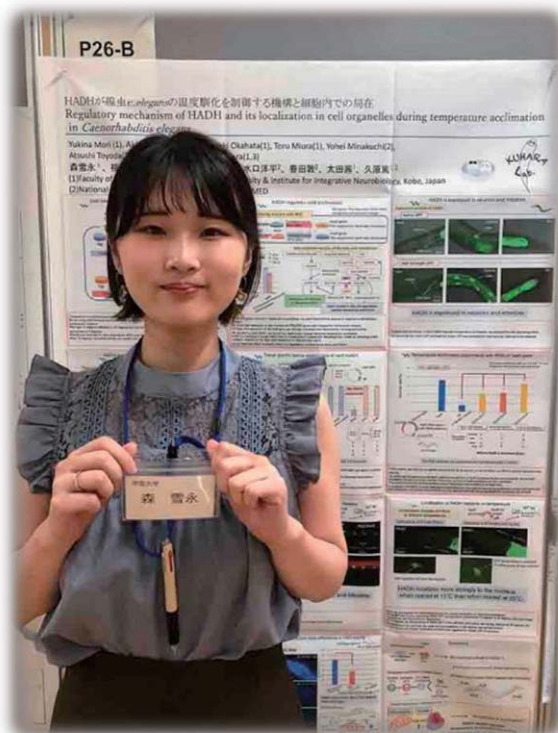


【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】 修士課程の森雪永さんが文科省 学術変革領域 冬眠生物学の領域会議でベストポスター賞を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 修士課程 1 年次生の森雪永さんが、2024 年 7 月 8 日～7 月 9 日に神戸理化学研究所 BDR で行われた、文部科学省 KAKENHI 学術変革領域研究(A) 冬眠生物学 2.0 の夏の領域会議のポスター発表でベストポスター賞を受賞しました。

44 演題のポスター発表の中から参加者全員の投票により選考され、森さんを含む 3 人が同じ得票数で 1 位として選出され、ベストポスター賞を受賞しました。（他の 2 題は東京大学と北海道大学からの演題でした）。

森さんの線虫を使った「従来はミトコンドリアで機能する分子が核に局在して線虫 *C. elegans* の温度順化に関わっている」という研究内容の発表が対象となりました。



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】修士課程の森 雪永さんが Neuro2024 国際学会で Junior Investigator Poster Award を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 修士課程 1 年次生の森雪永さんが、2024 年 7 月 24 日～7 月 27 日に福岡コンベンションセンター/マリンメッセ福岡で行われた、Neuro2024 国際学会のポスター発表で"Junior Investigator Poster Award" を受賞しました。学部学生時に演題登録された約 200 演題を超える中から、書類選考で約 50 演題に絞り込まれ、その後、分野ごとのポスター発表の審査があり、特に優れた約 20 演題に森さんが選出されました。森さんの線虫を使った「従来はミトコンドリアで機能する分子がミトコンドリア外で機能することで線虫 *C. elegans* の温度順化に関わっている」という研究内容の発表が対象となりました。



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】修士課程の森 雪永さんが The Future of Nematode Research 2024 でベストポスター発表賞を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 修士課程 1 年次生の森雪永さんが、2024 年 8 月 28 日～8 月 29 日に行われた The Future of Nematode Research 2024 (線虫研究の未来を創る会 2024)のポスター発表で"ベストポスター発表賞" を受賞しました。

学部生と大学院生によるポスター発表の中から審査と投票が行われ表彰されました。森さんの線

虫を使った「 Exploring functions in neural circuits and cell organelles regulated by *C. elegans* HADH during temperature acclimation. / 温度順化において線虫の HADH が制御する神経回路と細胞小器官での機能の探索 」という研究内容の発表が対象となりました。

【フロンティアサイエンス研究科】博士課程の鶴田充希さんが第 34 回バイオ・高分子シンポジウムにて学生優秀ポスター賞を受賞

フロンティアサイエンス研究科 鶴田充希さんが第 34 回バイオ・高分子シンポジウム (2024 年 8 月) にて学生優秀ポスター賞を受賞しました。



演題 「シトシンのメチル化によって制御されるグアニン四重らせん構造の液液相分離」
発表者 鶴田充生・川内敬子・三好大輔

杉本直己特別客員教授が第 25 回 International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids (IRT2024) 及び日本核酸化学会第 8 回年会合同大会にて、2024 年度日本核酸化学会賞 (池原賞) を受賞

杉本直己特別客員教授が 2024 年度日本核酸化学会賞 (池原賞) を受賞しました。

同賞は、日本の核酸研究のパイオニアであり、日本学士院賞を受賞された池原森男大阪大学名誉教授を讃え、創設されたものです。国際的に顕著な研究業績により核酸化学の深化や新たな研究展開に指導的役割を果たし、独創的かつ優れた業績を挙げた者に授与されます。杉本特別客員教授の「核酸の構造および安定性予測法の開発とその細胞内への応用」に関する研究成果が報告されて以降、核酸化学分野の研究は大きく進展しており、核酸構造の生体内の役割を知る基礎研究のみならず、核酸を用いた薬剤や機能性材料の開発など極めて多くの応用研究を、世界的に先導していることが評価されました。

これらの貢献は、核酸化学分野のみならず、医薬学・工学・農学などの研究分野へと波及し、社

会的効果は極めて大きいことから、日本核酸化学会は 2024 年度の日本核酸化学会賞（池原賞）を授与することを決定しました。

受賞講演タイトル

「All about “To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry」



Lutan Liu（FIBER 博士研究員）が第 25 回 International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids（IRT2024）及び日本核酸化学会第 8 回年会合同大会にて Poster award を受賞

先端生命工学研究所（FIBER）の Lutan Liu（FIBER 博士研究員）が第 25 回 International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids (IRT2024) 及び日本核酸化学会第 8 回年会合同大会にて Poster award を受賞しました。

講演発表名：「Elucidating the Role of Groove Hydration on Stability and Functions of Biased DNA Duplexes in Cell-Like Chemical Environments」



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】修士課程の森雪永さんが女性科学者の会 学術大会で優秀発表賞を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 修士課程 1 年次生の森雪永さんが、2024 年 10 月 13 日に行われた女性科学者の会 第 15 回学術大会の発表で“優秀発表賞”を受賞しました。

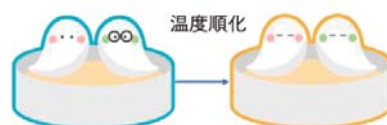
森さんの「線虫 *C. elegans* の脂肪酸代謝関連分子が核内において温度順化を制御する」という研究内容の発表が対象となりました。



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】修士課程の手束萌さんが女性科学者の会 学術大会で優秀発表賞を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 修士課程 1 年次生の手束萌さんが、2024 年 10 月 13 日に行われた女性科学者の会 第 15 回学術大会の発表で“優秀発表賞”を受賞しました。

手束萌さんの「ヒトの神経疾患に関わる代謝遺伝子のオルソログは線虫 *C. elegans* の温度順化に関わる」という研究内容の発表が対象となりました。



【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】博士後期課程の山城芹奈さんが女性科学者の会 学術大会で優秀発表賞を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 博士後期課程 1 年次生/日本学術振興会特別研究員 DC1 の山城芹奈さんが、2024 年 10 月 13 日に行われた女性科学者の会 第 15 回学術大会の発表で“優秀発表賞”を受賞しました。山城さんの「線虫の低温耐性に関する咽頭筋のトランスポーター」という研究内容の発表が対象となりました。



【知能情報学部】谷川創太郎さん、北村達也教授、梅谷智弘教授が「日本ロボット学会 ネットワークを利用したロボットサービス研究専門委員会賞」を受賞

知能情報学部 3 年次生谷川創太郎さん、北村達也教授、梅谷智弘教授が第 25 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2024) 内にて開催された RSNP コンテスト 2024 において、「日本ロボット学会 ネットワークを利用したロボットサービス研究専門委員会賞」を受賞しました。

発表論文：Web ブラウザ制御システムを利用した音声対話サービスロボットの開発



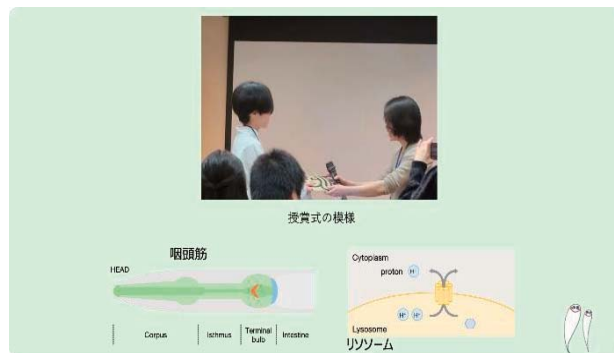
【経済学部】平井健介教授が第 37 回和辻哲郎文化賞一般部門を受賞

平井健介教授が執筆された書籍『日本統治下の台湾：開発・植民地主義・主体性』（名古屋大学出版会、2024 年 6 月）が、姫路文学館が主催する第 37 回和辻哲郎文化賞一般部門を受賞しました。

本書は、「日本植民地の経済成長は「日本のおかげ」であったのか」という疑問をからスタートしたもので、日本統治時代の台湾経済について書かれています。日本は 1895～1945 年の 51 年間台湾を統治していましたが、この間に、どのように台湾を開発し、台湾の人々の生活を変えてきたのかについて説明されています。

【理工学部/生物学科/自然科学研究科/統合ニューロバイオロジー研究所】博士後期課程の山城芹奈さんが学術変革領域冬眠生物学 若手領域会議で優秀口頭発表賞を受賞

統合ニューロバイオロジー研究所/大学院自然科学研究科生物学専攻 博士後期課程 1 年次生/日本学術振興会特別研究員 DC1 の山城芹奈さんが、2025 年 3 月 6 日～3 月 7 日に横浜で行われた学術変革領域 A 冬眠生物学 2.0 若手領域会議で“優秀口頭発表賞”を受賞しました。(16 演題から 2 題受賞)。山城さんの「C. elegans の低温耐性における咽頭筋のリソソーム銅輸送体の役割」という線虫を使った研究内容の発表が対象となりました。



※学生、大学院生の所属、学年は 2024 年度のものです。

研究推進組織体制

フロンティア研究推進機構

大学と社会をつなぐ総合窓口

フロンティア研究推進機構（FRONT）は、本学で行われている、先端的・独創的な研究活動を推進・支援するとともに、官公庁や一般企業との産官学連携活動を通して、本学における研究の成果を社会に還元することを目的としています。この目的に向けて、FRONT は、学内においては科学研究費をはじめとする競争的外部資金の情報提供と獲得のための支援、知的財産の創出・保護・活用などを行っています。また対外的には、研究活動を通じた「大学と社会をつなぐ総合窓口」として、シンポジウムや産官学連携フェアなどへの参加により社会や地域との連携を推進しています。これらの活動を通して、本学の研究活動を広く認知していただくとともに研究成果を社会実装に活かすための活動を展開しています。

附置研究所

本学には現在、4つの附置研究所が設置されています。



総合研究所

1984年設立。学部学科の枠を越えて、複数の研究者が協力して研究する共同研究の活発化を目的とし

- ① 共同研究の実施
- ② 共同研究の成果を叢書として刊行
- ③ 公開講演会の実施等を行っています。



先端生命工学研究所

2003年設立。生命分子工学分野において高度かつ先端的研究・教育を実施する研究機関となることを目指し、国内外の共同研究と産学官の連携による人材・科学の交易および地域の総合的発展を目的に研究・教育活動を推進しています。生命・健康・環境・材料の4領域を束ねて“人”を科学することをテーマに掲げ、科学的・社会的に価値のある研究成果を得ることを目標に活動しています。



人間科学研究所

2002年設立。心理、アート、思想の分野を核としながら「人間科学」という大きな枠のもと、学内外の研究者とのネットワークを形成して研究を進めています。研究と実践の融合を重視し、「甲南アトリエ」「子どもの哲学」など、人間科学の広い領域で実践的活動を行っています。近年は特に「子ども・子育て」を研究プロジェクトの中核に置いています。



ビジネス・イノベーション研究所

2005年設立。21世紀型ビジネスモデルを開発・実践するために、京阪神の大企業だけではなく、中小企業、ベンチャー企業、ファミリー企業、NPOやNGOにおける事業・組織の活性化や経営者・人材育成に寄与し、地域のイノベーション・プラットフォームとしての機能を目指しています。

特定プロジェクト研究所

特定プロジェクト研究所は、本学の専任教員(特任教授を含む。)が、企業・官公庁・公的機関等から獲得した研究資金によって、一定期間、研究活動を推進するにあたり、本学の研究活動の強化および新研究教育分野の展開に役立つことを目的として、当該の研究プロジェクト名を冠して設置されています。

非電離放射線生体環境総合研究所

ヒトの健康科学研究所

統合ニューロバイオロジー研究所

歴史文化研究センター

エネルギー変換材料研究所

核酸医薬研究所

フォール・プリベンション・リサーチ・センター

ナノ材料工学研究所

甲南デジタルツイン研究所

総合研究所

所長：経営学部 三上 和彦 教授

2024 年度の活動内容

公開研究会の開催

檀上博史教授（理工学部）が公開研究会を行いました。

日 時：2024 年 11 月 15 日 13:30～14:30

場 所：甲南大学岡本キャンパス

iCommons 3 階 UnionP-1

演 題：『はたらく分子たち』～分子はどのようにして機能を生み出すのか～

ロボットがさまざまな部品の集合体であるように、ヒトをはじめとする生き物も、多数の分子が部品として集まってできています。ロボットは人間が部品を組み立てるが、生き物の場合、誰が部品を組み立てているのか、本講演では、分子の不思議な力と機能を生み出す理屈、それを利用した「ものづくり」について紹介されました。

「雑談・屋台カフェ」の開催

2023 年度共同研究 No148 服部チーム（研究課題：社会的処方手法による学生支援の実践的研究）が「雑談・屋台カフェ」を学内で開催しました。本研究は、大学への適応に困難を抱える学生に対する支援の手法について、近年医療分野や福祉分野で注目を集めている「社会的処方」の手法を応用し、実践的な検証と手法の開発を行うものであり、その具体的な実践の一つとして「雑談・屋台カフェ」があります。

共同研究の中間報告

2023 年度（研究期間：2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）共同研究の中間報告がされました。研究課題：「人生 100 年時代における高齢者の生活保障に関する検証：教育・資産管理・暮らしの視点」、研究幹事：小西幸男

研究課題：「組織における道德の不活性化の研究」、研究幹事：北居明

研究課題：「フードテックから見た機能性食品（チョコレート菓子）の可能性に関する研究」、研究幹事：木本篤志

研究課題：「社会的処方手法による学生支援の実践的研究」、研究幹事：服部正

大学院生への研究助成開始

学際的あるいは先端的な研究に挑戦し、その研究成果を社会に還元しようとする大学院生の研究チームまたは個人を対象として、研究奨励のために助成金を交付することになりました。2024 年度の募集には、4 名の申請があり、フロンティアサイエンス研究科博士課程 山田詢介氏の研究課題（イオン交換膜を用いた新規めっきプロセス（固相電析法：SED）による銅－ニッケル合金被膜の作製とイオンダイナミクス解析）が採択されました。

2025 年度総合研究所所管研究費の助成金交付決定

総合研究所研究奨励助成金（共同研究 3 件、個人研究 2 件）、立野純三研究奨励助成金・平生記念人文社会科学研究奨励助成金（4 件）

2025 年度の活動計画

- ・総合研究所所管研究費の助成
- ・公開講演会の開催
- ・大学院生研究助成を通じた若手研究者の育成、大学院充実化への貢献

人間科学研究所 (KIHS)

所長：文学部 川田 都樹子 教授

2024 年度の活動内容

主な業績

【研究実践プロジェクト】

- ・(子育て支援) 第 15 回お父さん・お母さんのための子育て応援講座(子育てライブラリー同時開催)、2024 年 4 月 25 日
- ・第 6 回九鬼周造記念シンポジウム「時間と実存」、2024 年 7 月 27 日
- ・ワークショップ「語りの広場」、2025 年 2 月 23 日
- ・COSP プログラム：第 15 期 親子がホッとつながるグループ 2024、A 日程：2024 年 9 月 26 日～11 月 14 日／B 日程：2025 年 1 月 9 日～2 月 27 日(毎週木曜日)

【研究教育プロジェクト (KONAN プレミア・プロジェクト)】

- ・子育てライブラリー(お父さん・お母さんのための子育て応援講座と同時開催)、2024 年 4 月 25 日
- ・第 15 回親子孫子で楽しむアート『能登半島に思いを寄せて～箔を使ってみよう』、2024 年 8 月 3 日
- ・EXPO'70 アート・ドキュメンタリー映画／完成前特別試写会、2024 年 9 月 15 日
- ・EXPO'70 アート・ドキュメンタリー映画／プレミア上映会、2024 年 9 月 7 日・8 日
- ・EXPO'70 アート・ドキュメンタリー映画／【大阪・関西万博、開催直前】作品鑑賞会&監督を囲んでの座談会 ゲスト：寺嶋真里(映画監督)、2025 年 3 月 25 日
- ・甲南アトリエ「しゃべ郎をつくろう!!」講師：オマルト・ヴェンザー(美術家)、2025 年 3 月 8 日
- ・ワークショップ「子どもの哲学」講師：稲継美

保(俳優)・川口智子(演出家)、2025 年 2 月 24 日

【その他】

- ・「大学生による子育て中の親へのインタビュー」2024 年 5 月 30 日・6 月 6 日
- ・エルザ・ドルラン講演会「「性」と「人種」の交差性——『人種の母胎』を読む」(『人種の母胎(マトリックス)——性と植民地の問題からみるフランスのナシオンの系譜』の翻訳出版に係る講演会)、2024 年 5 月 20 日
- ・兵庫県母子支援施設との事例検討会、2024 年 6 月 20 日
- ・『〈戦い〉と〈トラウマ〉のアニメ表象史——「アトム」から「まどか☆マギカ」以後へ』合評会(日本アニメーション学会西日本支部第 56 回研究会)、2024 年 7 月 20 日
- ・立野純三研究奨励助成事業：「第 2 回 赤ちゃん観察会」ゲストアーティスト：西井夕紀子、2025 年 3 月 1 日・2 日

【紀要・ニュースレター】

「人間科学研究所ニュースレター vol.42」、人間科学研究所紀要『心の危機と臨床の知 vol.26』を発行、2025 年 3 月

2025 年度の活動計画

【研究実践プロジェクト】を継続

【研究教育プロジェクト】

- ・「ライフプラン教育」シンポジウム(2025 年 6 月 7 日)
- ・EXPO'70 アート・ドキュメンタリー映画、大阪関西万博で上映&トークショー(2025 年 7 月 19 日～21 日)
- 【その他】「震災 30 年シンポジウム」(2025 年 11 月 29 日)

先端生命工学研究所 (FIBER)

所長：フロンティアサイエンス学部 村嶋 貴之 教授

2024 年度の活動内容

FIBERでは2024年度から、「非ワトソン-クリックワールドの核酸化学の確立と国際核酸化学研究拠点の形成」を、甲南新世紀戦略研究プロジェクト（第Ⅰ期）として展開しています。

ゲノムを構成する核酸（DNA や RNA など）の標準的な構造は、ノーベル賞受賞学者であるワトソンとクリックによって発見された二重らせん構造です。この構造は遺伝子の情報を保持する役割を持ちます。一方で、FIBER では、核酸は三重らせん、四重らせん構造のような非二重らせん構造も形成することを見出してきました。非二重らせん構造は、疾患に関連する遺伝子上で多く形成され、様々な生命現象を制御している可能性があります。この研究プロジェクトでは、DNA や RNA が形成する非二重らせん構造の生体内での役割を解明します。そのため、核酸の二重らせん構造と非二重らせん構造、どちらの構造も予測・制御できるエネルギーデータベースを構築します。「KONAN FIBER」が核酸化学の国際的な研究拠点となるべく、国内外のトップレベルの研究者たちと連携して研究を推進しています（図 1）。

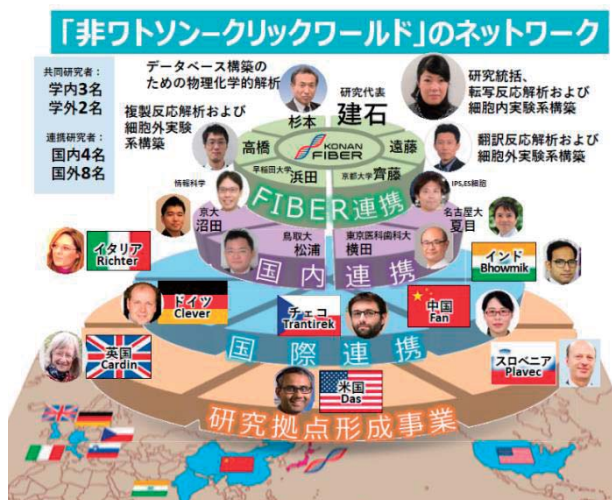


図 1. FIBER における研究体制と国内外との共同研究ネットワーク

主な業績

2024 年度の主な研究成果として、塩基配列の構成がグアニンとシトシンあるいはアデニンとチミンに偏った DNA 二重らせん構造が、配列に偏りの無い DNA 二重らせんとは異なる水和状態を形成していることを明らかにしました。本研究成果は、配列の違いによる DNA の働きの制御を水分子が担っていることを世界に先駆けて示し、米国化学会が発刊する Journal of the American Chemical Society 誌に掲載されました。また、塩基の突出や欠損を含む不完全なグアニン四重らせん構造が、細胞内を模倣した分子で混雑した環境において安定化され、転写反応の効率にも影響するという知見を得ました。

本研究成果は、これまで機能が未知であった核酸構造による細胞内での遺伝子発現の調節機構を提唱し、英国核酸科学誌である *Nucleic Acids Research* 誌に掲載されました。これらの学術雑誌は、学術雑誌の評価指標として世界的に用いられるインパクトファクター (IF) の値において、10 以上の値を示すハイインパクトジャーナルになります。

2024年度のFIBERは、研究成果を社会に還元する公開講演会や学術シンポジウムの開催（延べ12回）、企業との共同研究（延べ2件）などを行いました。また、日本学術振興会が主導する「研究拠点形成事業」、「二国間交流事業」などの国際共同研究プロジェクトも推進しました。

2025 年度の活動計画

2025 年度も引き続き、甲南新世紀戦略研究プロジェクト(第1期)を中心に研究活動を推進します。「研究拠点形成事業」では、米国、英国、イタリア、スロベニア、インドの拠点と連携し、多国籍での国際共同研究を展開します。独創的な研究成果を得て、「非ワトソン-クリックワールド」という新概念の確立を目指します。

ビジネス・イノベーション研究所（BI）

所長：経営学部 西村 順二 教授

2024 年度の活動内容

ビジネス・イノベーション研究所は、2005 年 4 月に設立され、21 世紀型ビジネスモデルを開発・実践するために、社会・地域連携・産学官の社会科学分野の研究を進めています。京阪神地域の大企業、地域を支える中小零細企業、ベンチャー・スタートアップ企業、ファミリー企業、NPO・NGO、さらには地方自治体等における事業・組織の活性化や人材育成に寄与することを通じ、地域のイノベーション・プラットフォームとして機能し、研究成果の情報発信が進められています。

2024 年度は、兼任研究員 16 名（うち 9 名は運営委員兼務）、客員特別研究員 7 名、研究補助員 4 名により研究諸活動が行われました。これら研究員が、大きくは「組織に関する研究群」（組織管理、組織戦略、企業理念、組織開発、人的資源等の研究）と「イノベーションに関する研究群」（マーケティング、ファイナンス、会計、経済・社会制度、経営史・経済史等の研究）に分かれ、基盤研究、理論研究、実証研究、産学連携研究等に基づき、多様な研究成果をあげています。また、本研究所は、KONAN 地域連携推進プロジェクトにおける「神戸スイーツ研究活性化プロジェクト」を遂行しています。「神戸」と親和性の高いスイーツ産業を題材に神戸市、地場産業界、そして地元スイーツ店等と連携して研究活動を進め、その一つの研究拠点化を目指すものです。甲南大学が立地する神戸市東灘区は、神戸スイーツと呼ばれるスイーツ店が集積し、重要な地域資源とされており、地域連携・産学連携として地域の活性化の一助となるよう、スイーツ研究を進めています。これにより、本学の社会科学に関する研究資源や知見等を積極的に地域社会に還元し、地域社会の活性化に寄与することの一助としています。

2022 年度からは理化学研究所・理工学部（機能分子化学科）と文理融合研究に基づくスイーツ研究が展開されています。

主な業績

2024 年度は、文部科学省科学研究費による研究、受託研究、奨学寄附金研究、JST 研究費の競争的資金等が研究員により獲得されています。また、研究員による著書・論文等 13 件、学会発表等は 7 件、研究所主催の公開講演会・研究会（本学岡本キャンパス、ネットワークキャンパス東京、オンライン等）4 件が開催されました。

神戸スイーツ研究活性化プロジェクトについては、2024 年度はその実験結果によるアンケート調査等も実施され、研究成果が公開されています。

（研究業績の詳細は、本研究所 HP の「毎月の活動」をご覧ください。）



2025 年度の活動計画

2025 年度は本学研究所の開設 20 周年となります。それを記念して記念シンポジウム（パネルディスカッション）『組織のイノベーションと地域性—神戸における持続的発展と創発的革新』を開催します。またこれまでの研究成果の社会還元として、20 周年記念研究書『神戸企業のイノベーション—港町における既存価値と新規価値（伝統と革新）の衝突・調和・融合創発—』を公刊する予定です。

非電離放射線生体環境総合研究所(RINNIR)

代表者：フロンティアサイエンス学部 臼井 健二 教授

研究員：中西伸浩、梅谷智弘、西方敬人、栢森史浩、浜田芳男、富樫浩行

2024 年度の活動内容

2024 年度は所長臼井健二准教授のほかに昨年度から引き続きの協力研究員 6 氏の体制で、研究・啓蒙に関する様々な活動を行いました。研究面では、Beyond5G 寄附講座（本学社会連携機構）の科学的研究推進の柱として、活動を行っています。2017 年度から研究を継続している非電離放射線がもたらす生体・環境への影響や効果については、測定するための装置開発の完了後、当研究所でこれまで研究が進められてきた、ペプチドによる炭酸カルシウムの沈殿現象（ミネラルリゼーション）を生命化学現象の題材例として引き続き研究を進めた結果、その成果が、昨年度に引き続き、Processes 誌にて発表を行いました（主な業績 1）。これらの研究では、マイクロ波照射により沈殿現象における沈殿物の形状制御が期待できることが示唆できたため、今後、歯や骨の治療技術や、生体内への電磁波の影響研究、ナノ材料における形状制御技術などへの応用や展開が期待できます。

また、細胞への影響の解析研究においても、電磁波を照射すると、細胞へ浸透していく能力をある程度有するペプチドが細胞中へさらに浸透していく現象が見られたため、上記テーマの成果と共に、色材協会誌やマイクロ波の工業応用事例集などの日本語総説・解説として、執筆・投稿し、無事掲載されています（主な業績 2、3）。

教育的活動、啓蒙活動では、2025 年 8 月 28 日から 3 日間、日本電磁波エネルギー応用学会が主催するシンポジウムの実行委員長に臼井が就任することになり、本学平生セミナーハウス及び記念館で開催することとなりました。実行委員に梅谷、栢森が加わるほか、顧問に中西が就任して、会の成功に邁進するほか、本研究所の研究活動を広く発信する活動を行う予定です。さらにキャリア教育への貢献として、フロンティアサイエンス学部主催のキャリアセミナーへの協賛も行い、2024 年度は、株式会社ナード研究所の訪問・見学会も行っています。

主な業績

1. Fumihiko Kayamori*, Hiroyuki Togashi, (ほか 8 名), Tomohiro Umetani, Nobuhiro Nakanishi, Kenji Usui*, “Development of a CaCO₃ Precipitation Method Using a Peptide and Microwaves Generated by a Magnetron”, *Processes*, 12, 1327, 2024
2. 栢森史浩*, 中西伸浩, 臼井健二*, “ナノバイオ分野におけるマイクロ波の影響に関する研究”, 色材協会誌, 97, 156-159, 2024
3. 栢森史浩*, 有本米次郎, 中西伸浩, 臼井健二*, “ナノバイオ分野におけるマイクロ波の影響に関する研究と産業応用を目指した技術開発”, *マイクロ波の工業応用事例集*, 345-349, 2025

2025 年度の活動計画

研究の知見は、電磁波の人体への影響研究に役立つほか、薬を細胞へと効率的に送達するような医薬分野への応用研究にも役立つことから、様々な研究展開を行っていく予定です。また、今年度中に原著論文発表を行う予定です。引き続き株式会社ディーエスピーリサーチのご理解とご支援を賜り、研究活動の推進はもちろんのこと、協力研究員の増員、外部資金の獲得などを目指します。さらに本学の文理融合、キャリア教育などのアクティビティも高めていきます。また、Beyond5G 寄附講座の研究遂行の柱として、今後も精力的に活動していきます。特に、研究・教育面の関連研究では、臼井と梅谷を中心として、採択された本学総合研究所の研究助成課題における成果を目指します。また、日本電磁波エネルギー応用学会主催の、シンポジウムの成功を目指します。

ヒトの健康科学研究所 (RIH²S)

代表者：フロンティアサイエンス学部 西方 敬人 教授

2024 年度の活動内容

研究に関する活動

i) マクロファージの迅速な活性化による免疫系の安定化を図ることでヒトの健康維持を目指します。2024 年度は、脂質ラフト形成によるマクロファージ活性化が非常に早い活性化で持続時間も短時間であり、これまで知られていた活性化とは異なることを明確に示しました。さらにマクロファージを用いた遺伝子治療などへの展開も模索し始めました。

ii) 皮膚細胞の研究では、創傷治癒の初期に表皮細胞が活性化することで瘢痕を形成しない治癒が望めるとの仮説から、表皮細胞を短時間で活性化する因子を探索しています。2024 年度は、皮膚組織内での細胞間相互作用が表皮細胞の運動性を大きく高めることを明らかにしました。

その他の活動

i) 細胞再生医療研究会の活動

2016 年度より、細胞再生医療研究会の事務局として積極的に再生医療の発展の一助となるよう活動して来ました。2024 年度は、2024 年 9 月 7 日に、懇親会なども含めた学術集会を開催致しました。

ii) 抗糖化セミナー2025 の開催

抗糖化による健康維持を目指して、まだまだ未解明の糖化とヒトの健康との関係を研究する新たなチームを結成し、そのキックオフミーティングとして標記セミナーを 2025 年 3 月 9 日に開催しました。その中で、オーガナイザー・司会として会をまとめるとともに「新たな視点から



とらえた糖化研究」と題した講演を行いました。

主な業績

出川詩織, 川内敬子, 西方敬人
がん免疫療法における CAR 細胞療法の多様性とその展望
Journal of the Society of Japanese Women Scientists, Vol. 25, 43-48 (2025).

2025 年度の活動計画

i) マクロファージの活性化メカニズムの研究では、一昨年度確立した新たな活性化評価系を用いた研究を進め、新たに見つけた「素早い活性化」と脂質ラフト形成との関連を明確に証明します。

ii) 皮膚細胞の研究では、表皮細胞の運動性を高める因子の探究とその効果の検証を進め、知財化を目指します。

iii) 抗糖化の研究では、企業との新たな共同研究を開始し、天然素材中に含まれる成分の抗糖化活性を評価し、新たな抗糖化物質の発見を目指し、その物質や素材の有効利用方法を確立して行きます。一方、ヒト生体内で直接糖化度を測定し、日常的な健康管理につなげる測定手法や測定機器の開発も目指し、知財化を進めていきます。

iv) 細胞再生医療研究会は、2025 年 9 月 13 日に第 14 回学術集会を本学ポートアイランドキャンパスで開催することを決定しています。今年度のテーマを「口腔領域における再生医療・医学の最前線」としており、歯髄幹細胞を用いた再生医療技術の開発や無歯領域で歯を生やす抗体医薬の開発などの最新の知見が紹介されます。

統合ニューロバイオロジー研究所

代表者：理工学部 日下部 岳広 教授

2024 年度の活動内容

生物が環境の変化に対して応答し順応するしくみの理解は、地球環境の変化やヒトの医療・健康につながる重要な課題です。生命現象は分子・ゲノム・細胞のレベルから個体、集団、地球環境にいたるまで連続的で、一つをとって詳しく理解しただけでは、大切なことを見落とす恐れがあります。統合ニューロバイオロジー研究所は、各分野の深い知識を基礎としながらも、全体を概括的に評価する統合生物学の視点から「生物が環境の変化に対して応答し順応するしくみ」を理解することを目指し、ホヤ、メダカ、線虫、ショウジョウバエ、シロイヌナズナ、酵母などのモデル生物を用いて研究を行っています。

2024 年度は、ホヤを用いた脳をつくる前駆細胞（原神経堤）の発見（論文 1）、一細胞トランスクリ



神戸新聞 2024 年 10 月 24 日朝刊

プトームの種間比較による網膜分化制御因子の同定（論文 2）、効率的かつ正確に精子の生存率を評価する手法の開発（論文 3）、イントロン結合タンパク質による低温および高温耐性調節機構の発見（論文 4）、細胞小器官のタンパク質の輸送を制御する因子 MAG3 の役割の解明（論文 5）などの研究成果が得られ、Nature、NAR Genomics and Bioinformatics、PNAS nexus、Journal of Insect Physiology、

Communications Biology などの主要国際学術誌に論文を発表しました。

主な業績

1. Todorov, L. G., Oonuma, K., Kusakabe, T. G., Levine, M. S., and Lemaire, L. A.: Neural crest lineage in the proto-vertebrate model *Ciona*. **Nature** 635(8040), 912-916 (2024)
2. Zeng, X., Gyoja, F., Cui, Y., Martin Loza, M., Kusakabe, T. G. and Nakai, K.: Comparative single-cell transcriptomic analysis reveals putative differentiation drivers and potential origin of vertebrate retina. **NAR Genomics and Bioinformatics** 6(4), lqae149 (2024)
3. Takeshima, M. and Gotoh, A.: Establishment of a rapid, cost-effective, and accurate method for assessing insect sperm viability. **Journal of Insect Physiology** 158, 104682 (2024)
4. Ohta A., Sato Y., Isono K., Kajino T., Tanaka K., Taji T., and Kuhara A.: The intron binding protein EMB-4 is an opposite regulator of cold and high temperature tolerance in *Caenorhabditis elegans*. **PNAS nexus** 3(8), pgae293 (2024)
5. Takagi, J., Takahashi, H., Moriya K.C., Nagano, M., Fukao, Y., Ueda, H., Tamura, K., Shimada, T., and Hara-Nishimura, I. Plant-specific tail-anchored coiled-coil protein MAG3 stabilizes Golgi-associated ERESs to facilitate protein exit from the ER. **Communications Biology** 8, 358 (2025)

2025 年度の活動計画

前年度に引き続き、シンプルなモデル生物である大腸菌・酵母・ラビリンチュラ・シロイヌナズナ・線虫・ショウジョウバエ・ホヤ・メダカ等を用いて、生命科学に関連する多様な分野の研究者の連携による共同研究を推進します。これらの研究により、生物が環境変化に応答し対処するしくみを解明します。

歴史文化研究センター

代表者：文学部 東谷 智 教授

2024 年度の活動内容

2024 年度も前年度に引き続き東大阪市から事業を受託し、4つの文書群について①古文書の調査・整理、および調査・整理の成果に関する解題作成、②成果の市民への還元、の2点の事業を行いました。

①に関しては、2つの文書群の整理・調査を行い、3つの文書群について解題を作成しました（昨年調査済みの文書群1つを含みます）。

②歴史講座は、「江戸時代の庶民の日常生活を知ろう」と題し、秋冬の2回、講演会と学生作成のパネル展示を実施しました。各回の概要は以下のとおりです。

【第1回】

「江戸時代の村・村人・村役人－岸田堂村高岸家文書から見る村の実像－」

2024 年 9 月 22 日 於：東大阪役所

・近藤孝敏（元泉佐野市学芸員）

「江戸時代の村・庄屋と古文書・古典籍の蓄積－高岸家文書の紹介を兼ねて－」

・東谷智「江戸時代の村人たちと住民登録－岸田堂村の登録台帳の分析から－」

【第2回】

「古文書から歴史をひもとく・未来へのこすー地域をつなぐ調査・研究とパネル作成まで－」

2025 年 3 月 1 日 於：四条リージョンセンターやまなみプラザ

・東谷智

「旗本三好亮の行政機構－横小路村山川家文書を素材として－」

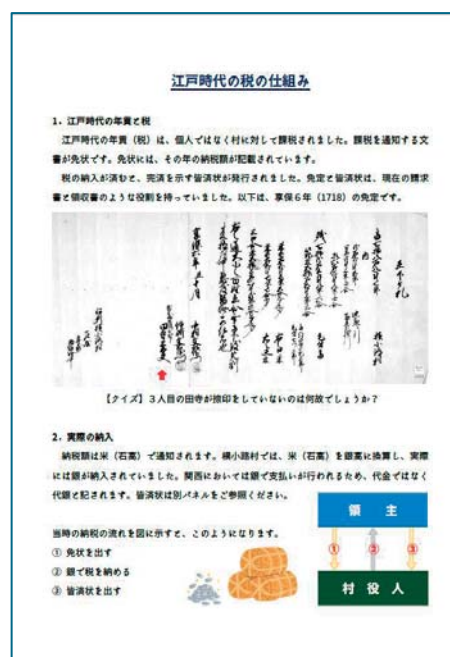
・東谷智、東大阪市古文書調査員、甲南大学生

「古文書解説(古文書&パネル展示)」

主な業績

・東谷 智「江戸時代の新田村における村政の仕組み－河内国若江郡玉井新田と小田原藩領「新田組」を素材として－」(『甲南大学紀要』文学編第175号、2025年3月)

・講演の概要を東大阪市のHPに公開しました。



学生が作成したポスターの一例

2025 年度の活動計画

2024 年度の成果を次年度の委託事業に受け継ぐとともに、継続調査の史料、新規調査の史料について、研究を行います。また歴史講演会などを通じた市民への還元も引き続き行うとともに、地域における史料発掘につながるような史料整理の方法などについて検討します。

エネルギー変換材料研究所

代表者：理工学部 池田 茂 教授

2024 年度の活動内容

再生可能エネルギーの活用や脱炭素社会の実現は、SDGs とも深く関わる重要課題であり、世界各地で技術開発が進められています。本研究所は、こうした社会的要請に応えるべく、エネルギー変換材料に関する研究と教育を目的に 2019 年 4 月に設立されました。

現在は、企業・大学との共同研究に加え、科研費や JST GteX 事業などにも参画しています。2024 年度からは、甲南新世紀戦略プロジェクト「カーボンニュートラルに貢献するエネルギー変換材料の開発研究」が始動し、研究の中心軸となっています。

参画メンバー

理工学部 教授：町田信也
理工学部 教授：山本雅博
理工学部 教授：池田茂
理工学部 教授：木本篤志

2024 年度の主な活動

4 月より、宮崎大学と光電・熱電変換に関する共同研究を開始しました。材料合成から評価・試作までを分担し、甲南大学では熱電変換デバイスの試作と性能評価を担当しました。

同月、華南師範大学（中国）との JSPS 二国間共同研究も始まり、日本側では水分解光電極材料に関して、結晶性の精密制御を主とした研究を進めました。翌年 3 月には現地で進捗報告と今後の方針について意見交換を行いました。

7 月には、神戸医療産業都市クラスター交流会（テーマ：「GX と DX」）に参加し、新世紀戦略プロジェクトでの GX 研究の取組を紹介しました。

10 月には、木本篤志教授による公開講座「有機系太陽電池—塗布型素子の将来展望—」を開催し、有機材料を用いた太陽電池の基本原理や、塗布型素子

の開発動向・応用展望について、一般の方にも理解いただきやすい形で紹介しました。

1 月には、研究所主催のセミナー「環境・エネルギー工学を志向した材料開発」を開催し、研究所の活動紹介とともに、社会実装、計算科学、資源循環に関する講演を通じて活発な意見交換が行われました。

同じく 1 月、サイエンスフェア in 兵庫にてポスター発表と研究デモを行い、多くの高校生に本研究所の活動に関心を持っていただく機会となりました。

また、研究成果の社会発信にも注力しており、地域連携イベントや高校との連携活動を通じて、次世代への科学啓発と人材育成にも積極的に取り組んでいます。

研究成果（2024 年度）

原著論文：6 件
総説・解説：3 件
著書：2 件
国内学会発表：23 件（招待講演：未定）
国際会議発表：6 件（招待講演：1 件）

2025 年度の活動計画

2025 年度は、甲南新世紀戦略プロジェクト「カーボンニュートラルに貢献するエネルギー変換材料の開発研究」を活動の中心に据え、宮崎大学および華南師範大学との共同研究も柱としながら、多面的な研究を推進します。エネルギー変換材料の高度化に向けた結晶構造および電子物性の統合的評価を進めるとともに、産学連携や国際協力の深化を通じて、GX 技術の社会実装に向けた成果創出と情報発信に注力していきます。

核酸医薬研究所 (KOLOT)

代表者：フロンティアサイエンス学部 川上 純司 教授

2024 年度の活動内容

核酸医薬品は治療が困難な疾患の治療薬として、現在最も注目されている創薬モダリティの一つです。しかしながら、医薬品開発において重要な品質管理についての指針がまだ決まっておらず、日本発の核酸医薬品はまだ1品目のみです。

そこで「核酸医薬研究所 (KOLOT)」は国内における核酸医薬開発の活性化を目的とし、AMED 支援を受け整備されました。核酸医薬品の新規分析法の開発や品質データの収集を進め、製造プロセス開発や品質管理に有用な情報を産官学に広く共有します。2024 年度は昨年度に引き続き①核酸医薬の機能を向上させる修飾核酸の機能解析、②不純物の新規検出方法を検討しました。

①核酸医薬の機能を向上させる修飾核酸の機能解析

人工核酸である LNA は糖部の 2' と 4' の炭素を架橋しており、分解酵素耐性と標的配列への高親和性を併せ持つため核酸医薬への応用が期待されています。我々は LNA の特性を検討し、LNA の親和性付与の効果が配列特異性である可能性が高いことを発表しました。この結果は、科学雑誌 International Journal of Molecular Sciences に掲載されました。

また、核酸医薬品の合成過程で生成される不純物についても引き続き研究を進めました。目的物(薬)との分離が困難である N-1 (短鎖不純物) や N+1 (長鎖不純物) は、標的 RNA に結合することで医薬品の機能を妨げる可能性があります。そこで 2023 年度に我々は、医薬品を模した DNA オリゴヌクレオチドと 17 種の N-1 を用意し、標的 RNA との結合親和性評価を行いました。その結果、ヌクレオチド欠損の位置によって医薬品の効

果を妨げる能力に差があることを明らかにしました。2024 年度は、核磁気共鳴 (NMR) を用いることで、これらの違いがどのようなメカニズムで起こるか検証しました。得られた結果は、XXV International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids (IRT2024) にて発表し、論文投稿準備中です。

②不純物の新規検出方法

これまでに、蛍光アプタマーを利用し、ASO の熱力学的パラメーターと蛍光アプタマーによる蛍光値に相関がある分子設計に成功しており、これを応用し AMED の n-1 体欠損体の定量検出に向けて新たに分子設計を行いました。この成果は、第 47 回日本分子生物学会年会にて発表を行い、論文投稿準備中です。

主な業績

Hiroyuki Togawa, Junji Kawakami, *et. al.*, *Journal of Chromatography A*, **1721**, 464847 (2024)

Nae Sakimoto, Junji Kawakami, *et. al.*, *genes*, **15**, 1481 (2024)

Elisa Tomita-Sudo, Junji Kawakami, *et. al.*, *International Journal of Molecular Sciences*, **25**, 13240 (2024)

2025 年度の活動計画

核酸医薬研究所は様々な大学・企業の方々と共同で研究しています。2025 年はそれらの成果を論文や学会などでさらにアピールしていきます。

フォール・プリベンション・リサーチ・センター

代表者：全学共通教育センター 曾我部 晋哉 教授

2024 年度の活動内容

世界各国とも高齢化による転倒による重大事故対策として、転倒予防法の開発・普及を行っています。本研究所においても各国と連携を図りながら、世界共通の転倒予防法の開発に取り組んでいます。2024 年 5 月には我々を含む転倒予防に関する研究者による公式声明“Global Consensus Statement How Can Judo Contribute to Reducing the Problem of Injurious Falls in Older Adults?”を発表しました。また、同年 12 月には第 2 回目となる“International Conference on Safe Falling for the Elderly through Judo 2025”（柔道を通じた高齢者の安全な転び方に関する国際会議）を開催し、研究の進捗に関する発表を行いました。



2025 年 3 月には、全日本柔道連盟より、中高齢者を対象とした転倒予防マニュアルである「受け身のススメ」が発行され、HP にも公開されています。

学会発表

- 1) Maja Sori Doval, Akitoshi Sogabe: Current Trends and Perspectives for Judo in Japan's Aging Society. 7th Scientific & Professional Conference, “APPLICABLE RESEARCH IN JUDO “ 2024 in Croatia.
- 2) 曾我部晋哉, マーヤ・ソリドーワル: スウェーデンが展開する転倒予防法について. 日本体育・スポーツ・健康学会第 73 回大会（福岡）2024.
- 3) マーヤ・ソリドーワル, 曾我部晋哉: ヨーロッパにおける柔道を利用した転倒予防法プログラムに関する研究：指導

- 者養成を中心に. 日本体育・スポーツ・健康学会第 73 回大会（福岡）2024.
- 4) 曾我部晋哉, マーヤ・ソリドーワル: 柔道を利用した転倒予防法の国際比較. 日本武道学会第 57 回大会（福岡）2024.
 - 5) マーヤ・ソリドーワル, 曾我部晋哉: 柔道を利用した転倒予防法プログラムに関する研究：ダイナミック・バランス・フォー・ライフ（アデレード大学、オーストラリア）の考察を中心に. 日本武道学会第 57 回大会（福岡）2024.
 - 6) 吉田大晟、戸田将太、曾我部晋哉: 柔道経験者と一般成人の重心動揺の比較. 日本武道学会第 57 回大会（福岡）2024.
 - 7) Akitoshi Sogabe, Maja Sori Doval: “Ukemi No Susume ”Project The Potential of Kata-based Exercise for Fall Prevention Programs. International Conference Safe Falling for Older People through Judo 2024

Global Consensus Statement

Mike Callan, Akitoshi Sogabe et.al.: How Can Judo Contribute to Reducing the Problem of Injurious Falls in Older Adults? The arts and Sciences of Judo Vol.4, No.1, 14-27, 2024.

出版物

田中裕之, 曾我部晋哉他: 受け身のススメ～転倒から身を守る理論と実践. 全日本柔道連盟. 2025.

2025 年度の活動計画

現在、国際的な転倒予防に関する研究グループが組織され、各共通の転倒のリスクをスクリーニングするシートの開発を多言語で進めており、1 か月に 1 度のペースでオンライン会議を開いています。今後、高齢化社会において「転倒」は社会的な問題としてますます取り上げられることが予想されます。これからも世界各国と協力しながら、よりエビデンスの整った転倒予防法を開発していきたいと考えています。

ナノ材料工学研究所 (GREEN)

代表者：フロンティアサイエンス学部 赤松 謙祐 教授

2024 年度の活動内容

本研究所は、甲南新世紀戦略研究プロジェクト（第Ⅰ期）「未利用熱マネジメントに向けた革新的熱電変換ナノ材料の開発」の母体であり、2024 年度より戦略研究に関する研究を進めることを目的として設置されました。本プロジェクトでは、廃熱として環境中に放出されている未利用熱エネルギーを電気エネルギーに変換して回収・再利用することが可能な高性能熱電変換ナノ材料の開発を目的としており、5 名のメンバーにて有機・無機複合ナノ材料の合成と物性評価を進めています。検討課題として、「熱電材料の前駆体となるナノ構造材料の精密合成」を主題とし、金属材料合成（赤松）、保護剤合成（檀上）、構造評価（内藤）、薄膜化（鶴岡）および複合化（高嶋）について検討を進めています。2024 度は、初期アプローチとして各メンバーによる各論的検討項目を遂行しましたが、期中において、各メンバーが合成した試料を用いて複合化ならびに構造評価を進めるなど、連携体制ができつつあります。

研究成果としては、イオンの電荷補償を利用した化学沈殿法により、高温熱電材料として有望な SnTe(スズとテルルからなる化合物)のナノ結晶を合成することに成功し、その熱電特性を明らかにしました。また、フレキシブル熱電素子の構築を目的とし、高分子フィルム上に銀イオンを含む錯体高分子材料の薄膜を合成し、その成長プロセスを明らかにしました。現時点で学術論文 3 報、学会、セミナー発表 7 件となっており、新しいプロジェクトの初年度としては計画通り順調に進展しています。また、本プロジェクトを発展的に展開し、かつ将来的な社会実装を視野に入れるため、熱電材料分野における著名な研究者 2 名および企業の研究開発担当者にアドバイザーとして就任いただき、2024 年 11 月 13 日に第 1 回戦略プロジェクトセミナーを開催するなど、成果発表や啓蒙活動を推進しています。

主な業績

- R. Fujiwara, Y. Ikeda, T. Kawaguchi, Y. Takashima, T. Tsuruoka and K. Akamatsu, “Structure and Thermoelectric Characterization of p-Type SnTe Nanobulk Material Synthesized by Charge Compensation Chemical Reaction”, *Energies*, **17**, 190 (2024)
- M. Fukuoka, Y. Takashima, K. Akamatsu, A. Demessence and T. Tsuruoka, “Structural transformation of silver(I)-thiolate coordination polymer film at solid-liquid interfaces”, *CrystEngComm*, **26**, 6269-6273 (2024).
- H. Shiroma, Y. Motoyama, H. Danjo and Y. Ichihashi, “Decomposition of Water over Picene-derivatized Photocatalysts under Visible Light Irradiation”, *Photochem. Photobiol.*, in press.

2025 年度の活動計画

2025 年度は、2024 年度に得られた BiSbTe 系半導体材料を前駆体とし、カーボンナノチューブおよびフラーレンなどの炭素化合物との複合化を行い、電気伝導率および熱伝導率に及ぼす影響について明らかにします。また、結晶中の粒界構造は熱電変換性能に大きく影響を及ぼすことが知られており、ナノ粒子表面のカーボン層構造（炭素配列、膜厚）、合金粒子同士の融合の有無、結晶学的欠陥の存在（欠陥の種類、欠陥数、欠陥密度など）が重要であることから、これらの因子が焼結温度や焼結時間によってどのように変化するかを TEM および AFM にて詳細に解析します。これにより、異種材料を複合化したハイブリッド熱電変換材料における材料設計指針を確立し、熱電変換性能指数 $ZT=2.0$ を目指します。

甲南デジタルツイン研究所

代表者：知能情報学部 灘本 明代 教授

2024 年度の活動内容

2024 年度は以下の 2 つのサブ研究に分かれて研究を行いました。また、月に 1 回の 2 つのサブ研究合同の会議を行い、進捗状況、研究内容の紹介等の情報交換を行いました。メンバーは知能情報学部の教員 14 名です。

【未来創造型研究】

目的：Digital Twin(以下 DT) 上で人を中心とした AI、VR、ロボットの研究を行います。例えば、甲南学園創設者である平生鈺三郎の AI アバターを生成し、人と互助をする AI アバターを実現します。これにより学生にとって研究が身近になると共に、研究にワクワクできる環境を構築します。

活動報告：生成 AI によるバーチャル平生（以下、AI バーチャル平生と呼ぶ）による、平生の理念に基づくスピーチ生成、音声生成、3D 生成を行い、卒業式、入学式にて実演しました（図 1 参照）。



図 1. AI バーチャル平生による祝辞画面

スピーチ生成には既存の平生に関する書物（『平生鈺三郎日記』全 18 巻、『新平生鈺三郎のことば』、『私は斯う思ふ』、『平生鈺三郎講演集』、『平生鈺三郎自伝』）を電子データ化、現代語へ変換を行い、これらデータを用いて RAG システムによる新たなモデルを生成しました。（図 2 参照）スピーチ生成は、声の印象に近い俳優の音声から AI を用

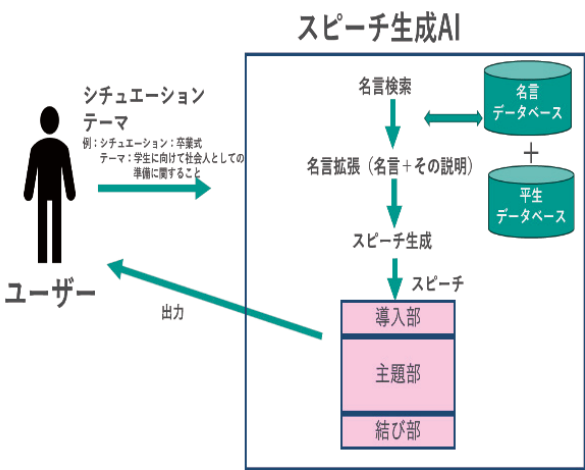


図 2. RAG によるスピーチ生成構成図

いて声質の調整を行い、音声合成を作成しました。3D モデルは既存の銅像を参考に頭部の 3D データを作成し、過去のモノクロ画像をカラー画像に変換したものを貼り付けました。また、体格は学園史資料室にある洋服から骨格を推定し生成しました。そして、音声データと口の動きの同調及び演説時の動きを追加しました。

そのほか、Furhat ロボット（AI コミュニケーションロボット）を使用した平生ロボットや仮想空間におけるアバターとの高臨場対話を実現する平生による肩たたきタッチインタラクション、平生に関する書物を学習データとし、大規模言語モデルを用いた平生対話モデル、透明なスクリーン材を用いて簡易的な軽量型空中映像スクリーンである簡易的立体スクリーン、ロボットとのコミュニケーションを円滑にするための自然な振る舞いに関する研究を行っています。

【社会実装型研究】

目的：自動運転における運送経路の最適化や DT における配送技術等のロジスティックに関する研究を行います。これにより、学生は先端技術がどのように社会に実用化しているかを体験できます。

活動報告：様々な企業と連携すべく、現在活動を行っています。2024 年度は共同研究を 4 件行っています。また、新たに 4 件の企業との共同研究の開拓中です。

その他、量子コンピュータの技法のひとつである量子アニーリングを用いた流通に関わる最適化問題（図 3 参照）、数値最適化による生産スケジューリングの自動化、データ転送アーキテクチャモデルをベースとしたノーコードツールの研究開発、エッジコンピューティング、セキュリティ対策としての PDI（Private Digital Identity）認証（図 4 参照）、身の回りの現象を表現する数値計算と可視化に関する研究も行っています。



図 3. 複数のトラックを用いて配送する場合の最適な経路の探索

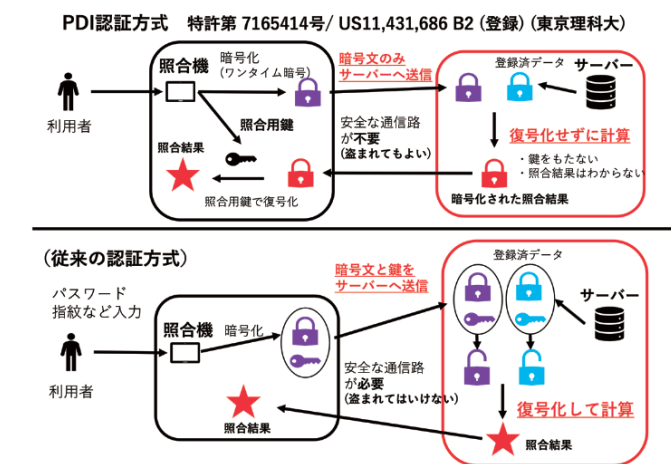


図 4. PDI 認証方式

主な業績

査読付き国際会議：9 本

査読なし国内紀要、研究報告等：12 本

その他口頭発表：8 本

受賞：3 件

- ・谷川創太郎（梅谷研 B3）、北村達也、梅谷智弘 RSNP コンテスト 2024 日本ロボット学会

ネットワークを利用したロボットサービス研究専門委員会賞 受賞

- ・Mingyu Lu（北村研 M1）Student Poster Presentation Award in JSST 2024, 2024.

- ・北畑哲也（灘本研究室 B4）第 17 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2025)学生プレゼンテーション賞

2025 年度の活動計画

未来創造型研究では、2024 年度生成した AI 平生によるスピーチの問題点を解決します。例えば、3 DCG モデルの見直し、生成スピーチ原稿の再考、音声の抑揚の再考等を行います。さらに研究進行中の平生ロボット、肩たたきタッチインタラクション、平生対話モデル、簡易的立体スクリーン、ロボットの自然な振る舞いに関する研究のデモを行います。

社会実装型研究では、現在交渉中の産学連携プロジェクトを契約し、研究を進めます。さらに、個々の研究を進め、新たな産学連携を模索します。

2 つのサブ研究とも Journal、国際会議等査読付き論文発表を行います。

研究業績一覧



この一覧は、2024 年度の研究実績をまとめたものです（所属組織は 2024 年度を示す）。
研究業績の最新情報は、本学の教員・研究者紹介のホームページ（研究者データベース）からご覧いただくことができます。

業績掲載項目

- 1 論文
- 2 著書
- 3 MISC（総説・解説記事）
- 4 講演発表

※論文等刊行物については、共著、編著、分担執筆を含み、共著者名の併記はしていません。

教員・研究者紹介

<https://researchers.adm.konan-u.ac.jp/search?m=home&l=ja>



文学部

日本語日本文学科

佐伯 暁子

研究課題 日本語助詞「を」の研究

- 論文 使用実態に基づく敬語の指導について—中学校国語教科書の分析を踏まえて— 『甲南大学教職教育センター年報・研究報告書』 2025/03
- 講演発表 現代語における動作の場所を表す「に」の使用条件 2024/09/23 2024年度岡山大学国語国文学会 国内会議
- 講演発表 古典語の「に」にみられる状態の主体標示の用法 2024/09/28 第135回国語語彙史研究会 国内会議

西尾 純二

研究課題 地域社会の言語生活の調査研究

塚本 章子

研究課題

田中 雅史

研究課題 文学とナルシズム

田中 貴子

研究課題 日本中世説話文学の研究、ならびに仏教文学の研究

- 論文 「九相詩絵巻」の図像をめぐる 文藝論叢 103号 2024/09/01
- 講演発表 九州国立博物館蔵「九相図巻」の典拠は『摩訶止観』か 2024/06/30 説話文学会大会 国内会議
- 講演発表 「九相詩絵巻」の図像をめぐる 2024/07/11 大谷大学文藝学会 国内会議
- 講演発表 中世説話集における「遁世」と『摩訶止観』 2024/09/14 説話文学会9月例会 国内会議
- 講演発表 文学にみる中世の遁世 2025/01/25 京都宗教系大学院連合公開講演会 国内会議
- 講演発表 九相詩と「不浄観説話」をめぐる諸問題 2025/03/04 真宗総合研究客員研究員せいりか報告会 国内会議

野々口 ちとせ

研究課題 「外国語としての日本語」の教育場面において、学習者や教授者の母語も含めた言語の機能の状況を明らかにすること。

- 論文 言語生態学のアプローチに基づく新しいキャリア教育の提案—「4つの問い」で促される生態学的主体性の形成過程— 東北学院大学教養学部論集 195号 pp.49-80 2025/03/10
- 講演発表 CLILのアプローチによる海外日本語教育実習での実習生の学び 2024/11/17 2024年度日本語教育学会秋季大会 日本語教育学会 口頭発表（一般） 国内会議

友田 義行

研究課題 日本近現代文学とアダプテーション

- 論文 人類の加速と中毒（アディクション）—安部公房・勅使河原宏『1日240時間』再論 『甲南大学紀要 文学編』 第175号 pp. 一—一五 2025/03/30

- MISC 【解説】『1日240時間』解説 シネマヴェーラ渋谷 特集〈生誕百年記念 シネアスト安部公房〉窓口配布資料 pp.1-2 2024/08/18
- MISC 【編集後記】文化現象としてのアダプテーション 『日本文学』 73巻9号 pp.60- 2024/09/10
- MISC 【解説】『時の崖』『仔象は死んだ』解説 シネ・ヌーヴォ 立命館大学映像学部「映画上映実習」学生プロデュース企画 vol.23 〈生誕100周年 アヴァンギャルドの巨人 安部公房〉 窓口配布資料 pp.1-2 2024/09/15
- MISC 【解説】作品紹介 井上ひさし『吉里吉里人』 『日本近現代文学史への招待』 pp.249-253 2024/10/25 ISBN9784823412400
- MISC 【論説】第6部2章 原爆文学・フェミニズム・環境問題 『日本近現代文学史への招待』 pp.224-233 2024/10/25 ISBN9784823412400
- MISC 【書評】岩本知恵著『安部公房と境界—未だ／既に存在しない他者たちへ』 日本近代文学会 『日本近代文学』 111巻 pp.247-250 2024/11/15 単著
- MISC 【エッセイ】〈怒り〉が忌避される時代—一栗山雄佑著『〈怒り〉の文学化』に寄せて『フェンスレス』 8号 pp.81-82 2025/03/20
- 講演発表 勅使河原宏監督『1日240時間』—大阪万博と加速中毒の時代— 2024/05/26 2024年度草月会大阪支部総会第2部 草月会大阪支部 口頭発表（招待・特別） 国内会議
- 講演発表 生誕100周年・安部公房のSF的想像力 2024/06/22 三宮図書館で識る シネ・ヌーヴォ 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 【コメンテーター】岩本知恵『安部公房と境界—未だ／既に存在しない他者たちへ』 書評会 2024/09/01 立命館大学国際言語文化研究所・世界／日本文学のモダニティ 立命館大学国際言語文化研究所・世界／日本文学のモダニティ 国内会議
- 講演発表 『他人の顔』と「愛の片側」 2024/09/17 立命館大学映像学部「映画上映実習」学生プロデュース企画vol.23 〈生誕100周年 アヴァンギャルドの巨人 安部公房〉 シネ・ヌーヴォ 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 未来の記憶—自主制作映画『大阪万博2023』 2024/11/16 善光寺平前衛派エキシビション2024 善光寺平前衛派 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 山田勇人監督『暮らす人』上映とトークセッション 2024/11/30 甲南映画祭2024〈移民映画特集〉 甲南大学部文学部・甲南映画祭実行委員会 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 大島渚監督『絞死刑』上映とトークセッション 2024/12/05 甲南映画祭2024〈移民映画特集〉 甲南大学部文学部・甲南映画祭実行委員会 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 『1日240時間』—太古の道具から加速中毒の未来へ— 2024/12/14 福岡市総合図書館 文学講座〈安部公房生誕100年 安部公房と映画〉 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 安部公房と上野英信—福岡・炭鉱を中心に— 2024/12/14 福岡市文学館定例講座「ももちはま草紙」第92回 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
- 講演発表 【ディスカッサント】中根隆行氏「五木寛之と1960年代における艶歌／演歌の位相」 2025/01/25 日本比較文学会関西支部例会 日本比較文学会関西支部 口頭発表（一般） 国内会議

廣川 晶輝

研究課題	日本上代文学の『万葉集』に載る作品の綿密な表現分析を基盤として、長歌・反歌の構成方法、空間把握の方法の研究を推進する。
論文	山部赤人「神岳に登りて作る歌」について 美夫君志 109号 pp.15-29 2024/11/20 ISSN0286-9349
MISC	多田一臣著『山上憶良 生きる意味を問いつけた歌人の表現思想』 日本文学 73巻8号 pp.60-61 2024/08/10
講演発表	神戸に伝わる「菟原娘子伝説」の探究に基づく日本文化理解 2024/07/30 神戸市立六甲アイランド高等学校総合的探究授業推進模擬講義 神戸市立六甲アイランド高等学校・甲南大学 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	親子の思いー『万葉集』と現代の思いはつながっているー 2024/08/25 神戸市立東灘図書館「東灘区の学術にふれよう」 神戸市立東灘図書館 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	現代アーティストの歌詞と『万葉集』の歌ー歌と共に生きているー 2024/09/14 雲雀丘学園高等学校「2024 One Day College」 雲雀丘学園高等学校 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	現代アーティストの歌詞と『万葉集』に込められた願い 2024/09/30 兵庫県立御影高等学校「学問リサーチ」大学模擬講義体験 兵庫県立御影高等学校 その他 国内会議
講演発表	『万葉集』に学び現代社会に活かす 2024/10/24 東京サピアアカデミー 株式会社 J R 東日本ビルディング 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	つながる万葉集ー『万葉集』と現代の思いはつながっているー 2025/01/12 美夫君志会 1 月例会「やさしい万葉集入門」 美夫君志会 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	山部赤人「伊豫温泉に至りて作る歌」について 2025/03/11 第89回研究会飛ぶ鳥 口頭発表（一般） 国内会議

英語英米文学科

DUFFIELD Nigel G.

研究課題	
著書	The Routledge Handbook of Second Language Acquisition, Morphosyntax and Semantics (Chapter 32 Ellipsis) Routledge Chapter 32 2024
著書	The Place of Case in Grammar Oxford University Press 388-426 2024

MARTIN Andrew Thomas

研究課題	音韻論、言語獲得
------	----------

岩井 学

研究課題	イギリスを中心とした英語圏の文学と文化、比較文学、批評理論の研究
著書	『D・H・ロレンス書簡集 X／1920/7～1921』 松柏社 2024/04
著書	#ID. H. Lawrence and Ambivalence in the Age of Modernity: Rereading Midlands Novels and Wartime Writings in Social and Political Contexts#IR Routledge 2024/05 ISBN9781032675664
講演発表	令和 6 年度 近畿大学 文芸学部英語英米文学専攻講演会 2024/10/15 近畿大学 文芸学部 国内会議

秋元 孝文

研究課題	アメリカ文化・文学、ユダヤ文化・文学、イスラエル文化・文学、日本文化・文学、世界文化・文学など、さまざまな国の文学と文学の事象を同時代の社会的思想的背景との関係から考える。
------	--

上林 朋広

研究課題	南アフリカにおける都市と自然：ヨハネスブルクを中心に
著書	南アフリカの人種隔離政策と歴史の再構築：創られた伝統、利用される過去 明石書店 2025/03 ISBN9784750359021
MISC	歩きながら考える南アフリカの歴史 アフリカ 64巻1号 pp.12-15 2024/04
MISC	書評 山本めゆ著『「名誉白人」の百年ー南アフリカのアジア系住民をめぐるエスノ・人種ポリティックス』 法制史研究 73号 pp.241-245 2024/05
MISC	方向性の喪失？一民主化後三〇年、南アフリカ歴史学の現在ー 歴史評論 891号 pp.93-102 2024/06
MISC	書評 Sara Byala, <i>Bottled: How Coca-Cola Became African.</i> Oxford: Oxford University Press, 2023. Pp. xvii+366. 甲南英文学 39号 pp.53-60 2024/07
講演発表	Black Voice, White Letters: Examining the Publication History of <i>Zulu Woman: The Life Story of Christina Sibiya</i> 2024/05/18 日本アフリカ学会 第61回学術大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Reflection on the Voices: Examining the Publication History of <l>Zulu Woman: The Life Story of Christina Sibiya</i>. 2024/08/10 International Federation for Research in Women's History 2024 Conference 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Becoming Black: Reading Steve Biko in Japanese 2024/08/29 6th South Africa-Japan University Forum 国内会議
講演発表	アフリカ研究者の就職先としての国際・英語系学科 2024/10/28 アフリカ学会関西支部第 7 回例会 国内会議
講演発表	アフリカ言語で歴史を書くこと:南アフリカ・白人行政官 James Stuart(1868-1942)の歴史書を中心に 2024/11/16 関西イギリス史研究会 第30回研究会 国内会議
講演発表	ズールー人女性の声を伝える： フィールドノーツから刊行に至る Hourwich Reyher 著 Zulu Woman の出版史 2024/12/16 法政大学大学院記憶・記録・資史料研究所研究会（オンライン） 国内会議
講演発表	時間を逆行する：ジョン・デュベの行儀作法書 Ukuziphatha kahle における「文明」と「伝統」 2024/12/20 第99回ASC セミナー（東京外国語大学 現代アフリカ地域研究センター）；アフリカ学会関東支部2024年度第7回例会 国内会議
講演発表	ロンダ・シービンガー著『奴隷たちの秘密の薬』書評会、コメンテーター 2025/02/10 ロンダ・シービンガー著『奴隷たちの秘密の薬』書評会 国内会議

杉浦 裕子

研究課題	Shakespeare in Crisis, シェイクスピアの派生作品研究、18世紀シェイクスピア批評
論文	友情・手紙・道徳ーElizabeth Montagueのシェイクスピア批評 甲南英文学 39巻 pp.25-51 2024/07
講演発表	超自然の存在の「崇高」と「道徳」ー18世紀シェイクスピア批評の一断面から 2024/10/12 第62回 日本シェイクスピア学会 日本シェイクスピア協会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 「劇作家への転身とauthorshipの形成—ジョーン・リリーとジョーン・マーストンを比較して」 2025/03/01 科研費プロジェクト「エリザベス朝演劇における劇作家の仕事」第4回研究会 科研費基盤研究(B) エリザベス朝における劇作家の仕事（課題番号23K25309）口頭発表（招待・特別） 国内会議

大谷 祐二

研究課題 アメリカモダニズム文学とセクシュアリティ

中谷 健太郎

研究課題 ヒトの脳内に存在する言語処理メカニズムの解明および第二言語学習者の言語処理機序の研究

論文 The effect of SOA on lexical decision in Japanese and English: A pilot study IEICE Technical Report TL2024-9(2024-08)巻 pp.11-16 2024/07

論文 テシマウは本当に完了のアスペクト形式なのか レキシコン研究の新視点 一統語・語用と語の意味の関わりー pp.204-227 2024/10

著書 パソコンがあればできる！ことばの実験研究の方法 第2版—容認性調査、読文・産出実験からコーパスまで ひつじ書房 2024/05/31 ISBN4823411668

著書 レキシコン研究の新視点 一統語・語用と語の意味の関わりー 開拓社 2024/10/28 ISBN4758924066

講演発表 Lexically driven pragmatics of -te oku in Japanese. 2024/07/06 甲南英文学会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 Lexically driven pragmatics of -te oku in Japanese. 2024/07/06 第40回甲南英文学会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 The effect of SOA on lexical decision in Japanese and English: A pilot study 2024/08/10 MAPLL/思考と言語研究会 (TL) 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 Presupposition accommodationの観点から見たテオクとテシマウの非対称性 2024/11/10 日本言語学会 第169回大会 ポスター発表 国内会議

浜本 隆三

研究課題 アメリカの文明社会と自然に関する文学と文化の両側面からの学際的研究

著書 『環境と文学の彼方に：エコクリティシズムと新しい創造の時代』 彩流社 2025/03/31 ISBN4779130352

講演発表 Reading Walden in the COVID -19 Period 2024/10/12 The 8 th International Symposium on Literature and Environment in East Asia (ISLE-EA) ASLE-Korea, Humanities Korea Plus project(HK+) 国際会議

福島 彰利

研究課題 硬音前縮約現象とピッチ変化の関係

社会学科

阿部 真大

研究課題 労働社会学、家族社会学、社会調査論、文化社会学

関 めぐみ

研究課題 Institutional Ethnographyを用いた日米運動部活動スタッフ研究

著書 どうして「体育嫌い」なんだろう：ジェンダー・セクシュアリティの視点が照らす体育の未来 大修館書店 2025/02 ISBN9784469269994

著書 「女子マネージャー」の社会学 左右社 2025/02 ISBN9784865284546

著書 スポーツ社会学事典 丸善出版 2025/03 ISBN9784621310397

MISC 〈女子マネ〉の理想と現実 世界思想 特集：スポーツ 51号 pp.60-64 2024/04

MISC 大学運動部における学生スタッフとジェンダー問題：トレーナーの経験から考える—特集 スポーツにおけるジェンダーを考える 東京：創文企画 現代スポーツ評論 = Contemporary sports critique 50号 pp.89-102 2024/05

MISC スポーツ集団とホモソーシャル スポーツ社会学事典 pp.144-145 2025/03

栗田 宣義

研究課題 社会理論（エピジェネティック社会学、文化社会学、政治的暴力と集合行動）

論文 枷と剣のせめぎあい メイクとファッションの50年 季刊民族学 190号 pp.42-49 2024/10

論文 社会学中央誌かつ商業誌かつ教育誌 新社会学研究 9巻 pp.63-71 2024/11

論文 未来社会工学試論（2） 甲南大学紀要 文学編 175号 pp.99-103 2025/03

著書 社会学者のための論文投稿と査読のアクションリサーチ 新曜社 2024/05

著書 新社会学研究（9） 新曜社 2024/11

MISC 同人書評 新社会学研究 9巻 pp.190-191 2024/11 単著

MISC ネコタロウに聞け！ 異書・外伝篇 プレッパリー 新社会学研究 9巻 pp.192-194 2024/11 単著

松川 恭子

研究課題 ①インド・ゴア州のコーンカニー語演劇ティアトルのメディア展開についての研究、②湾岸アラブ諸国生まれ／育ちのインド系移民の子女たちの教育とキャリア形成についての研究、③デジタル・ストーリーテリングの効用についての研究

論文 大学の授業において「自己語り」の方法をいかに活用するか—実践しながら考える— 『甲南大学紀要.文学編』 175巻 pp.105-111 2025/03/30

講演発表 Migration and Cultural Gyres of Indian Ocean Performing Arts: The Case of Goans and Their Popular Theatre, Tiatr (Panel: Unruly edges of Indian Ocean arts: Objects and ideas in circulation and transformation) 2024/05/03 Arts of Indian Ocean Conference 国際会議

講演発表 インドの大学における自己語りを活用した教育実践の展開：Hanv Konn?（私は誰?）の問いから考える 2024/09/28 日本南アジア学会第37回全国大会 口頭発表（一般） 国内会議

星 敦士

研究課題	倫理的消費行動、社会ネットワーク、社会階層の相互作用に関する計量社会学的研究
論文	<研究ノート>インターネット調査の回答者における Satisficeの基礎的分析 甲南大學紀要（文学編） 175巻 pp.113-124 2025/03/30

帯谷 博明

研究課題	コミュニティと環境の持続可能性に関する社会学的研究
著書	入門・環境社会学 学文社 127-147 2024/04/10 ISBN978-4762032578

中里 英樹

研究課題	インクルーシブな育児休業制度と個人事業主・ベンチャーにおけるワークライフバランス
著書	20th International Review of Leave Policies and Related Research 2024 International Network on Leave Policies and Research 343-353 2024/09
MISC	男性育休取得推進の目的と企業の役割 ～ジェンダー平等と働き手のウェルビーイング向上に向けた先進事例から～ 社労士 TOKYO 523号 pp.8-12 2024/06
MISC	男性育休取得推進の目的と企業の役割 ～ジェンダー平等と働き手のウェルビーイングに向けた先進事例から～ 社労士 TOKYO 2024年6月号 pp.8-13 2024/06
MISC	男性育休は夫婦の子育てとキャリアに何をもたらしうのか ―特集 令和のお父さんのリアル：男性目線で考える父親支援；令和の男性育児研究 東京：医学書院 助産雑誌＝The Japanese journal for midwives 78巻4号 pp.339-345 2024/07/29 ISSN1347-8168
MISC	男性の育児休業を通して見るケアとキャリアのジェンダー平等 公益財団法人 鳥取市人権情報センター機関誌「架橋」 52号 2025/02
MISC	講義録 ジェンダー平等と男性の育児休業 ジェンダーインスティテュートジャーナル 39号 pp.19-29 2025/03
講演発表	自著を語る1 『男性育休の社会学』（さいはて社、2023 年） 2024/05/25 第75回関西社会学会大会 関西社会学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	持続可能な家族政策・労働政策としての育児休業 2024/05/26 第75回関西社会学会大会シンポジウム1 関西社会学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
講演発表	Effects of inclusiveness of parental leave scheme on work-life balance: Self-employed fathers in Japan in comparative perspective 2024/06/17 21th International Network on Leave Policies and Research Annual Seminar International Network on Leave Policies and Research 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	Transitions and Persistence in Gender Roles in Japan: Exploring Work- Family Policies, Culture, and Practices 2024/10/24 Conférence Jacques Leclerca 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国際会議
講演発表	キャリアのジェンダー平等と男性の育児休業（ハートウォーミングパネルディスカッション） 2024/12/22 2024年度第109回日本獣医麻酔外科学会 日本獣医麻酔外科学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
講演発表	何のための男性育休か：国際比較からみたキャリアの ジェンダー平等と子育て 2025/03/06 日本発達心理学会第36回大会 ラウンドテーブル「育児休業の光と影」 日本発達心理学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

辻井 敦大

研究課題	人間と伴侶動物の墓と納骨堂開発の意味の解明
論文	墓地開発／再開発と寺院経営——民間企業と仏教寺院の提携とその帰結 死生学年報2025 20巻 pp.103-126 2025/03
著書	社会をひもとく——都市・地域にみる社会問題の問い方 有斐閣 272 2025/03/10 ISBN9784641175037
MISC	これからの墓はどうなっていくのか（3）——誰もが墓を持てる状況になる中で人は墓所に何を求めるようになるのか 月刊住職 26巻4号 pp.94-101 2024/04
MISC	中筋直哉氏のご書評に依えて 地域社会学会年報 36巻 pp.150-151 2024/05
MISC	書評へのリプライ 宗教と社会 30巻 pp.112-113 2024/06
講演発表	宮澤本へ書評（1）——「自然葬法」をめぐる政治経済的背景と格差に注目して 2024/08/08 「近現代の弔いを問うプロジェクト」研究会 国内会議
講演発表	墓の商品化の歴史とそのゆくえ——郊外霊園から自動搬送式納骨堂まで 2024/09/21 東洋英和女学院大学・死生学研究所 2024年度第4回〈公開〉連続講座 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	自動搬送式納骨堂の成立と普及——近い死者への弔いの技術と文化 2024/09/28 関西社会学会2025年度第76回大会若手企画「死の社会学」研究会第1回公開研究会 関西社会学会 2025年度第76回大会若手企画 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議
講演発表	孝本貢の先祖祭祀研究とその現代的意義 2025/02/25 南山宗教文化研究所孝本貢文庫シンポジウム 南山宗教文化研究所 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

田野 大輔

研究課題	ナチズムの大衆動員の問題、および1930～40年代の日独関係の研究
論文	「ナチスの発明」の起源——源泉徴収をめぐる俗説と「一九四〇年体制」論 歴史評論 889号 2024/05
MISC	大量殺戮者の平穏な生活 『関心領域』パンフレット 2024/05
MISC	ホロコーストは上意下達か、問い直す 映画「関心領域」に見るナチ幹部の実像 朝日新聞 2024/06/06
MISC	『関心領域』のヘスは無関心でも『凡庸』でもない ナチ研究者の警鐘 朝日新聞 2024/06/06
MISC	ファシズムの台頭を回避するには？ 神戸新聞 2024/08/18

人間科学科

ファオル入江 容子

研究課題	
論文	「土星の徴の下」のもうひとつの脱構築—サラ・コフマンにおけるシェイクスピア『ヴェニスの商人』読解— 立命館大学人文科学研究所紀要 140号 pp.143-171 2024/11/30
著書	人種の母胎：性と植民地問題からみるフランスにおけるナシオンの系譜 人文書院 2024/06/05 ISBN4409041274
MISC	特集 ジェンダーを考える 『ふらんす』白水社 5月号 pp.5-5 2024/04/23
講演発表	【プレレクチャー】エルザ・ドルラン氏来日講演のために 2024/05/17 「グローバル時代の芸術文化概論」（東京藝術大学国際芸術創造研究科） 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議

吉川 孝

研究課題 現象学的倫理学の展開

- 講演発表 違法とされるブルーフィルムー21世紀のシークレット・ミュージアムー 2025/01/25 『映像アーカイブ・スタディーズ』 Book Launching Symposium 国内会議
- 講演発表 フッサル哲学における自伝的なもの——『改造』論文に参み出ているかもしれない「個人的なエートス」について—— 2025/03/16 フッサル研究会 口頭発表（一般） 国内会議

西 欣也

研究課題 近代主体性において<sacrifice>(犠牲的行為)が持つ意味の超領域的探求

- 論文 〈犠牲〉の論理の弁証法 ―抑圧と革命をつなぐ社会的行為― 甲南大学紀要 文学編 175号 2025/03/30

西尾 千尋

研究課題 子どもの発達と環境に関する心理学的研究

- 論文 Infant Walking and Everyday Experience: Unraveling the Development of Behavior from Motor Development New Generation Computing 42巻 pp.1115-1127 2024/09/20
- 著書 歩行が広げる乳児の世界 発達カスケードの探究 ちとせプレス 2024/10/10
- 講演発表 Observation in everyday environments: Understanding the development of behavior embedded in places and events 2024/06/27 The XXII International Conference on Perception and Action (ICPA)2024 ポスター発表 国際会議
- 講演発表 Activity Transitions as Resources for Learning and Development: Longitudinal Observation in a Daycare Center in Japan 2024/08/02 PECERA Annual Conference 2024 Tokyo ポスター発表 国際会議
- 講演発表 ラウンドテーブル「発達カスケードの探究乳児期のロコモーションの発達を手がかりに」における話題提供 2025/03/04 日本発達心理学会 第36回大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議
- 講演発表 幼児の活動切り替えの生態学的研究 自由遊びからお散歩へ 2025/03/05 日本発達心理学会 第36回大会 ポスター発表 国内会議

川田 都樹子

研究課題 近現代芸術批評理論（特にフォーマリズム批評の再検証）、芸術療法の歴史と現状

- 講演発表 アート・ドキュメンタリー映画「EXPO'70前衛の記憶〜アコを探して」解説 2024/09/15 完成前特別試写会（オープンキャンパス協賛企画） 甲南大学人間科学研究所 国内会議
- 講演発表 「〇〇さんの本棚」（N0.14） 2024/12/01 KIITO・三宮図書館連携「〇〇さんの本棚」 神戸市立三宮図書館 その他 国内会議
- 講演発表 アート・ドキュメンタリー映画「EXPO'70前衛の記憶〜アコを探して」完成挨拶と解説 2024/12/07 甲南映画祭'24 甲南大学文学部／甲南大学人間科学研究所 国内会議
- 講演発表 「モネ&フレンズ」たちの絵がもっとよくわかる印象派入門 2025/01/25 モネ&フレンズ・アライブ連携講演会 神戸市立三宮図書館 国内会議

大西 彩子

研究課題 道徳不活性化が職場での関係性攻撃に及ぼす影響

- 論文 The longitudinal association between school bonding and delinquency among adolescents Current Psychology 2024/08
- 論文 Stability and change in moral disengagement and bullying participation across three years of Japanese middle school International Journal of School & Educational Psychology 2024/10/26
- 論文 未来社会工学試論（2）ー再犯抑止へのエビゲノム応用素描ー 甲南大学紀要 文学編 175号 pp.99-103 2025/03/30
- 著書 学級における子どもの対人的問題ーいじめ／学級経営の心理学 子どもと教師がともに成長するために ナカニシヤ出版 p45-55 2024/09/01 ISBN9784779518188
- 講演発表 日本企業における道徳不活性化の定量的研究 2024/11/10 経営行動科学学会 第27回年次大会 経営行動科学学会 口頭発表（一般） 国内会議

大澤 香織

研究課題 （1）トラウマに関する心理教育・啓発の普及・実装に向けての試み，（2）女性特有の健康課題に関する実態解明とそれに基づく有用なサポートの検討

- 論文 トラウマに関するメンタルヘルス・リテラシー教育について考えるー教職を目指す学生に向けて大学で実践する意義と可能性ー 甲南大学教職教育センター年報・研究報告書 2024年度 pp.9-16 2025/02/28
- 論文 出張雑談・屋台カフェの体験が学生に何をもたらすかー大学コミュニティにおける社会的処方活動の効果検証の試みー 甲南大学全学共通教育センター紀要 3号 pp.113-120 2025/03/31
- 講演発表 ポピュレーション・アプローチとしての心の健康教育の研究実践とその課題：トラウマに関する心理教育の効果研究を題材として 2024/07/07 第32回日本健康教育学会学術大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議

服部 正

研究課題 アウトサイダー・アート／アール・ブリュットの研究

- 論文 「生（き）の芸術」から「生（せい）の芸術」へ 岩下徹の即興ダンスを中心に 青木恵理子編『〈生（せい）の芸術〉への誘い しなやかに世界を変えるために』 pp.272-301 2025/03/10 ISBN978-4-7795-1847-8
- 講演発表 アール・ブリュットの居場所はどこにある 2024/10/13 第75回美学会全国大会シンポジウム「社会福祉と＜アート＞」 美学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
- 講演発表 How have artworks by people with disabilities been exhibited in Japan? 2024/12/27 Taiwan and Japan Exchange Forum: Inclusive arts and the curation aesthetics of museums 中川眞・殷實寧 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国際会議

福井 義一

研究課題 複雑性PTSDや解離性障害の発症メカニズムの解明と介入技法の確立, 催眠に対する態度の変容可能性, いじめ被害者への有責性認知に関する研究, SNS依存尺度日本語版の開発, 日本における心身の健康やパーソナリティを測定する尺度のタキソメトリック分析, 対人援助職のバーンアウトについての健康生成論的研究, わが国における心理専門職に対する援助要請意図が低い理由

講演発表 その問題, 心理の専門家に相談しますか? その13—Yahoo!知恵袋における「恋愛相談・人間関係の悩み」カテゴリーの質問の分析— 2024/10/13 日本コミュニティ心理学会第27回大会 コミュニティ心理学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 外見に対する満足度が気分や状態自尊感情に及ぼす影響—外見を変動的要素と固定的要素に分けた場合の外見スキーマの調整効果— 2024/11/03 関西心理学会第135回大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 推し活をしている人たちは本当に幸せなのか?—推し活非従事者との比較— 2024/11/03 関西心理学会第135回大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 Yahoo!知恵袋への相談内容から見た心理専門職に対するイメージ—自己組織化マップを用いた追加的検討— 2024/11/03 関西心理学会第135回大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 いじめ被害者への非難的態度が有責性意識に及ぼす影響—社会的望ましさといじめ被害・加害経験の有無の調整効果— 2024/11/03 関西心理学会第135回大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 自尊感情の低下による補償的消費の対象は性別により異なる?—性的魅力についての誤情報を用いて— 2024/11/03 関西心理学会第135回大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 両親に対する内的作業モデルを測定する潜在連合テストの作成—両親との信頼に関わるエピソードを用いた妥当性の検討— 2024/11/03 関西心理学会第135回大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 Yahoo!知恵袋への相談内容から読み取る心理専門職の資格についてのイメージ—共起ネットワーク分析と自己組織化マップの比較— 2024/12/13 IDR ユーザーフォーラム2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 Yahoo!知恵袋への相談内容から見るHSP (Highly Sensitive Person) 概念の社会的受容の変遷 2024/12/13 IDR ユーザーフォーラム2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 Yahoo!知恵袋への相談内容から催眠についての一般的イメージを読み解く 2024/12/13 IDR ユーザーフォーラム2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 その問題, 心理の専門家に相談しますか? 完結編—Yahoo!知恵袋における「子育ての悩み」「学校の悩み」「友人関係の悩み」「発達障害」「職場の悩み」「恋愛相談・人間関係の悩み」カテゴリーの質問の分析— 2024/12/13 IDR ユーザーフォーラム2024 国立情報学研究所 ポスター発表 国内会議

論文 児童養護施設における生活経験の有無による抑うつ症状の比較—小児期逆境経験に着目して— 心理学研究 95巻1号 pp.1-10 2024/04

講演発表 いじめられる側にも責任がある?—有責性判断の理由についての計量テキスト分析— 2024/11/16 自然科学研究科成果発表会 ポスター発表 国内会議

講演発表 推し対象の違いで幸福感に差があるのか? 2024/12/15 リサーチフェスタ2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 発達障害とインターネット依存の関係 2024/12/15 リサーチフェスタ2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 自由記述による催眠状態についてのイメージの検討—自己組織化マップを用いて— 2024/12/15 第28回日本統合医療学会 学術大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 自分のことを名前で呼ぶ人はナルシストなのか? 2024/12/15 リサーチフェスタ2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 推し活で本当に幸せになれますか? 2024/12/15 リサーチフェスタ2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 共感性についての自己認識と実際の共感能力の乖離 2024/12/15 リサーチフェスタ2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 日常生活のストレスがSNS依存に及ぼす影響 2024/12/15 リサーチフェスタ2024 ポスター発表 国内会議

MISC 催眠療法家に対する顕在的・潜在的信頼性-催眠術師や心理療法家との比較から- 日本心理学会大会発表抄録集 87th巻 2024 ISSN2433-7609

MISC 潜在連合テスト(IAT)におけるフォントの変更の影響-フォントの嗜好による測定の信頼性や妥当性の低下- 日本心理学会大会発表抄録集 87th巻 2024 ISSN2433-7609

MISC いじめを容認する態度を測定する尺度の一般成人における適用可能性: 因子的妥当性と内的整合性, 因子不変性の検討—Applicability of the Accepting Attitudes Toward Bullying Scale to the general population: Factorial validity, internal consistency, and factor invariance 神戸: 甲南大学人間科学研究 心の危機と臨床の知 / 甲南大学人間科学研究 編 25巻 pp.85-101 2024

MISC 催眠に対する態度を測定する尺度の信頼性: 再検査信頼性と内的整合性の検討—Reliability of scales measuring attitude towards hypnosis: test-retest reliability and internal consistency 神戸: 甲南大学人間科学研究 心の危機と臨床の知 / 甲南大学人間科学研究 編 25巻 pp.67-83 2024

MISC その問題, 心理の専門家に相談しますか? その6—Yahoo!知恵袋における「うつ病」カテゴリーの質問の分析 日本心理学会大会発表抄録集 87th巻 2024 ISSN2433-7609

講演発表 首尾一貫感を測定する尺度 (SOC-13) の潜在因子構造—他のファセットを用いた確認的因子分析モデル間の比較— 2024/12/14 日本健康科学学会第39回学術大会 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 日本語版 SNS (Social Networking Service) 依存尺度の試作 2—構成概念・基準関連妥当性と再検査信頼性の検討— 2024/11/24 日本健康心理学会第37回大会 日本健康心理学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 首尾一貫感を測定する尺度 (SOC-29) の潜在因子構造—他のファセットを用いた確認的因子分析モデル間の比較— 2024/11/24 日本健康心理学会第37回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 子ども時代の被虐待経験といじめ被害・加害経験が自己関連づけに及ぼす影響—大学生を対象とした回顧的研究— 2024/12/01 日本子ども虐待防止学会第30回学術集会在がわ大会 ポスター発表 国内会議

論文 首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) を測定する尺度の潜在因子構造—確認的因子分析による複数モデルの比較— 心理学評論 67巻3号 pp.281-310 2024/12

著書 催眠療法など心理療法 (『機能性消化管疾患の診断と治療—神経消化器病学への招待—』: 第5章 診療の実例 7 Case Discussion) 朝倉書店 337-340 2024/10/01 ISBN9784762832062

論文 大学生の催眠についてのイメージ—自由記述回答に対する計量テキスト分析を使用した探索的研究— 中谷 智美・福井 義一・今井田 貴裕・磯和 壮太郎・堀 孝司・大浦 真— 25巻2号 2025/03

論文	催眠状態についての期待を測定する尺度の信頼性 一再検査信頼性と内的整合性の検討ー 心の危機と臨床の知 26巻 pp.1-16 2025/03	講演発表	Utilization of Extended Container Technique in Clinical Practice for Trauma and Dissociation: An Evidence Study among Japanese University Students 2024/10 9th International ESTD Congress 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	催眠で可能な行為についての一般的イメージの探究ー自己組織化マップを用いた追加的検討ー 2024/11/09 第13回日本情動学会大会 ポスター発表 国内会議	講演発表	首尾一貫感覚（SOC）の連続・非連続性ーBASOC-3の3項目を用いたTaxometric分析からー 2024/10 第89回日本健康学会総会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	首尾一貫感覚を測定する尺度（SOC-13）の潜在因子構造ー方法因子を用いた階層的因子分析ー 2024/11/30 第21回日本ヘルスプロモーション学会・第13回日本産業看護学会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	首尾一貫感覚を測定するSOC-13の潜在因子構造の確認的因子分析による再検討 2024/10 第83回日本公衆衛生学会総会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Yahoo!知恵袋への質問から見るHSP概念の社会的受容 その2ー多次元尺度構成法を用いてー 2024/09/06 日本心理学会第88回大会 日本心理学会 ポスター発表 国内会議	講演発表	抗うつ薬サインバルタ®の一般的イメージをX（旧Twitter）への投稿から読み取るー共起ネットワーク分析を用いてー 2024/07/12 第21回日本うつ病学会総会 日本うつ病学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	その問題、心理の専門家に相談しますか？ その11ーYahoo!知恵袋における「発達障害」カテゴリーの質問の分析ー 2024/07/16 第25回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会 日本ヒューマン・ケア心理学会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	催眠についてのイメージをYahoo!知恵袋から読み解く その4ー多次元尺度構成法を用いてー 2024/09/07 日本心理学会第87回大会 日本心理学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	催眠についてのイメージをYahoo!知恵袋から読み解く その1ー共起ネットワーク分析を用いてー 2024/07/16 第25回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会 日本ヒューマン・ケア心理学会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	Latent factor structure of Sense of Coherence Scale (SOC-29) in Japanese Population 2024/09 38th Annual Conference of the European Health Psychology Society ポスター発表 国際会議
講演発表	催眠についてのイメージをYahoo!知恵袋から読み解く その2ー相談カテゴリーとの対応分析を用いてー 2024/07/16 第25回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会 日本ヒューマン・ケア心理学会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	わが国における現代版ミルグラム実験の再現性ー他者からの強制による行為主体感の喪失ー 2024/09 日本犯罪心理学会第62回大会 ポスター発表 国内会議
MISC	児童養護施設における生活経験の有無による抑うつ症状の比較：小児期逆境体験に着目してーA comparative study of psychological distress in people with and without experience of living in residential care facilities : Focusing on adverse childhood experiences 東京：日本心理学会 心理学研究 / 日本心理学会編集委員会 編 95巻1号 pp.1-10 2024/04 ISSN0021-5236	講演発表	Effect of Tapping Touch self-care online program 12: Contributors to improvement of insomnia symptoms 2024/09 38th Annual Conference of the European Health Psychology Society ポスター発表 国際会議
講演発表	その問題、心理の専門家に相談しますか？ その10ーYahoo!知恵袋における「友人関係の悩み」カテゴリーの質問の分析ー 2024/05/26 2024年度第75回関西社会学会大会 関西社会学会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	Latent Structure of Irritable Bowel Syndrome: Taxometric Analysis among Japanese Adolescents 2024/09 ICPM 2024 ポスター発表 国際会議
著書	違いがわかるセラピスト：「どうやって」の質問で違いを生み出し、セラピーの針路を定める 北大路書房 2024/08/13 ISBN978-4762832598	講演発表	日本語版SNS（Social Networking Service）依存尺度の試作 1ー因子構造と内的整合性の再検討ー 2024/08/27 日本応用心理学会第90回大会 日本応用心理学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Would you consult psychological professionals about your own problems? Part 9: Analysis of the questions posted in the concern about school category on a community Q&A website. 2024/05/23 The 15th Asian Conference on the Social Sciences Asian Conference on the Social Sciences ポスター発表 国際会議	講演発表	第二次構造的解離における拡張版コンテイナー・テクニック（ECT）の適用ーApparently Normal Partによる代理ECTの実際ー 2024/07/28 日本カウンセリング学会第56回大会 その他 国内会議
講演発表	その問題、心理の専門家に相談しますか？ その12ーYahoo!知恵袋における「職場の悩み」カテゴリーの質問の分析ー 2024/08/24 第31回日本産業精神保健学会 日本産業精神保健学会 ポスター発表 国内会議	講演発表	コロナウィルス禍におけるタッピングタッチ・オンライン・プログラムの実践研究：『タッピングタッチによる睡眠の改善効果ーその理論とエビデンス、実践報告ー』 2024/09/28 日本心理臨床学会第43回大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
講演発表	フルトラゼパムの不適切な使用実態をX（旧Twitter）から読み解くーテキストマイニングを用いてー 2024/05/25 第54回日本神経精神薬理学会・第34回日本臨床精神神経薬理学会合同年会 日本神経性新薬理学会、日本臨床精神神経薬理学会 ポスター発表 国内会議	講演発表	催眠についてのイメージをYahoo!知恵袋から読み解く その3ー自己組織化マップを用いてー 2024/08/31 日本社会心理学会第65回大会 日本社会心理学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	わが国における不安感受性の潜在構造ーAnxiety Sensitivity Index-3日本語版を用いたTaxometric分析ー 2024/10 日本パーソナリティ心理学会第33回大会 ポスター発表 国内会議	講演発表	クエチアピンの一般的イメージをXへの投稿から読み解くー計量テキスト分析を用いてー 2024/06/01 第26回日本医薬品情報学会総会・学術大会 日本医薬品情報学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	わが国におけるアレキシサイミア傾向の潜在構造ーGotow Alexithymia Questionnaireを用いたTaxometric分析ー 2024/10 日本パーソナリティ心理学会第33回大会 ポスター発表 国内会議	講演発表	Yahoo!知恵袋への質問から見るHSP概念の社会的受容 その1ー共起ネットワーク分析を用いてー 2024/09/01 日本社会心理学会第65回大会 日本社会心理学会 ポスター発表 国内会議
		講演発表	Effects of psychoeducation for correcting expectancies for the hypnotic state on the conscious/non-conscious attitudes toward hypnosis 2024/06 XXII World Congress of Medical & Clinical Hypnosis The International Society of Hypnosis ポスター発表 国際会議

講演発表 Categorical versus dimensional models of sense of coherence Part 1: Taxometric analysis using SOC-29 among Japanese population 2024/06 7th International Conference on Salutogenesis ポスター発表 国際会議

講演発表 Latent factor structure of anxiety sensitivity among Japanese adolescents: Using the Japanese version of the Anxiety Sensitivity Index-3 2024/06 Psychology Congress 2024: 1st International Congress on Psychology and Behavioural Sciences ポスター発表 国際会議

講演発表 オンラインによるタッピングタッチのセルフケア・プログラムの効果10: セルフケアと不眠症状の改善の関連 2024/06 第65回日本心身医学会総会ならびに学術講演会 ポスター発表 国内会議

講演発表 催眠の一般的な使用場面・用途についてのイメージ—自己組織化マップを用いた追加的検討— 2024/08 日本応用心理学会第90回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 わが国における「HSP」概念の受容と広がり 2—「HSP」関連書籍のタイトルと出版年の対応分析から— 2024/08 日本心理臨床学会第43回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Yahoo!知恵袋への質問内容から読み取る心理専門職のイメージ—臨床心理士と公認心理師の比較— 2024/08 日本応用心理学会第90回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 バストサイズについての誤情報による自尊心感情操作が女性の高級品に対する購買意欲に及ぼす影響 2024/08 日本応用心理学会第90回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 外見に対する満足度が気分や状態自尊心感情に及ぼす影響 2024/08 日本応用心理学会第90回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 オンラインによるタッピングタッチのセルフケア・プログラムの効果11—不眠改善の寄与因の特定— 2024/08 日本心理臨床学会第43回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Categorical versus dimensional models of dissociation Part 3: Taxometric analysis among Japanese adolescents 2024/08 European Conference of Personality 21st ポスター発表 国際会議

講演発表 Effects of Childhood Abuse and Years of Bullying Victimization / Perpetration on Beliefs in a Just World: A Retrospective Study among Japanese University Students 2024/08 ISPCAN Sweden 2024 ポスター発表 国際会議

講演発表 日本語版SNS（Social Networking Service）依存尺度の試作 1—因子構造と内的整合性の再検討— 2024/08 日本応用心理学会第90回大会 ポスター発表 国内会議

講演発表 首尾一貫感覚を測定する尺度（SOC-29）の潜在因子構造—方法因子（Method factor）を投入した階層的因子分析— 2024/11 グローバルヘルス合同大会2024 ポスター発表 国内会議

講演発表 抗不安薬エチゾラムの一般的イメージや不適切な使用実態をX（旧Twitter）から読み解く—投稿内容に対する共起ネットワーク分析— 2024/07/20 2024年度 日本不安症学会／日本認知療法・認知行動療法学会 合同開催 日本不安症学会，日本認知療法・認知行動療法学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 リソース・タッピング：『対人援助の現場で活用できる臨床心理学的技法のアラカルト』 2024/07 日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会第25回大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

講演発表 Categorical versus dimensional models of sense of coherence Part 2: Taxometric analysis using SOC-13 among Japanese population 2024/07 European Conference of Positive Psychology 2024 ポスター発表 国際会議

講演発表 Categorical versus dimensional models of dissociation Part 1: Taxometric analysis among Japanese adolescents 2024/07 ISRE 2024 Conference of the International Society for Research on Emotion ポスター発表 国際会議

講演発表 Categorical versus dimensional models of dissociation Part 2: Using Taxometric analysis 2024/07 33rd International Congress of Psychology ポスター発表 国際会議

講演発表 コンサータ®の不適切な使用実態をX（旧Twitter）から読み解く—共起ネットワーク分析を用いて— 2024/09/19 2024年度 アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 アルコール・薬物依存関連学会 ポスター発表 国内会議

北川 恵

研究課題 アタッチメント理論に基づく子どもと養育者の関係性の理解と支援

MISC 連載 アタッチメントを学ぼう——関係性の理解と支援 (10) アタッチメント理論に基づく親子関係支援 こころの科学 235巻 pp.2-7 2024/05/01

MISC 連載 アタッチメントを学ぼう——関係性の理解と支援 (11) アタッチメント理論と心理療法 こころの科学 236巻 pp.115-119 2024/07/01

MISC 連載 アタッチメントを学ぼう——関係性の理解と支援 (12) アタッチメントと文化 こころの科学 237巻 pp.91-96 2024/09/01

講演発表 When do Japanese mothers become unresponsive to their children? An exploratory study from attachment-based intervention. 2024/07/15 Poster presented at the International Attachment Conference 2024 ポスター発表 国際会議

講演発表 高校生への心理教育と高校公民科教育との効果的なつながりを育むために 2024/09/07 日本心理学会第88回大会 国内会議

講演発表 わが国におけるアタッチメント研究の最前線（自主シンポジウム、指定討論） 2025/03/05 日本発達心理学会第36回大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議

講演発表 社会的養護の現場におけるアタッチメント理論の有用性—児童心理治療施設での実践を考える（自主シンポジウム、指定討論） 2025/03/06 日本発達心理学会第36回大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議

野崎 優樹

研究課題 対話型AI とのインタラクションを介した情動調整に関する研究

論文 アタッチメント・スタイルと自他への攻撃性の関連—自己愛傾向を媒介要因とした検討— 発達心理臨床研究 31巻 pp.133-140 2025/03/31

著書 エッセンシャル教育心理学 大学教育出版 169-183 2025/03/31 ISBN9784866923475

講演発表 情動知能の望ましさをどう捉えるか 2024/09/15 日本教育心理学会第66回総会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

講演発表 An integrative framework of supportive communication and interpersonal emotion regulation 2025/03/22 Society for Affective Science 2025 Annual Conference Society for Affective Science ポスター発表 国際会議

歴史文化学科

佐藤 泰弘

研究課題	荘園制の研究、殿上受領の研究。荘園制については、2023年度に発表した概説論文の補論を執筆する。殿上受領については、2021年度に出版された論文（中国語版）を増補・改訂する。
論文	且二十五戸 一天慶の乱の報賽をめぐる一 『本郷真紹先生退職記念論集 日本古代の国家・王権と宗教』 pp.357-375 2024/04
論文	二つの荘園整理令 甲南大学紀要 文学編 175号 pp.27-37 2025/03

出口 晶子

研究課題	Dr.①ユーバーシャールの交友と足跡に関する研究 ②離島と河海の文化継承の研究
論文	「南山城地域の木造船―木津川・巨椋池を中心に」 『海事史研究』 81号 pp.1-32 2024/11/30 ISSN0386-9105
論文	有馬頼吉とハンス・ユーバーシャール 甲南大学紀要 文学編 175号 pp.161-188 2025/03
講演発表	巨椋池の木造船―その文化財的価値 2024/11/25 令和6年度文化財講演会 久御山町教育委員会 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議

新見 まどか

研究課題	五代十国期における国際関係の基礎的研究――国書と婚姻を中心に
論文	五代と北宋のはざま――後周太祖・世宗期における南唐対策とその変遷 『東洋学報』 106巻1号 pp.1-35 2024/06
論文	五代期の十国政権間における婚姻の展開とその限界 甲南大学紀要 文学編 2025/03
MISC	〔新刊紹介〕森部豊著 『唐：東ユーラシアの大帝国』 『唐代史研究』 27巻 pp.149-152 2024/08

図師 宣忠

研究課題	中世ヨーロッパ史（文書と権力、宗教と社会、史料論）／西洋中世学（映像化される中世）
著書	映画で味わう中世ヨーロッパ：歴史と伝説が織りなす魅惑の世界 ミネルヴァ書房 2024/11 ISBN4623097749
著書	西洋中世文化事典 丸善出版 2024/12 ISBN4621310194
MISC	（書評）ゲルト・クルマイヒ（加藤玄監訳、小林繁子・安酸香織・西山暁義訳）『ジャンヌ・ダルク――預言者・戦士・聖女』 みすず書房、2024年 『図書新聞』 3665号 2024/11/30
MISC	（新刊紹介）Olivier PONCET, Sylvie DESACHY et Olivier GUYOTJEANNIN (eds.), Figures du notaire dans la France méridionale: Institutions, clientèles et actes (XIIe-XVIIe siècle), Paris, École nationale des chartes, 2022, 336p., € 34 西洋中世研究 16号 pp.177-177 2024/12

中町 信孝

研究課題	イスラーム文化研究：中世アラブ社会史から現代のポピュラーカルチャーまで
論文	阪神間のモスク巡検記録（１）―大阪編― 甲南大学紀要文学編 175巻 pp.217-225 2025/03
講演発表	アラビア語年代記のデジタル学術校訂に向けて 2024/07/21 図書資料の構造化 研究データとしてのテキストデータ構築 TEI協会東アジア／日本語分科会 ポスター発表 国内会議

講演発表	Reception of Mamluk Manuscripts in the Ottoman Period: The Scattered Selimiye Collection of 'Iqd al-Jumân 2024/09/07 Textual Transmission in the Islamic Manuscript Age シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
------	---

中辻 享

研究課題	多時点の航空写真を用いた土地利用・土地被覆の長期的変化の研究
著書	焼畑を活かす 土地利用の地理学：ラオス山村の70年 京都大学学術出版会 2025/02 ISBN9784814005734
講演発表	ラオスにおける焼畑の現代的意義 2024/06/29 第34回日本熱帯生態学会年次大会 福井大会 日本熱帯生態学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ラオスの1959年撮影航空写真を用いた広域オルソモザイク画像の作成 2025/03/20 2025年日本地理学会春季学術大会 口頭発表（一般） 国内会議

東谷 智

研究課題	日本近世史（特に政治史・藩政史・地域史）・史料の調査・整理論・博物館学や文化財行政論
論文	江戸時代の新田村における村政の仕組み―河内国若江郡玉井新田と小田原藩領「新田組」『甲南大学紀要』文学編 175号 pp.39-42 2025/03/30
論文	本堅田村諸色留帳（史料編）文政九年（一八二六）文政十年（一八二七）近江堅田の歴史と史料 1号 pp.45-115 2025/03/31
論文	堅田藩成立期における堀田家の江戸上屋敷について 近江堅田の歴史と史料 1号 pp.13-16 2025/03/31
著書	『西宮神社御社用日記』第5巻 清文堂出版 2025/03/31
講演発表	江戸時代の村人たちと住民登録―岸田堂村の登録台帳の分析から― 2024/09/22 東大阪市歴史講演会 国内会議
講演発表	旗本三好亮の行政機構―横小路村山川家文書を素材として― 2025/03/01 東大阪市歴史講演会 国内会議

鳴海 邦匡

研究課題	人と地域の関わりに関する様々な文化的な事象
------	-----------------------

高田 実

研究課題	生の歴史学と相互扶助―友愛組合と労働組合
論文	「生の歴史学」を求めて―方法論的序説 甲南大学紀要 文学編 175号 pp.203-215 2025/03/30
MISC	彼らがイギリスで「見た」ものとは一二つの英国見聞録― 広島日英協会々報 136号 pp.1-7 2025/01/31
MISC	書評 森宜人著『失業を埋め戻す―ドイツ社会都市・社会国家の模索』 西洋史学論集 62号 pp.90-93 2025/03 ISSN0386-9261

文学部共通

井上 快

研究課題	近代日本における教育思想史研究
------	-----------------

高石 恭子

研究課題 学生相談実践を通じた今日の学生の成長支援に必要な技法の開発と検討

- 論文 キャンパスにおける社会的処方の実践に心理臨床の専門家が加わることの意義 甲南大学学生相談室紀要 32号 pp.56-68 2025/02/28
- 著書 臨床心理士による心のケアと子育て支援 福村出版 224-237 2025/03/31
- MISC 心理臨床家にとっての親・家族面接一今、私たちに求められていること 京都大学大学院教育学研究科心理教育相談室紀要「臨床心理事例研究」 51号 pp.8-12 2024/11/08
- MISC 発達障害学生に対する大学における合理的配慮の原則と課題 遠見書房 シンリンラボ 22号 2025/01/02
- MISC 谷岡論文へのコメントー4世代の物語を背負う少女の自分探しの旅から学べること 天理大学カウンセリングルーム紀要 21号 pp.71-74 2025/01/31
- MISC 学生相談からキャンパスの社会的処方をまなざす 甲南大学総合研究所 編集 服部正 甲南大学総合研究所「社会的処方研究プロジェクト」報告書 pp.44-45 2025/03/10
- 講演発表 学生相談の知を学生と社会に還元する事例研究論文の書き方 2024/05/25 日本学生相談学会第42回大会ワークショップ 日本学生相談学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
- 講演発表 事例検討会「宝探しの旅ー構音障害の女児との心理療法過程ー」 安念直子氏発表への指定討論 2024/07/28 甲南心理臨床学会第26回大会 甲南心理臨床学会 その他 国内会議
- 講演発表 自殺未遂を機に遠隔カウンセリングを始めた女子大学生（野坂見智代氏口頭発表への指定討論） 2024/08/23 日本心理臨床学会第43回大会 対面大会 日本心理臨床学会 その他 国内会議
- 講演発表 現場に生きる表現技法の可能性を探る 2024/10/12 日本箱庭療法学会第37回大会ワークショップ 日本箱庭療法学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議
- 講演発表 「悲嘆夢を巡る語りー遺族ケアへの活用を視野に入れた調査事例からー（清水亜紀子氏他口頭発表）」への指定討論 2024/10/13 日本箱庭療法学会第37回大会 日本箱庭療法学会 その他 国内会議

池上 知子

研究課題 偏見や差別、格差・不平等問題の解決を妨げる要因の解明と解決に関する研究

- 著書 グラフィック社会心理学 第3版 サイエンス社 2024/11/25
- 講演発表 差別・偏見研究の展望 社会心理学の視座 2024/11/15 CVPPPオンラインセミナー（信州大学公開講演会） 公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義等 国内会議

富樫 公一

研究課題 精神分析的自己心理学の概念の東洋思想からの検証

- 論文 心理臨床の倫理における多元主義：倫理的転回の立場から 臨床心理学 24巻3号 pp.305-310 2024/05
- 論文 「陰性治療反応」という概念の使用について 精神分析研究 68巻3号 pp.322-329 2024/07
- 論文 応答する主体としての臨床心理学 臨床心理学 増刊巻16号 pp.97-103 2024/08/30 ISSN1345-9171
- MISC 治療関係における分断ー当事者性と偶然性、根源的罪悪感ー 精神療法 50巻6号 2024/12

- 講演発表 オンラインセッションと臨床家の責任 2024/07/21 小寺関係性精神療法セミナー2024 小寺精神分析記念財団 公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義等 国内会議
- 講演発表 Can You Cure Your Patient? 2024/10/13 Connections and conversation at Psychoanalytic Inquiry Psychoanalytic Inquiry 公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義等 国際会議
- 講演発表 Seeing Psychoanalytic Culture from an Asian Perspective 2024/10/24 IAPSP's 45th Annual International Conference 国際自己心理学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国際会議
- 講演発表 A Surprise of Impermanence and Radical Unjustifiability 2024/10/25 IAPSP's 45th Annual International Conference 国際自己心理学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国際会議
- 講演発表 トラウマの中の治療者：トラウマと当事者性、根源的罪悪感 2024/11/08 日本精神分析学会第70回大会 日本精神分析学会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
- 講演発表 Contingency, a Sense of Surprise, and Trauma 2024/11/22 the 2024-2025 TRISP Workshop Series Training and Research in Intersubjective Self Psychology 公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義等 国際会議
- 講演発表 A Surprise of Impermanence and Radical Unjustifiability 2024/12/28 23rd Taiwan Self Psychology Conference in 2024 Taiwan Self Psychology Conference 国際会議

理工学部

物理学科

井上 剛志

研究課題

論文	High-mass star formation in the Large Magellanic Cloud triggered by colliding H I flows Publications of the Astronomical Society of Japan 76巻4号 pp.589-615 2024
論文	MHD Simulation in Galactic Center Region with Radiative Cooling and Heating The Astrophysical Journal 966巻2号 pp.239- 2024
論文	Bell Instability-mediated Diffusive Shock Acceleration at Supernova Blast Wave Shock Propagating in the Interstellar Medium The Astrophysical Journal 965巻 pp.113- 2024
論文	An improved dynamical Poisson equation solver for self-gravity Monthly Notices of the Royal Astronomical Society 527巻1号 pp.471-477 2024
論文	The Impact of Stellar Radiative Feedback on Formation of Young Massive Clusters via Fast H I Gas Collisions The Astrophysical Journal 971巻1号 pp.62- 2024
論文	The Gamma-Ray Origin of RX J0852.0-4622 Quantifying the Hadronic and Leptonic Components: Further Evidence for the Cosmic-Ray Acceleration in Young Shell-type SNRs The Astrophysical Journal 961巻 pp.162- 2024
論文	Internal 1000 au Scale Structures of the R CrA Cluster-forming Cloud. I. Filamentary Structures The Astrophysical Journal 968巻2号 pp.131- 2024
論文	Growth of Massive Molecular Cloud Filament by Accretion Flows. I. Slow-shock Instability versus Ambipolar Diffusion The Astrophysical Journal 961巻 pp.100- 2024
論文	MHD Simulation in Galactic Center Region with Radiative Cooling and Heating The Astrophysical Journal 966巻 pp.230- 2024

山本 常夏

研究課題

論文	Standardised formats and open-source analysis tools for the MAGIC telescopes data Journal of High Energy Astrophysics 2024/11/01 ISSN2214-4048
MISC	CTA報告224:CTA大口径望遠鏡のためのSiPMモジュールの開発(3) 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 79巻1号 2024 ISSN2189-079X
MISC	CTA報告222:大口径望遠鏡初号機LST-1とMAGIC望遠鏡間におけるハードウェアトリガーの実装及び観測時の性能推定の研究(3) 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 79巻1号 2024 ISSN2189-079X
MISC	MAGICレポート86:MAGICで測定された宇宙線Electronと陽電子スペクトル【JST機械翻訳】 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 79巻2号 2024 ISSN2189-079X
MISC	MAGICレポート85:MAGICハイライト結果【JST機械翻訳】 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 79巻2号 2024 ISSN2189-079X
MISC	CTA報告223:CTA大口径望遠鏡搭載の焦点面検出器のアフターパルス発生確率の研究 日本物理学会講演概要集(CD-ROM) 79巻1号 2024 ISSN2189-079X

山崎 篤志

研究課題

論文	High- and Low-Energy Photoemission Study of Strongly Correlated Au–Ga–Ce Quasicrystal Approximants: Localized 4<i>f</i> Nature and Disorder Effects Journal of the Physical Society of Japan 93巻7号 2024/07/15 ISSN0031-9015
----	---

市田 正夫

研究課題

講演発表	欠陥のあるカーボンナノチューブにおける光学応答の理論 2024/09/17 日本物理学会 日本物理学会 国内会議
講演発表	CdTe及びCdSe量子ドットの三次光学非線形性 2024/09/17 日本物理学会 日本物理学会 ポスター発表 国内会議

秋宗 秀俊

研究課題

論文	Effect of ground-state deformation on the isoscalar giant monopole resonance and the first observation of overtones of the isoscalar giant quadrupole resonance in rare-Earth Nd isotopes Physics Letters B 855巻 pp.138852-138852 2024/08 ISSN0370-2693
論文	Optical model potentials for deuteron scattering off Mg24, Si28, Ni58, Zr90, Sn116, and Pb208 at ≈100 MeV/nucleon Physical Review C 2024/10/15
論文	Measurement of the Radiative-Decay Probability of the Hoyle State EPJ Web of Conferences 306巻 pp.01047-01047 2024/10/18
論文	Excitation of the isoscalar giant monopole resonance using Li6 inelastic scattering Physical Review C 2025/01/08

小堀 裕己

研究課題 スピンエレクトロニクス スピンエレクトロニクスに関連した多機能デバイス材料の物性探索

講演発表	Magnetic Field Induced Metal-Insulator-Transition in La1-xSr MnO Thin Films on a-SiO Substrates Produced by Metal Organic Decomposition Method 2024/11/08 The 13th International Conference on Nanostructures, Nanomaterials and Nanoengineering 口頭発表（一般） 国際会議
------	--

松田 洋平

研究課題

論文	Effect of ground-state deformation on the isoscalar giant monopole resonance and the first observation of overtones of the isoscalar giant quadrupole resonance in rare-Earth Nd isotopes Physics Letters B pp.138852-138852 2024/07 ISSN0370-2693
論文	Measurement of the Radiative-Decay Probability of the Hoyle State EPJ Web of Conferences 306巻 pp.01047-01047 2024/10/18
MISC	Measurement of proton elastic scattering from 132Sn at 200 MeV/nucleon RIKEN Accelerator Progress Report 2023 57巻 pp.22-22 2024/12
MISC	Production cross-section measurement of 16N isomer for proton elastic scattering experiment RIKEN Accelerator Progress Report 2023 57巻 pp.21-21 2024/12
MISC	First systematic measurement of cluster knockout reaction with 40Ca RIKEN Accelerator Progress Report 2023 57巻 pp.24-24 2024/12

MISC	Development of new particle identification method by pulse shape analysis of the GAGG(Ce) calorimeter RIKEN Accelerator Progress Report 2023 57巻 pp.103-103 2024/12
講演発表	冷却水素ガス標的を用いた10MeV単色中性子源の開発とその中性子エネルギースペクトルの考察 2024/09/16 日本物理学会 第79回年次大会 国内会議
講演発表	重陽子非弾性散乱を用いた12Cの3-1状態の γ 壊確率測定のための固体重水素標的の開発 2024/09/16 日本物理学会 第79回年次大会 国内会議
講演発表	サイクロトロン在省電力化を目指した要素技術開発 2024/09/16 日本物理学会 第79回年次大会 国内会議
講演発表	核子当たり200MeVでの132Snの陽子弾性散乱測定 2024/09/17 日本物理学会 第79回年次大会 国内会議
講演発表	104,106,108Pd原子核の低励起状態へのアルファ非弾性散乱断面積の測定 2024/09/18 日本物理学会 第79回年次大会 国内会議
講演発表	二層式固体水素標的の開発 2025/03/18 日本物理学会 2025年春季大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	新しい反跳陽子テレスコープを用いた中重核領域の不安定核における陽子弾性散乱測定 2025/03/20 日本物理学会 2025年春季大会 国内会議
講演発表	高強度重イオンビーム実験におけるXeシンチレータの性能評価 2025/03/21 日本物理学会 2025年春季大会 国内会議

須佐 元

研究課題

青木 珠緒

研究課題

論文	シリコンへの硫黄の過飽和ドーピングがもたらす光学的・電気的特性の変化 電気学会論文誌 C（電子・情報・システム部門誌） 144巻11号 pp.1066-1070 2024
講演発表	アントラセン単結晶薄膜の発光減衰特性 2024/09/17 日本物理学会 第79回年次大会 ポスター発表 国内会議
講演発表	レーザーアブレーション法で作製されたZnO球状粒子の作製条件と光学特性 2024/09/18 2024年第85回応用物理学会秋季学術講演会 応用物理学会 口頭発表（一般） 国内会議

田中 孝明

研究課題

論文	Search for Synchrotron Emission from Secondary Electrons of Proton–Proton Interactions in Galactic PeVatron Candidate HESS J1641-463 The Astrophysical Journal 967巻2号 pp.138- 2024/06
論文	Evaluation of the X-ray SOI pixel detector with the on-chip ADC Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section A: Accelerators, Spectrometers, Detectors and Associated Equipment 1064巻 pp.169426-169426 2024/07 ISSN0168-9002
論文	XRISM Spectroscopy of the Fe K α Emission Line in the Seyfert Active Galactic Nucleus NGC 4151 Reveals the Disk, Broad-line Region, and Torus The Astrophysical Journal Letters 973巻1号 pp.L25- 2024/09/19
論文	The XRISM first-light observation: Velocity structure and thermal properties of the supernova remnant N 132D Publications of the Astronomical Society of Japan 76巻6号 pp.1186-1201 2024/10/10

論文	Recent Results on Supernova Remnants at Highest Energies Proceedings of Science 417巻 pp.022- 2024/12/05
論文	The XRISM/Resolve View of the Fe K Region of Cyg X-3 The Astrophysical Journal Letters 977巻2号 pp.L34- 2024/12/11
論文	Overionized plasma in the supernova remnant Sagittarius A East anchored by XRISM observations Publications of the Astronomical Society of Japan 77巻1号 pp.L1-L8 2024/12/26
論文	Detection of Extended X-Ray Emission around the PeVatron Microquasar V4641 Sgr with XRISM The Astrophysical Journal Letters 978巻2号 pp.L20-L20 2025/01/03 ISSN2041-8205
論文	Exploring the Circumstellar Environment of Tycho's Supernova Remnant. II. Impact on the Broadband Nonthermal Emission The Astrophysical Journal 979巻1号 pp.81- 2025/01/20
論文	The bulk motion of gas in the core of the Centaurus galaxy cluster Nature 638巻8050号 pp.365-369 2025/02/13
論文	A detailed study on spectroscopic performance of SOI pixel detector with a pinned depleted diode structure for X-ray astronomy Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A 1072巻 pp.170203- 2025/03
論文	Soft X-ray Imager of the Xtend system on board XRISM Publications of the Astronomical Society of Japan 2025/03/11
論文	XRISM Reveals Low Nonthermal Pressure in the Core of the Hot, Relaxed Galaxy Cluster A2029 The Astrophysical Journal Letters 982巻1号 pp.L5- 2025/03/12
著書	理科年表 2025 丸善出版 2024/11/28

梅津 郁朗

研究課題	半導体 ナノ構造半導体の創成と再生可能エネルギー材料への応用
論文	シリコンへの硫黄の過飽和ドーピングがもたらす光学的・電気的特性の変化 電気学会論文誌 C(電子・情報・システム部門誌) 144巻 pp.1066-1070 2024/11
論文	パルスレーザアブレーション法による可視光応答型プラズモニック光触媒の創製 電気学会論文誌 C(電子・情報・システム部門誌) 144巻 pp.1100-1103 2024/11
講演発表	A method to prepare size-controlled spherical nano/micro particles by pulsed laser ablation using inertial effects 2024/09/30 17th International conference on laser ablation, 口頭発表（一般） 国際会議

高吉 慎太郎

研究課題	強相関物質におけるダイナミクスの理論
論文	Many-Body Effects on High-Harmonic Generation in Hubbard Ladders Physical Review Letters 134巻9号 pp.096504- 2025/03/07 ISSN0031-9007

生物学科

久原 篤

研究課題	低温耐性に関わる薬剤のスクリーニング
論文	The intron binding protein EMB-4 is an opposite regulator of cold and high temperature tolerance in Caenorhabditis elegans PNAS nexus 3巻8(293)号 pp.1-13 2024/07
論文	Cold Tolerance in the Nematode Caenorhabditis elegans Adv Exp Med Biol. 1461巻 pp.33-46 2024/07

講演発表	Environmental oxygen information generates temperature response diversity in <i>C. elegans</i> 2024/06/24 IUPAB 2024 IUPAB 2024 ポスター発表 国際会議	講演発表	Isolation of new genes for <i>C. elegans</i> temperature acclimation and tolerance through transcriptome and artificial evolutionary analysis 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議
講演発表	Identification of multiple responsible genes for abnormal cold acclimation of <i>C. elegans</i> lectin mutants 2024/06/24 IUPAB 2024 IUPAB 2024 ポスター発表 国際会議	講演発表	Identification of mitochondrial metabolic factor in cold acclimation 2024/08/27 The future of nematode research 2024 meeting The future of nematode research 2024 meeting ポスター発表 国内会議
講演発表	Regulatory mechanism of HADH and its localization in cell organelles during temperature acclimation in <i>Caenorhabditis elegans</i> 2024/06/24 IUPAB 2024 IUPAB 2024 ポスター発表 国際会議	講演発表	Analysis of genes whose expression changes with temperature that affect cold and heat tolerance 2024/08/27 The future of nematode research 2024 meeting The future of nematode research 2024 meeting ポスター発表 国内会議
講演発表	線虫のHADHによる温度順化を制御する回路の探索及び細胞内での局在 2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 ポスター発表 国内会議	講演発表	Exploring functions in neural circuits and cell organelles regulated by <i>Caenorhabditis elegans</i> HADH during temperature acclimation 2024/08/27 The future of nematode research 2024 meeting The future of nematode research 2024 meeting ポスター発表 国内会議
講演発表	環境の酸素ストレスが線虫 <i>C. elegans</i> の温度馴化多様性を生み出す 2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 ポスター発表 国内会議	講演発表	Analysis of a neural circuitry and subcellular localization of HADH regulating temperature acclimation in <i>C. elegans</i> 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	<i>C. elegans</i> の温度順化に関わる温度受容体GPCRの同定 2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 ポスター発表 国内会議	講演発表	<i>C. elegans</i> における飢餓による低温耐性の向上と人工進化系統の解析 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ミトコンドリア局在分子が核内で機能することで小型動物(線虫 <i>C. elegans</i>)の低温耐性に関わる 2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 口頭発表（招待・特別） 国内会議	講演発表	Identification of a novel gene involved in temperature acclimation in <i>C. elegans</i> 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Molecular mechanisms of high and low temperature tolerance conserved between plants and animals, and screening of cold sensitive genes 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	線虫 <i>C. elegans</i> の低温耐性を制御する咽頭筋リソソームの銅トランスポーター 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Neural wiring and brain-gut communication regulates temperature acclimation 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国際会議	講演発表	Diversity and intracellular calcium dynamics of glial ependymal cells in the brain vesicle of the ascidian larva 2024/09/12 動物学会 日本動物学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	DEG/ENaC DEG-1 and UNC-8 are involved in temperature sensing on cold tolerance of <i>C. elegans</i> 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	タンパク質の新機能発見！代謝に関わるタンパクが神経系で温度順化を制御する機構の解明 2024/09/28 第二回異分野融合若手研究者の会 第二回異分野融合若手研究者の会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Neuronal transcription elongation factor involved in cold tolerance regulates neural activity of tail neuron in <i>C. elegans</i> 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	～飢餓で低温に耐えられる現象を発見～13年間1000世をかけて人工進化させたセンチュウ 2024/09/28 第二回異分野融合若手研究者の会 第二回異分野融合若手研究者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Analysis of GPCR STR involved in temperature tolerance of <i>C. elegans</i> 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	Ca imaging of <i>C. elegans</i> under local temperature stimulation 2024/09/29 日本バイオイメーjing学会 日本バイオイメーjing学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Regulatory mechanism of HADH during temperature acclimation in <i>C. elegans</i> 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	Genes involved in heat tolerance diversity in plants are required for heat and cold tolerance in <i>C. elegans</i> 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Isolation of second mutations in a <i>C. elegans</i> lectin mutant showing abnormal temperature acclimation 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	The Interplay of Multi-Organ Coordination in Temperature Acclimatization of <i>Caenorhabditis elegans</i> 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	GPCR SRH-40 acts as a temperature receptor underlying temperature acclimatization of <i>C. elegans</i> 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	Transcription elongation factor ELONGIN regulates cold tolerance in temperature-responsive tail neurons 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	GPCR SRX is required for heat tolerance of <i>C. elegans</i> 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議	講演発表	Non mitochondrial function of HADH is required for temperature acclimation of <i>C. elegans</i> 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議

講演発表	Multi-thermosensation through multiple qualitatively different thermoreceptor in cold tolerance of <i>C. elegans</i> 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Starvation enhances cold tolerance of <i>C. elegans</i> and its artificial evolutionary analysis 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Screening for thermosensitive GPCR involved in heat tolerance in nematode <i>C. elegans</i> 2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Analysis of genes involved in high temperature tolerance conserved between plants and animals 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Ortholog of metabolic gene involved in human neurological disorders are involved in temperature acclimation in the nematode <i>C. elegans</i> 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Fatty Acid Metabolism-Related Molecule HADH Regulates Thermal Acclimation in the nuclear of <i>C. elegans</i> 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Screening for thermosensitive GPCR regulating temperature tolerance of <i>C. elegans</i> 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	線虫の低温耐性に関する咽頭筋リソソームの銅トランスポーター 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Tail neurons involved in cold tolerance in <i>C. elegans</i> identified by RNAseq of transgenic lines 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Temperature sensation by three types of thermoreceptors GPCR, TRP, and DEG/ENAC in a single neuron involved in temperature acclimation in <i>C. elegans</i> 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	線虫における飢餓による低温耐性の変化と13年間継代飼育した系統の表現型の変化 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Adaptive circuit diversity causing natural variation in temperature acclimation 2024/10/17 学術変革領域 適応回路センサ領域会議 適応回路センサ領域会議 学術変革領域 適応回路センサ 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Thermosensitive GPCR involved in cold acclimatization of <i>C. elegans</i> 2024/10/17 学術変革領域 適応回路センサ領域会議 適応回路センサ領域会議 学術変革領域 適応回路センサ ポスター発表 国内会議
講演発表	局所温度刺激下における <i>C. elegans</i> のCaイメージング 2024/11/16 日本化学会中国四国支部大会 日本化学会中国四国支部 ポスター発表 国内会議
講演発表	Mitochondrial metabolic factor in cold acclimation of <i>C. elegans</i> 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Cold tolerance and temperature acclimation in <i>Caenorhabditis elegans</i> are controlled by the coordinated action of multiple organs 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

講演発表	Fatty acid metabolism outside the mitochondria via HADH regulates temperature acclimation 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Thermo-receptor candidate GPCR and thermal responsive neural circuit in temperature response of <i>C. elegans</i> 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議
講演発表	マイクロRNAは体が長くなる線虫から発見された 2024/12/04 第25回甲南の教員が解説する Nobel Prize 2024①～ノーベル生理学・医学賞～ 甲南大学理工学部 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	Comparative genomic analysis of artificially evolved strains of <i>C. elegans</i> with altered cold tolerance over 1050 generations in 14 years 2024/12/26 学術変革領域 先進ゲノム支援拡大班会議 学術変革領域 先進ゲノム支援 ポスター発表 国内会議
講演発表	代謝関連タンパクが核内において線虫の温度順化を制御する分子機構と神経回路の解明 2025/01/15 自然科学研究科 融合ランチョンセミナー 甲南大学 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	Mechanism of nuclear regulation of individual temperature acclimation by HADH, a factor related to fatty acid metabolism in <i>Caenorhabditis elegans</i> 2025/01/24 Adaptive Circuit Census International Symposium 2025(AAC国際シンポジウム) Adaptive Circuit Census ポスター発表 国際会議
講演発表	マルチサーモセンソリー情報の統合と修飾による個体の温度適応制御、線虫の低温耐性を指標とした新規温度受容機構の同定 2025/01/25 AEMDマルチセンシング領域会議 AEMDマルチセンシング ポスター発表 国内会議
講演発表	温度に馴れるための遺伝子をセンチュウ研究から探る 2025/02/01 ひょうごラジオカレッジ 公益財団法人 兵庫県生きた創造協会 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	<i>C. elegans</i> の低温耐性における咽頭筋のリソソーム銅輸送体の役割 2025/03/06 冬眠生物学2.0 第二回若手領域会議 冬眠生物学2.0 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	脂肪酸代謝関連酵素の核内での機能と小型動物の温度順化を制御する機構の解析 2025/03/06 冬眠生物学2.0 第二回若手領域会議 冬眠生物学2.0 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	外温と内温で駆動される脳-多臓器連関回路による温度適応 2025/03/20 適応回路と内臓の研究 適応回路と内臓の研究 口頭発表（招待・特別） 国内会議

後藤 彩子

研究課題

論文	Establishment of a rapid, cost-effective, and accurate method for assessing insect sperm viability. Journal of insect physiology pp.104682-104682 2024/07/26
講演発表	アリに夢中！もっと知りたいアリの世界 2024/06/16 静岡科学館 科学茶房 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	アリの話。またはアリに魅せられたヒトの話。 2024/07/30 日経STEAM 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	アリの行動を観察しよう 2024/08/21 夏休みこどもいろいろ体験スクール2024 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	アリの話。またはアリに魅せられたヒトの話。 2024/10/11 甲南女子高等学校 探求の授業 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議

講演発表	生物にとって〈私〉とは何か？ 2024/11/02 珍獣Night その他 国内会議	講演発表	変性タンパク質と特異的に結合する代謝酵素とその酵素活性 2024/11/07 第97回日本生化学会大会 ポスター発表 国内会議
講演発表	アリ科女王の精子貯蔵器官内の因子が 精子の生存に与える影響 2025/03/22 第69回日本応用動物昆虫学会大会 ポスター発表 国内会議	講演発表	変性タンパク質と特異的に結合する代謝酵素とその活性 2024/11/16 2024年度 甲南大学大学院自然科学研究科研究成果発表会 ポスター発表 国内会議

向 正則

研究課題	熱ストレスで卵巢中に誘導されるオートファジーによる寝耐性獲得
講演発表	ショウジョウバエ卵巢において転写因子p53は熱ストレスからのクロマチンの保護に関与する 2024/09/12 日本動物学会第95回長崎大会 国内会議
講演発表	ショウジョウバエ卵巢におけるDcp-1を介した熱ストレス誘導性のオートファジーの活性化 2024/09/12 日本動物学会第95回長崎大会 国内会議
講演発表	熱ストレス条件下のショウジョウバエ卵巢におけるオートファジー依存的な卵室の排除 2024/09/12 日本動物学会第95回長崎大会 国内会議
講演発表	ショウジョウバエ卵巢においてHeterochromatin protein 6は熱ストレス条件下のトランスポゾン発現抑制に関与する 2024/09/12 日本動物学会第95回長崎大会 国内会議
講演発表	ショウジョウバエ卵巢でのp53による熱ストレス応答性の制御 2024/09/12 日本動物学会第95回長崎大会 国内会議
講演発表	ショウジョウバエ卵巢の器官培養系を用いた温熱耐現象の解析 2024/09/12 日本動物学会第95回長崎大会 国内会議
講演発表	熱ストレス条件下のショウジョウバエ卵巢におけるHeterochromatin protein 6を介したトランスポゾン発現抑制機構の解析 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 国内会議
講演発表	ショウジョウバエ卵巢におけるDcp-1カスパーゼを介した熱ストレス誘導性のオートファジーの制御 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 国内会議
講演発表	オートファジー依存的なショウジョウバエ卵室の排除と熱耐性獲得 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 国内会議

今井 博之

研究課題	ナガエツルノゲイトウの駆除に向けた植物細胞工学的研究
------	----------------------------

上田 晴子

研究課題	細胞内膜系や細胞骨格の動態解析から植物が環境変化に適応するしくみを探る
論文	Quantitative analysis of the root posture of Arabidopsis thaliana mutants with wavy roots. Quant. Plant Biol. 5巻 pp.e9- 2024/11/25
論文	LIPID RICH 1 Modulates Allocation of Carbon between Starch and Triacylglycerol in Arabidopsis Leaves. J. Exp. Bot. pp.in press- 2025/02/08
論文	Plant-specific tail-anchored coiled-coil protein MAG3 stabilizes Golgi-associated ERESs to facilitate protein exit from the ER Commun. Biol. 8巻1号 pp.358- 2025/03/04

渡辺 洋平

研究課題	
講演発表	任意の凝集タンパク質を脱凝集・分解する選択的タンパク質分解システムの構築 2024/11/06 第97回日本生化学会大会 ポスター発表 国内会議

講演発表	変性タンパク質と特異的に結合する代謝酵素とその酵素活性 2024/11/07 第97回日本生化学会大会 ポスター発表 国内会議
講演発表	変性タンパク質と特異的に結合する代謝酵素とその活性 2024/11/16 2024年度 甲南大学大学院自然科学研究科研究成果発表会 ポスター発表 国内会議
講演発表	新規選択的タンパク質分解システムに使用するタンパク質標的化タグの改良 2024/11/16 2024年度 甲南大学大学院自然科学研究科研究成果発表会 ポスター発表 国内会議

日下部 岳広

研究課題	中枢神経系の細胞多様性と発生機構の解析
論文	Characterization of trans-spliced chimeric RNAs: insights into the mechanism of trans-splicing NAR Genomics and Bioinformatics 6巻2号 pp.lqae067- 2024/06/06
論文	Functional diversification process of opsin genes for teleost visual and pineal photoreceptions Cellular and Molecular Life Sciences 81巻1号 pp.428- 2024/10/08 ISSN1420-682X
論文	Neural crest lineage in the protovertebrate model Ciona Nature 635巻8040号 pp.912-916 2024/10/23 ISSN0028-0836
論文	Comparative single-cell transcriptomic analysis reveals putative differentiation drivers and potential origin of vertebrate retina NAR Genomics and Bioinformatics 6巻4号 pp.lqae149- 2024/11/12
論文	An extensive survey of vertebrate-specific, non-visual opsins identifies a novel subfamily, Q113-Bistable (QB) opsin Genome Biology and Evolution 70巻3号 pp.evaf032- 2025/03/01
講演発表	Investigation of neuron-glia interactions using optogenetics in Ciona swimming larvae 2024/07/25 12th International Tunicate Meeting 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	Neural crest lineage in the proto-vertebrate model Ciona 2024/07/25 12th International Tunicate Meeting 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	Transition of photoreceptor opsins during life cycle of Ciona 2024/07/25 12th International Tunicate Meeting 口頭発表（一般） 国際会議

講演発表	Spatial transcriptomic analysis of the Ciona adult brain 2024/07/25 12th International Tunicate Meeting 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	ゲノムレベルでの網羅的解析が明らかにした脊椎動物型非視覚オプシンの分子進化の歴史 2024/08/07 第24回光生物学協会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ホヤ幼生脳のグリア細胞の多様性と細胞内カルシウム動態 2024/09/12 日本動物学会第95回大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	真骨魚類におけるエキソン/イントロン構造の異なるロドプシン遺伝子の機能分化過程の解析 2024/09/12 日本動物学会第95回大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	カタユウレイボヤの眼外オプシンの多様性と分布 2024/09/12 日本動物学会第95回大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	カタユウレイボヤ幼生の始原的鼻ブラコード由来表皮感覚細胞aATENを起点とする神経経路の解析 2024/09/14 日本動物学会第95回大会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表	The origin of the vertebrate head: insights from the proto-vertebrate model Ciona 2024/11/14 CNU Conference of Advanced Technology 2024 Chungnam National University 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	Spatial transcriptomic analysis of the neural complex of the ascidian Ciona intestinalis type A 2024/11/14 CNU Conference of Advanced Technology 2024 Chungnam National University ポスター発表 国際会議
講演発表	カタユウレイボヤ幼生がもつ成体脳の前駆細胞機能を有する上衣細胞の同定 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ホヤ幼生および成体における眼外オプシンの多様性と分布 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ゲノム編集法によるメダカ網膜特異的転写因子Nrlの機能解析 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	カルシウムイメージング法を用いたホヤ幼生脳のグリア細胞の機能解析 2024/11/27 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ホヤ幼生の始原的鼻ブラコード由来感覚神経細胞を起点とする神経経路の解析 2024/11/28 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	2024年ノーベル生理学・医学賞の解説：ヒトの遺伝子の働きを制御することができる「マイクロRNA分子」の発見 2024/12/04 第25回甲南の教員が解説するNobel Prize2024①～ノーベル生理学・医学賞～ 甲南大学大学院自然科学研究科 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	脊椎動物の頭部の起源を探る 2024/12/17 SUNBORセミナー 公益社団法人サントリー生命科学財団 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	著者自身による論文（10.1038/s41586-024-08111-7）解説 2024/12/20 NBRPカタユウレイボヤ論文オンラインセミナー 2024年12月 ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP） 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議

武田 鋼二郎

研究課題

本多 大輔

研究課題

講演発表	Labyrinthula 属の珪藻に対する捕食過程における微細形態の観察 2024/08/30 第9回ラビリンチュラシンポジウム ラビリンチュラシンポジウム世話人 ポスター発表 国内会議
講演発表	ラビリンチュラ混合培養による珪藻オイル抽出効率の変化 2024/08/30 第9回ラビリンチュラシンポジウム ラビリンチュラシンポジウム世話人 ポスター発表 国内会議
講演発表	Aplanochytrium の環境海洋中での細胞の存在様式とその生態学的意義 2024/08/30 第9回ラビリンチュラシンポジウム ラビリンチュラシンポジウム世話人 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	珪藻捕食性ラビリンチュラ類アブラノキトリウム類の海洋生態系の DHA 転送における影響力 2024/08/30 第9回ラビリンチュラシンポジウム ラビリンチュラシンポジウム世話人 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	原生生物ラビリンチュラ類の海洋生態系における 役割の解明に向けて ― 魚類のDHAはどこからくるのか ― 2024/11/02 2024年度藻類談話会 京都大学大学院人間・環境学研究科 幡野 恭子 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表	魚類のDHA蓄積における 原生生物ラビリンチュラ類の影響力 2025/03/17 海洋生物シンポジウム2025 日本海洋学会海洋生物学研究会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	珪藻捕食性ラビリンチュラ類アブラノキトリウムの特異的染色法のプロトコルの再検討 2025/03/22 日本藻類学会第 49 回大会 日本藻類学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	原生生物ラビリンチュラ類の海洋生態系のDHA転送における影響力 2025/03/23 日本藻類学会第 49 回大会 日本藻類学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ラビリンチュラ類Parietichytrium属の有性生殖の解明に向けた試み 2025/03/23 日本藻類学会第 49 回大会 日本藻類学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ラビリンチュラ属株の藻類に対する捕食過程の観察 2025/03/23 日本藻類学会第 49 回大会 日本藻類学会 ポスター発表 国内会議

機能分子化学科

角屋 智史

研究課題

岩月 聡史

研究課題 ピリジルボロン酸－フルクトース錯体における二座および三座配位錯体の安定性に関する平衡論的研究

山本 雅博

研究課題

論文	Migration Effects Cause Linear Waveform in Cyclic Voltammetry of Metal Anode Electrodeposition/Dissolution without Supporting Electrolyte: Calculations and Experiments on a Model Case Electrochemistry 2024/10/22
----	---

村上 良

研究課題 微粒子の流体界面吸着に関する研究

講演発表	微粒子-空気-液体分散系の構造や特性に対する液体粘度の効果 2024/09/17 第75回コロイドおよび界面化学討論会 ポスター発表 国内会議
------	---

檀上 博史

研究課題

講演発表	『はたらく分子たち』～分子はどの様にして機能を生み出すのか～ 2024/11/15 第 8 2 回甲南大学総合研究所 公開講演会 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国内会議
講演発表	ハロピリジン誘導体を利用したパラジウム環状三核錯体の合成 2024/11/29 2 0 2 4 ハロゲン利用ミニシンポジウム 口頭発表（招待・特別） 国内会議

池田 茂

研究課題

論文	Ferrocene-Based Organic Semiconductors: Evaluating Intermolecular Transfer Integrals and Transistor Properties ACS Applied Electronic Materials 2024/11/26
著書	カルコバイライトおよびケステライト化合物半導体薄膜を利用した光電気化学水分解 触媒学会 103-112 2024/04

MISC	Photoelectrochemical hydrogen production from water using copper-based chalcopyrite thin films ChemElectroChem 11巻21号 pp.e202400365-1-e202400365-12 2024/11/04
講演発表	Modification of P-N Heterointerface of Ternary CuGaSe2 Photochaodes for Efficient Water Reduction Under Sunlight Irradiation 2024/10/07 Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid State Science (PRiME) 2024 口頭発表（一般） 国際会議

茶山 健二

研究課題

町田 信也

研究課題 全固体電池の高機能化に向けた研究

論文	Synthesis and electrochemical properties of Li#U+#UR-ion conducting solid electrolytes in the system xLiCl-(25-x)LiBr-75Li#D3#DRPS#D4#DR Solid State Ionics 417巻 pp.116725- 2024/10/01
講演発表	Li#D7#DRP#D3#DRS#D11-x#DRO#Dx#DR 結晶の合成とそのイオン伝導特性 2024/12/09 第50回固体イオニクス討論会 日本固体イオニクス学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	メカニカルミリング法によるCuS-Li#D2#DRS 系固溶体の合成と全固体電池用正極材料としての特性 2024/12/09 第50回固体イオニクス討論会 日本固体イオニクス学会 口頭発表（一般） 国内会議

渡邊 順司

研究課題 金属材料の表面処理に関する研究

内藤 宗幸

研究課題 薄膜形成における表面粗さに関する研究

論文	Ferrocene-Based Organic Semiconductors: Evaluating Intermolecular Transfer Integrals and Transistor Properties ACS Applied Electronic Materials 2024/06
----	---

片桐 幸輔

研究課題 発光性アリールホスフィンオキシド類の多形探索と発光挙動、ホスホニウム塩の加水分解反応機構解明

論文	籠型超分子および多孔性配位高分子の細孔内ゲスト分子の挙動観測 SPring-8/SACLA利用研究成果集 12巻2号 pp.83-88 2024/05 ISSN2187-6886
----	---

木本 篤志

研究課題 有機材料化学、機能性色素化学、有機エレクトロニクスに応用できる機能性色素分子の開発

論文	中学校、高等学校の化学分野において異相形成平衡を理解するためのイオン液体生成を用いた実験法の開発 甲南大学紀要.理工学編 70巻1号 pp.1-14 2024/04/05
論文	Ferrocene-Based Organic Semiconductors: Evaluating Intermolecular Transfer Integrals and Transistor Properties ACS Applied Electronic Materials 6巻11号 pp.7824-7831 2024/10/16
論文	From Middle and High School Chemistry to University Thermodynamics: Cycle Characteristics of Thermodynamic Functions in Representative Engines 甲南大学紀要.理工学編 71巻1号 pp.1-19 2024/10/25

理工学部共通

小荒井 千人

研究課題

論文	ICSTシステムを用いた高等学校「地学基礎」の「海水の循環」の教材開発と授業実践 東京学芸大学紀要 自然科学系 76巻 pp.111-129 2024/10/04
論文	科学の研究過程をモデルにした探究活動の進め方と指導法 甲南大学紀要, 理工学編 71巻2号 pp.7-16 2025/03/28
論文	地域の水害・土砂災害を理解するための土石流モデル実験を用いた子供向けのワークショップ型学習プログラムの開発と実践 甲南大学全学共通教育センター紀要 3巻 pp.163-172 2025/03/31
講演発表	ゼロからはじめた高校地学「地学基礎」開設までの過程とカリキュラム 2024/08/19 2024（令和6）年度全国地学教育研究大会 日本地学教育学会第 78 回全国大会（大分大会）日本地学教育学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	土石流モデル実験を取り入れた地域の災害史を理解するための商業施設イベントでの学習プログラムの開発 神戸の玉石の謎 ～実験から探る「阪神大水害」の土石流災害～ 2024/09/08 日本理科教育学会 第74回全国大会 日本理科教育学会 口頭発表（一般） 国内会議

太田 茜

研究課題 抗がん剤が体の低温耐性を強くする

論文	Cold Tolerance in the Nematode <i>Caenorhabditis elegans</i> Adv Exp Med Biol. 1461巻 pp.33-46 2024/07
論文	The intron binding protein EMB-4 is an opposite regulator of cold and high temperature tolerance in <i>Caenorhabditis elegans</i> PNAS nexus 3巻8(293)号 pp.1-13 2024/07
論文	Molecular, neural, and tissue circuits underlying physiological temperature responses in <i>Caenorhabditis elegans</i> Neuroscience Research 214巻 pp.23-31 2024/11
論文	Temperature Acclimation and Cold Tolerance in <i>Caenorhabditis elegans</i> are Regulated by Multiorgan Coordination Zoological Science 42巻1号 pp.4-12 2024/11/21
著書	ブレインサイエンスレビュー 2025 公益財団法人ブレインサイエンス振興財団、丸善出版 184-201 2025/03/31
講演発表	Regulatory mechanism of HADH and its localization in cell organelles during temperature acclimation in <i>Caenorhabditis elegans</i> 2024/06/24 IUPAB 2024 IUPAB 2024 ポスター発表 国際会議
講演発表	Identification of multiple responsible genes for abnormal cold acclimation of <i>C. elegans</i> lectin mutants 2024/06/24 IUPAB 2024 IUPAB 2024 ポスター発表 国際会議
講演発表	Environmental oxygen information generates temperature response diversity in <i>C. elegans</i> 2024/06/24 IUPAB 2024 IUPAB 2024 ポスター発表 国際会議
講演発表	ミトコンドリア局在分子が核内で機能することで小型動物(線虫 <i>C. elegans</i>)の低温耐性に関わる 2024/07/08 冬眠生物学 2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	線虫のHADHによる温度順化を制御する回路の探索及び細胞内での局在 2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学 2.0 ポスター発表 国内会議
講演発表	環境の酸素ストレスが線虫 <i>C. elegans</i> の温度馴化多様性を生み出す 2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 ポスター発表 国内会議

講演発表 C. elegansの温度順化に関わる温度受容体GPCRの同定
2024/07/08 冬眠生物学2.0 領域会議 冬眠生物学2.0 ポスター
発表 国内会議

講演発表 Neuronal transcription elongation factor involved in cold
tolerance regulates neural activity of tail neuron in C.
elegans 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress
Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 Isolation of new genes for C. elegans temperature
acclimation and tolerance through transcriptome and
artificial evolutionary analysis 2024/07/24 Neuro2024、
FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024
Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 Neural wiring and brain-gut communication regulates
temperature acclimation 2024/07/24 Neuro2024、FAONS
2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress シンポ
ジウム・ワークショップ パネル（指名） 国際会議

講演発表 Analysis of GPCR STR involved in temperature tolerance
of C. elegans 2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024
Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表
国際会議

講演発表 Molecular mechanisms of high and low temperature
tolerance conserved between plants and animals, and
screening of cold sensitive genes 2024/07/24 Neuro2024、
FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024
Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 DEG/ENAC DEG-1 and UNC-8 are involved in temperature
sensing on cold tolerance of C. elegans 2024/07/24
Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS
2024 Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 Regulatory mechanism of HADH during temperature
acclimation in C. elegans 2024/07/24 Neuro2024、FAONS
2024 Congress Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポス
ター発表 国際会議

講演発表 GPCR SRX is required for heat tolerance of C. elegans
2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress
Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 Isolation of second mutations in a C. elegans lectin
mutant showing abnormal temperature acclimation
2024/07/24 Neuro2024、FAONS 2024 Congress
Neuro2024、FAONS 2024 Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 GPCR SRH-40 acts as a temperature receptor underlying
temperature acclimatization of C. elegans 2024/07/24
Neuro2024、FAONS 2024 Congress Neuro2024、FAONS
2024 Congress ポスター発表 国際会議

講演発表 Analysis of genes whose expression changes with
temperature that affect cold and heat tolerance
2024/08/27 The future of nematode research 2024
meeting The future of nematode research 2024 meeting ポ
スター発表 国内会議

講演発表 Identification of mitochondrial metabolic factor in cold
acclimation 2024/08/27 The future of nematode research
2024 meeting The future of nematode research 2024
meeting ポスター発表 国内会議

講演発表 Exploring functions in neural circuits and cell organelles
regulated by Caenorhabditis elegans HADH during
temperature acclimation 2024/08/27 The future of
nematode research 2024 meeting The future of nematode
research 2024 meeting ポスター発表 国内会議

講演発表 Identification of a novel gene involved in temperature
acclimation in C. elegans 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学
会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 Analysis of a neural circuitry and subcellular localization of
HADH regulating temperature acclimation in C. elegans
2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭発表（一般） 国内
会議

講演発表 C. elegansにおける飢餓による低温耐性の向上と人工進化系
統の解析 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭発表（一
般） 国内会議

講演発表 線虫C. elegansの低温耐性を制御する咽頭筋リソソームの銅
トランスポーター 2024/09/04 遺伝学会 日本遺伝学会 口頭
発表（一般） 国内会議

講演発表 Diversity and intracellular calcium dynamics of glial
ependymal cells in the brain vesicle of the ascidian larva
2024/09/12 動物学会 日本動物学会 口頭発表（一般） 国内
会議

講演発表 タンパク質の新機能発見！代謝に関わるタンパクが神経系で
温度順化を制御する機構の解明 2024/09/28 第二回異分野融
合若手研究者の会 第二回異分野融合若手研究者の会 口頭発
表（一般） 国内会議

講演発表 ～飢餓で低温に耐えられる現象を発見～13年間1000世をを
かけて人工進化させたセンチュウ 2024/09/28 第二回異分野融
合若手研究者の会 第二回異分野融合若手研究者の会 ポス
ター発表 国内会議

講演発表 Ca imaging of C. elegans under local temperature
stimulation 2024/09/29 日本バイオイメーjing学会 日本バ
イオイメーjing学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Starvation enhances cold tolerance of C. elegans and its
artificial evolutionary analysis 2024/09/30 比較生理生化学
会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 The Interplay of Multi-Organ Coordination in Temperature
Acclimatization of Caenorhabditis elegans 2024/09/30 比較
生理生化学会 比較生理生化学会 口頭発表（招待・特別） 国
内会議

講演発表 Genes involved in heat tolerance diversity in plants are
required for heat and cold tolerance in C. elegans
2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発
表 国内会議

講演発表 Screening for thermosensitive GPCR involved in heat
tolerance in nematode C. elegans 2024/09/30 比較生理生
化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Multi-thermosensation through multiple qualitatively
different thermoreceptor in cold tolerance of C. elegans
2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発
表 国内会議

講演発表 Transcription elongation factor ELONGIN regulates cold
tolerance in temperature-responsive tail neurons
2024/09/30 比較生理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発
表 国内会議

講演発表 Non mitochondrial function of HADH is required for
temperature acclimation of C. elegans 2024/09/30 比較生
理生化学会 比較生理生化学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 線虫の低温耐性に関与する咽頭筋リソソームの銅トランス
ポーター 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女
性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Fatty Acid Metabolism-Related Molecule HADH
Regulates Thermal Acclimation in the nuclear of C. elegans
2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者
の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Tailneurons involved in cold tolerance in *C. elegans* identified by RNAseq of transgenic lines 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Temperature sensation by three types of thermoreceptors GPCR, TRP, and DEG/ENaC in a single neuron involved in temperature acclimation in *C. elegans* 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 線虫における飢餓による低温耐性の変化と13年間継代飼育した系統の表現型の変化 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Ortholog of metabolic gene involved in human neurological disorders are involved in temperature acclimation in the nematode *C. elegans* 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Analysis of genes involved in high temperature tolerance conserved between plants and animals 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Screening for thermosensitive GPCR regulating temperature tolerance of *C. elegans* 2024/10/13 日本女性科学者の会 学術大会 日本女性科学者の会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Adaptive circuit diversity causing natural variation in temperature acclimation 2024/10/17 学術変革領域 適応回路センサ領域会議適応回路センサ領域会議 学術変革領域 適応回路センサ領域会議 ポスター発表 (一般) 国内会議

講演発表 Thermosensitive GPCR involved in cold acclimatization of *C. elegans* 2024/10/17 学術変革領域 適応回路センサ領域会議適応回路センサ領域会議 学術変革領域 適応回路センサ領域会議 ポスター発表 国内会議

講演発表 局所温度刺激下における *C. elegans* のCaイメージング 2024/11/16 日本化学会中国四国支部大会 日本化学会中国四国支部 ポスター発表 国内会議

講演発表 Cold tolerance and temperature acclimation in *Caenorhabditis elegans* are controlled by the coordinated action of multiple organs 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 シンポジウム・ワークショップ パネル (指名) 国内会議

講演発表 Mitochondrial metabolic factor in cold acclimation of *C. elegans* 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Fatty acid metabolism outside the mitochondria via HADH regulates temperature acclimation 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Thermo-receptor candidate GPCR and thermal responsive neural circuit in temperature response of *C. elegans* 2024/11/27 分子生物学会 分子生物学会 シンポジウム・ワークショップ パネル (公募) 国内会議

講演発表 マイクロRNAは体が長くなる線虫から発見された 2024/12/04 第25回甲南の教員が解説するNobel Prize2024①～ノーベル生理学・医学賞～ 甲南大学理工学部 口頭発表 (招待・特別) 国内会議

講演発表 Comparative genomic analysis of artificially evolved strains of *C. elegans* with altered cold tolerance over 1050 generations in 14 years 2024/12/26 学術変革領域 先進ゲノム支援拡大班会議 学術変革領域 先進ゲノム支援 ポスター発表 国内会議

講演発表 代謝関連タンパクが核内において線虫の温度順化を制御する分子機構と神経回路の解明 2025/01/15 自然科学研究科 融合ランチョンセミナー 甲南大学 口頭発表 (招待・特別) 国内会議

講演発表 Mechanism of nuclear regulation of individual temperature acclimation by HADH, a factor related to fatty acid metabolism in *Caenorhabditis elegans* 2025/01/24 Adaptive Circuit Census International Symposium 2025(AAC国際シンポジウム) Adaptive Circuit Census ポスター発表 国際会議

講演発表 マルチサーモセンサー情報の統合と修飾による個体の温度適応制御、線虫の低温耐性を指標とした新規温度受容機構の同定 2025/01/25 AEMDマルチセンシング領域会議 AEMDマルチセンシング ポスター発表 国内会議

講演発表 温度に馴れるための遺伝子をセンチュウ研究から探る 2025/02/01 ひょうごラジオカレッジ 公益財団法人 兵庫県生きた創造協会 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

講演発表 *C. elegans* の低温耐性における咽頭筋のリソソーム銅輸送体の役割 2025/03/06 冬眠生物学2.0 第二回若手領域会議 冬眠生物学2.0 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 脂肪酸代謝関連酵素の核内での機能と小型動物の温度順化を制御する機構の解析 2025/03/06 冬眠生物学2.0 第二回若手領域会議 冬眠生物学2.0 口頭発表 (一般) 国内会議

講演発表 外温と内温で駆動される脳-多臓器連関回路による温度適応 2025/03/20 適応回路と内臓の研究会 適応回路と内臓の研究会 口頭発表 (招待・特別) 国内会議

堀内 清光

研究課題

講演発表 教育的なアミューズメント変則将棋構成 2024/09/28 ゲーム学会第22回合同研究会 口頭発表 (一般) 国内会議

経済学部

経済学科

永廣 顕

- 研究課題 日本における国債管理政策の展開過程についての研究
- 論文 戦前日本の国債管理政策：国債整理基金・預金部・日本銀行による国債価格支持政策 金融研究 43巻4号 pp.69-94 2024/10
- 論文 長期国債の発行開始と日本銀行 甲南経済学論集 65巻3・4号 pp.31-42 2025/03
- 講演発表 戦前日本の国債整理基金・預金部・日本銀行による国債価格支持政策 2024/06/28 地方金融史研究会 全国地方銀行協会 口頭発表（一般） 国内会議

奥田 敬

- 研究課題 18世紀ナポリ啓蒙の研究

岡田 元浩

- 研究課題 19世紀後期から20世紀前期に至る労働学説の研究
- 講演発表 ケインズの労働学説をめぐって 2025/03/07 ケインズ学会中部部会研究会 ケインズ学会中部部会 国内会議

荻巣 嘉高

- 研究課題 社会ネットワークが経済に与える影響についての研究

宮川 敏治

- 研究課題 ベイズ不完備情報での非協力交渉ゲーム理論

宮本 舞

- 研究課題 環境技術のイノベーション

寺尾 建

- 研究課題 経済理論／マクロ経済学

小佐野 広

- 研究課題 情報の経済学とコーポレートファイナンス
- 論文 Information production in start-up firms: SPACs vs. Traditional IPOs Journal of Corporate Finance 85巻 2024/04

小山 直樹

- 研究課題

森 剛志

- 研究課題 経済格差と医療についての分析
- 論文 ベスト・ワーストスケーリングによる一考察 ～医療・介護問題の優先順位～ 甲南経済学論集 65巻3・4号 2025/03
- 著書 団塊ジュニアの医療と介護 東大出版会 2024/04

- 講演発表 More Public Funding? A Choice Experiment on the Healthcare Funding System 2024/11 ISPOR Europe 2024 Conference ISPOR 国際会議

森本 裕

- 研究課題 人口減時代の地域交通について

石原 忍

- 研究課題 源泉徴収制度の法的性質 源泉徴収制度における受給者と源泉徴収義務者の法的関係

石川 路子

- 研究課題 障がい児者や特定疾病有病者のQoL向上に資する政策提言の検討について
- MISC 「ひょうごフィールドバビリオン」がもたらすもの～地域社会の新たな挑戦に向けて 季刊 ひょうご経済 164号 pp.2-5 2024/10 ISSN0289033X

石田 功

- 研究課題 金融ボラティリティ・デリバティブ・プライシングの実証研究

足立 泰美

- 研究課題 国及び地方公共団体における行政政策を財源と給付から検証

村澤 康友

- 研究課題 高校訪問活動の効果の検証
- 講演発表 DK responses in surveys on inflation expectations 2025/03/22 32nd Annual Symposium of the Society for Nonlinear Dynamics and Econometrics Society for Nonlinear Dynamics and Econometrics 口頭発表（一般） 国際会議

竹内 綱敏

- 研究課題 租税法における「租税回避の研究」及び「不確定概念の研究」を行う。 我が国実定法における租税回避否認の法解釈及びその具体的適用並びに 税法上の不確定概念との関連を研究課題とする。

中川 真太郎

- 研究課題 集成的リスク管理問題の研究
- 講演発表 Optimal Deficit Ceiling and International Externality of Crisis Risk 2025/02/10 Japan-Taiwan Joint Public Economics Workshop 2025 国際会議

藤原 健剛

- 研究課題 社会科・地理歴史科・公民科教育法 特別活動指導法 他

平井 健介

研究課題 日本植民地の社会経済に関する研究と教育・社会への還元

講演発表 日本帝国内貿易の黎明－植民地化直後の日本・台湾間貿易－
2024/05/11 第93回社会経済史学会全国大会 社会経済史学会
口頭発表（一般） 国内会議

林 健太

研究課題 余暇消費動向に関する研究

林 亮輔

研究課題 地域政策のデザインと評価に関する研究

鎭谷 宏一

研究課題 保護貿易政策の政治経済学的研究

法学部

法学科

益澤 彩

研究課題 監督義務者責任における監督義務の分析

論文 覚書：親権者の民法714条1項に基づく責任，特に同項ただし書前段の監督義務の検討に向けて 潮見佳男先生追悼論文集（財産法）刊行委員会編『財産法学の現在と未来』（有斐閣） pp.955頁-964頁 2024/09/30

岡森 識晃

研究課題 行政法 行政訴訟における裁判官の権限の解明

著書 行政法Visual Materials（第3版） 48-62 2025/02/25

橋口 祐介

研究課題 契約法・不法行為法をめぐる民法の現代化－高齢化社会との関係から

論文 DCFRにおける賃貸人の義務および賃借人の救済システム 潮見佳男先生追悼論文集（財産法）刊行委員会編『財産法学の現在と未来』（有斐閣） pp.555-573 2024/09

著書 テキストブック法律と死因究明〔第2版〕－ケースで学ぶ 信山社 64-83 2024/09

講演発表 超高齢社会における行政法と民事法の交錯－墓地法制を題材に－ 2024/06/01 2024年度研究大会・企画セッション「超高齢社会と公共政策－法学の観点から」 日本公共政策学会 口頭発表（基調） 国内会議

講演発表 医療・介護事故と死因究明 2024/11/15 2024年度死因究明と法シンポジウム 新潟大学法学部・新潟大学死因究明教育センター 国内会議

金 ムンスク

研究課題

MISC 涉外家事事件判例評釈(116)日本に所在する土地の借地権の相続，時効取得と韓国法の適用 戸籍時報 855号 pp.50-57 2024/07 ISSN0912-1579

金丸 義衡

研究課題 損害賠償法における民法と民事訴訟法の交錯

論文 定期金賠償における将来の事情変動 甲南法学 65巻1・2・3・4号 pp.1-49 2025/03

著書 新基本法コンメンタール 債権 3 日本評論社 24-29 2024/08/30 ISBN978-4-535-40265-2

MISC 民法学のあゆみ：高岡大輔「営業の間接的侵害による責任」 法律時報 96巻13号 pp.242-246 2024/12 ISSN0387-3420

MISC 自賠社の自賠法16条1項の直接請求権に係る債務の承認と損害賠償請求権の消滅時効 交通事故民事裁判例集 55巻索引・解説号 pp.28-34 2024/12/20 ISBN978-4-324-11258-8

桑岡 和久

研究課題 消費者法研究

著書 ヨーロッパ契約法・第2版 法律文化社 2024/08/30

阪上 眞千子

研究課題 12－13世紀イタリア（特に南部）の法の研究

笹倉 香奈

研究課題 えん罪原因・救済の国際比較

論文 えん罪事件の救済を通じた刑事司法改革の可能性—シンポジウム コロナ禍によって浮き彫りにされてきた社会矛盾と法の変容に対する対抗戦略 法の科学 = Science in law : 民主主義科学者協会法律部会機関誌 / 民主主義科学者協会法律部会 編 55号 pp.53-66 2024/09 ISSN0385-6267

論文 えん罪事件の公的検証を：袴田事件再審無罪を刑事司法改革にどう生かすか—世界の潮 世界 988号 pp.120-124 2024/12 ISSN0582-4532

著書 刑事司法の理論と実践（渡辺修先生古稀祝賀論文集）〔共編者：宇藤崇;笹倉香奈;辻本典史;堀江慎司;松田岳士〕 現代人文社 2024/05 ISBN9784877988609

MISC 刑事確定訴訟記録法 8条 1項の「保管検察官が所属する検察庁の対応する裁判所」の意義 令和5年度重要判例解説（ジュリスト臨時増刊） 1597号 pp.164-165 2024/05

MISC 法と心理学は冤罪にどう向き合うか：袴田事件を通じてあらためて考える—法と心理学会第24回大会 ワークショップ 東京：日本評論社 法と心理 = Japanese journal of law and psychology / 法と心理学会機関誌編集委員会 編 24巻1号 pp.48-54 2024/10 ISSN1346-8669

MISC 刑事訴訟法—特集 学界回顧2024 東京：日本評論社 法律時報 96巻13号 pp.182-192 2024/12 ISSN0387-3420

講演発表 ワークショップ「再審公判・再審制度の課題」 2024/06/02 日本刑法学会第102回大会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

講演発表 ひとつとじゃない！えん罪の実態とその原因 2024/11/08 市民対象講座「インターカレッジ西宮」 メディア報道等 国内会議

講演発表 死刑廃止への道 2024/11/30 大阪弁護士会・死刑廃止を考える日2024 国内会議

講演発表 袴田事件：再審法と死刑制度の見直しに向けて 2024/12/08 ERCJ第12回講演会「袴田事件から学ぶべきこと」 国内会議

講演発表 無罪事例からみたSBS/AHT事件の課題 2024/12/20 島根大学医学部虐待研究会 国内会議

講演発表 アメリカにおけるえん罪救済とジム・マクロスキー氏の功績 2025/01/17 大阪弁護士会再審法改正実現本部勉強会 国内会議

講演発表 虐待による乳幼児頭部外傷（AHT）に関する裁判例の現状と課題 2025/02/21 東京大学救急・法医学カンファレンス 国内会議

講演発表 日本の死刑制度について考える懇話会の議論を受けて 2025/03/12 京都弁護士会死刑廃止実現PT勉強会 国内会議

三谷 宗一郎

研究課題 医療政策の形成・決定過程に関する研究

山田 純子

研究課題 企業グループにおけるグループ会社の管理・運営の問題

山本 真知子

研究課題 総合取引所、エネルギー先物取引と商品先物取引法の研究 財団法人の収益事業等に関するガバナンスと会社のガバナンスの比較検討 基礎を含む法学教育の実践と改善の検討

論文 一般社団法人の「非営利」性と収益事業ガバナンス（一） 甲南法学 65巻1・2・3・4号 pp.51-74 2025/03/31

篠原 永明

研究課題 公務員制度と「政治的中立性の原則」

論文 公務員勤務条件決定システムの制度設計の捉え方 季刊労働法 287号 pp.91-104 2024/12

著書 マンション法制の現代的課題 日本評論社 2024/09

住田 英穂

研究課題 契約自由の原則と移転理論

小畑 俊太郎

研究課題 ペンサムと古典的功利主義の政治思想史的研究

著書 『戦後日本と政治学史—古典をめぐる十の対話』 白水社 2025/03

松原 英世

研究課題 刑事制度のあり方について

著書 刑事政策をつかむ 法律文化社 2024/11/05

MISC 批判的犯罪学 刑法雑誌 63巻3号 pp.597-602 2025/03/31

MISC 警察官による市民接触行動の規定要因とインパクトに関する縦断的研究：第一波調査の基礎的報告（2・完） 甲南法学 65巻1=2=3=4号 pp.101-205 2025/03/31

講演発表 警察官による接触が対象市民の認識に与える影響：威嚇効果・ラベリング・生活構造などの視点から⑧〔テーマセッションB〕警察官による市民接触行動の規定要因とインパクトに関する縦断的研究：第一波調査の分析 2024/10/19 日本犯罪学会 国内会議

森永 真綱

研究課題 違法性の本質と犯罪論

論文 違法性の本質と犯罪体系に関する序論的考察 ノモス 54号 pp.159-171 2024/06/30

早瀬 勝明

研究課題 文脈に応じた法的言語の意味の変化に関する研究

論文 社会問題と司法書士 ～法実務と価値判断～ 市民と法 150巻 pp.10-15 2024/12

池田 佳隆

研究課題 首相交代後のスコットランド独立運動の立て直しに関する分析・国連安保理改革における各国の正統性の主張の比較分析

竹内 健互

研究課題 いわゆる「複合的身分犯」と65条の解釈論をめぐる規範論的考察

論文 複合的身分犯の共犯をめぐる罪名と科刑の関係について—最判令和4年6月9日刑集76巻5号613頁を契機として— 甲南法学 65巻1=2=3=4号 2025/03

講演発表	違法本質論と共犯論	2024/12/27	刑法読書会2024年度年末集中研究会 国内会議
講演発表	違法本質論と共犯論	2025/01/26	日本刑法学会関西部会 国内会議

中井 伊都子

研究課題	ウクライナ紛争における国連人権理事会の機能と権限
------	--------------------------

田中 誠人

研究課題	釈明権の行使と弁論主義
------	-------------

八木 眞由美

研究課題	・教育方法（主体的・対話的で深い学びを導き出す指導過程・指導方法に関する研究）、 ・教師教育（教職課程受講者の意識の変化に関する研究）、 ・教育社会学（児童生徒の自殺予防に関する研究）
著書	いま必要とされるいのちの教育 健学社 118-121 2025/01/17 ISBN9784779706479

尾原 宏之

研究課題	近現代日本政治における「野党的」思考の再検討
著書	「反・東大」の思想史 新潮社 2024/05/20 ISBN9784106039096
MISC	日本思想史（2024年上半期の収穫から） 週刊読書人 2024年7月26日号 pp.4-4 2024/07
MISC	政党内閣制が機能不全に陥ったプロセス（十河和貴著『帝国日本の政党政治構造』書評） 週刊読書人 2024年8月30号 pp.4-4 2024/08
MISC	正統と異端をめぐる抗争の歴史（『丸山眞実集 別集』第五巻書評） 週刊読書人 2024年11月29日号 pp.4-4 2024/11

平野 淳一

研究課題	市長選挙における保守分裂の要因の解明
------	--------------------

櫻井 智章

研究課題	憲法と行政法の交錯領域に関する研究およびドイツ憲法（特にドイツの州憲法）に関する研究
論文	憲法原理と行政法 法学セミナー 831号 pp.68-75 2024/04
論文	助成金不交付「違法」の最高裁判決がもたらす補助金行政への影響 公益・一般法人 1093号 pp.40-44 2024/06
著書	判例で読む憲法〔第3版〕 北樹出版 2024/10/25
著書	憲法と行政法の交差点 日本評論社 2025/02/28
MISC	〔座談会〕連載を振り返って（上）【憲法と行政法の交差点 第27回】 法学セミナー 833号 pp.64-71 2024/06
MISC	〔座談会〕連載を振り返って（下）【憲法と行政法の交差点 第28回】 法学セミナー 834号 pp.57-69 2024/07
MISC	全国に波及していくような先進的な条例を生み出そう 地方議学会人 55巻5号 pp.64-65 2024/10

濱谷 和生

研究課題	持続可能性と独禁法・競争政策
論文	SDGsと競争法の正当化、適用除外(3)－単独行為について ジュリスト 1598号 pp.76-81 2024/06/01
論文	情報交換と独占禁止法 公正取引 891巻 pp.53-58 2025/01/15

経営学部

経営学科

SHRESTHA Manoj L.

研究課題

伊藤 公一

研究課題	「監査報酬額と役員報酬額の関連」及び「監査における実在性と他人に指さすこと」
------	--

奥野 明子

研究課題	人事評価におけるフレキシビリティ・スティグマの実証的研究
論文	「育児勤務者に関する調査」結果報告書 KONAN BI Monograph Series No.2024-001 2024/04
論文	「育休からの復職者の仕事配分と人事評価－育休を取得した男女の比較－」 甲南大学経営学会『甲南経営研究』 65巻1・2号 pp.31-56 2024/10
著書	『新版 人材開発辞典』 東洋経済新報社 2024/10/08 ISBN4492962107
講演発表	「男性の短時間勤務に関する研究」 2024/06/30 日本労務学会第54回全国大会 日本労務学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	The Impact of Taking Maternity and Parental Leave and Working Reduced Hours to Provide Childcare on Mothers` and Fathers` Performance Appraisal:A Study on the Flexibility Stigma Using Data From Japan 2024/09/28 Special International Research Session Program Hosted by Hosei University at AAOS Annual Meeting 2025 in Tokyo 2025年度組織学会年次大会 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	産休・育休からの復職者のマネジメントセミナー(産休・育休からの復職者の上司、人事労務管理ご担当者向け) 2024/10/24 甲南大学ビジネス・イノベーション研究所第40回研究会 甲南大学 公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義等 国内会議
講演発表	ダイバーシティ・マネジメント 神戸市令和6年度課長3年次研修 2024/12/12 神戸市令和6年度課長3年次研修（DEI研修） 神戸市行財政局職員研修所 国内会議
講演発表	「賃金格差の解消に向けて」 2025/01/14 京都大学全学共通科目「ジェンダー論」リレー講義 国内会議
講演発表	「賃金格差の解消に向けて」 2025/01/14 京都大学全学共通科目「ジェンダー論」リレー講義 国内会議
講演発表	管理職等向け「人材多様化時代における目標管理と評価のためのワークショップ」、復職者向け「育休後も活躍し続けるための働き方デザインワークショップ」 2025/03/12 しまね働く女性きらめき応援塾2024育休復職編 短時間でわかる！対象者別セミナー 育休後も活躍するためのキャリア支援 公益社団法人しまね女性センター 国内会議
講演発表	パネルディスカッション（高島市長と男女共同参画について） 2025/03/15 みんな集まれ！ウィザスあしや30周年フェスタ 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや 国内会議

久保田 秀樹

研究課題 日独の会計制度の比較研究及びICT活用の会計教育の研究

論文 「企業の情報制度開示のパラダイム変換ーサステナビリティ情報制度開示の幕開けー」 『會計』 206巻3号 pp.1-13 2024/09/01

古田 美保

研究課題 法人税課税の企業行動へのインセンティブ分析と評価及びその理論の構築に関する研究

論文 租税属性の制限・緩和による法人税制上のインセンティブに関する研究ー欠損金の調整可能性の観点からー 博士論文 2024/09

著書 デジタル社会の会計と法人課税 2025/02/05

佐藤 圭

研究課題 非構造化データと機械学習を利用した消費者心理の理解

論文 特定保健用食品の便益遅延性認知による製品評価への影響に関する実証分析 西南学院大学商学論集 70巻1・2・3・4号 pp.19-38 2024

論文 消費者は保健機能食品をどのように評価しているのか？ー商品レビューデータを用いた探索的検討ー 甲南経営研究 64巻3・4号 pp.93-114 2024

論文 Influence of the FOSHU (Food for Specified Health Use) seal on consumer purchase intention: from a brand perspective British Food Journal 127巻6号 pp.1999-2014 2025/03

三上 和彦

研究課題 功利主義の基礎としての社会的厚生を集計問題

山口 聖

研究課題 日本企業のペイアウトに関する理論的・実証的研究

論文 資本コストや株価（PBR）を意識した経営：理論と事例 月間資本市場 475号 pp.4-14 2025/02

著書 新・入門証券論 2024/11

小笠原 亨

研究課題 戦略的特徴の財務数値からの推定に関する妥当性の検証

講演発表 企業のリスク認識とコロナ禍におけるコストバイヘイビア 2024/09/04 日本管理会計学会2024年度年次全国大会 国内会議

講演発表 期末スパイクの発生要因とその影響に関する探索的研究 2024/09/04 日本管理会計学会2024年度年次全国大会 国内会議

杉山 善浩

研究課題 管理会計・原価計算の現代的課題

西村 順二

研究課題 流通構造の変容ダイナミクスの解明

論文 嗜好品における消費の二極化と多極化、そしてその意味ー若者学生市場におけるチョココレートの日常化ー 甲南経営研究 65巻1・2合併号 pp.1-30 2024/09 ISSN0452-4152

論文 日本の洋菓子産業構造からみた産業特性と製造小売業としてのスイーツ企業の戦略的行動に関する一考察 甲南経営研究 65巻3・4合併号 pp.1-27 2025/02 ISSN0452-4152

大塚 晴之

研究課題

池田 公司

研究課題

藤田 順也

研究課題 日本企業の国際経営に関する経営史研究

論文 戦後復興期から高度経済成長期の日本企業による技術輸出 甲南経営研究 65巻1・2号 pp.131-147 2024/10/11

内藤 文雄

研究課題 上場企業におけるサステナビリティ情報・リスク情報の開示と監査にかかる課題に関する研究

著書 会計学エッセンス（第6版） 中央経済社 2025/03

南地 伸昭

研究課題 地域金融および経済価値、ツーリズムによる地域振興についての研究

論文 巡礼ツーリズムの経験価値に関する定量的分析 宗教研究 98巻別冊号 2025/03

講演発表 巡礼ツーリズムの経験価値研究の足跡と展望 2024/06/23 第28回 宗教とツーリズム研究会 宗教とツーリズム研究会および國學院大學日本文化研究所（共催） 国内会議

講演発表 巡礼ツーリズムの経験価値に関する定量的分析 2024/09/14 日本宗教学会 第83回学術大会 日本宗教学会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 四国八十八ヶ所霊場を中心とする内外の巡礼文化が有する普遍的価値の探求 2024/11/10 総本山善通寺令和6年度総会・講演会 総本山善通寺 国内会議

馬場 大治

研究課題 我が国企業の財務政策とコーポレート・ガバナンスに関する理論的・実証的研究

尾形 真実哉

研究課題 新卒採用者と経験者採用者のオンボーディング、ならびに育成上手の研究

平野 恭平

研究課題 経済史・経営史・技術史の研究

論文 明治期の紡績企業と農村社会をつないだ絵葉書：鐘淵紡績の事例 日本歴史 914号 pp.74-83 2024/07

論文 明治期の綿紡績業における情報発信と写真帳についての考察 甲南経営研究 65巻1・2号 pp.149-163 2024/10

論文 明治期の鐘淵紡績における職工優遇策の発信と写真の利用：実態を伝えることから魅力を訴えることへ 歴史と経済 67巻2号 pp.16-28 2025/01

論文 ピニロンの市場確立をめぐる経営者の内面への「感情史」的アプローチ：大原總一郎日記の分析を中心として 経営史学 59巻4号 pp.49-65 2025/03

論文	創業初期における大阪紡績会社三軒家工場のイメージと実態の乖離：東洋紡所蔵『大阪紡績三軒家工場アルバム』からのアプローチ 技術と文明 24巻2号 pp.47-62 2025/03
講演発表	紡績王・武藤山治：その進取果敢なマネジメント 2024/09/26 大阪企業家ミュージアム講演会 大阪商工会議所 / 大阪企業家ミュージアム 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議
講演発表	経営史研究における感情史的アプローチの可能性 2024/10/19 日本経営学会 関西西部会 第686回 例会 日本経営学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	明治に洋服を着た女性たち：明治期紡績業の洋装化についての一考察 2024/12/07 近畿産業考古学会 2024年度 年次大会 近畿産業考古学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	戦前紡績業の労務管理史研究：鍾淵紡績の事例を中心に 2025/03/22 企業家研究フォーラム 2024年度 春季研究会 企業家研究フォーラム 口頭発表（一般） 国内会議

望月 徹

研究課題 地域の価値づけ

北居 明

研究課題 解決志向の実証的研究／対話型組織開発が創造性や組織的孤独に与える影響に関する介入研究

櫻田 涼子

研究課題	人的資源管理論・キャリア論・組織論：キャリア形成と人材育成・技能継承
著書	二神恭一・藁谷友紀・奥林康司編『新版人材開発辞典』東洋経済新報社 2024/10/08 ISBN978-4-492-96210-7
講演発表	「若者のキャリア意識から考える教育と地域社会の関わり」 2024/09/04 公開シンポジウム「若手×多様性×イノベーションを地方から話すコロキウム」セッション1「若手×多様性×学問と地域の連携」 日本学術会議若手アカデミー 国内会議

高室 裕史

研究課題 サービス・商業を中心としたマーケティング・マネジメント及び流通システムに関する研究

知能情報学部

知能情報学科

永田 亮

研究課題	高信頼度な英文ライティング解説を行う学習支援システムの低コストな実現方法の探求
論文	A Computational Approach to Quantifying Grammaticization of English Deverbal Prepositions. LREC/COLING pp.211-220 2024

奥村 真善美

研究課題	
講演発表	Structure-preserving schemes for the two-dimensional Cahn–Hilliard equation with dynamic boundary conditions and its applications 2024/06/11 Equadiff 2024 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ある保存系に対する平方差分に基づく構造保存数値解法について 2024/09/05 日本数学会2024年度秋季総合分科会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Structure-preserving schemes for the Cahn–Hilliard equation with forward-backward dynamic boundary conditions and its applications 2024/09/11 Italo-Japanese Workshop on Variational Perspectives for PDEs ポスター発表 国内会議
講演発表	平方差分を用いた構造保存スキームの提案 2024/12/07 2024年度応用数学合同研究集会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	空間2次元動的境界条件下のCahn–Hilliard方程式に対する線形多段階構造保存スキームの可解性 2024/12/26 第50回発展方程式研究会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	身近な現象と数学をつなぐ数値シミュレーション技術の世界 2025/02/25 第6回大学の若手研究者ショートプレゼン&交流会 ~KOBエアカデミックトーク~シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議
講演発表	空間2次元動的境界条件下のCahn–Hilliard方程式に 対する線形構造保存スキームについて 2025/03/21 日本数学会2025年度年会 口頭発表（一般） 国内会議

鎌田 十三郎

研究課題	低遅延エッジアプリケーションのためのルールベース即時情報処理・共有基盤確立，エッジ環境向け分散データストアに関する研究
論文	Poster: Multi-Agent Transformer for Dynamic Allocation of Distributed Applications on the Edge IEEE Vehicular Networking Conference, VNC pp.255-256 2024 ISSN2157-9857 ISBN9798350362701
MISC	エッジ環境向け分散データストアのためのセキュリティ機構と移動クライアントを想定した評価実験 電子情報通信学会技術研究報告，ネットワークシステム研究会 124巻310号 pp.92-97 2024/12
MISC	[技術・研究報告] Pythonを用いたクラウドプログラミング演習 ―基本と実践の両立に向けた試み― 甲南大学紀要.知能情報学編 17巻2号 pp.105-114 2025/02
講演発表	画像処理とエッジ環境向け分散データストアの連携と高度道路交通システムへの応用検討 2025/03/27 2025年電子情報通信学会総合大会 口頭発表（一般） 国内会議

関 和広

研究課題 機械学習による知的情報処理

論文 How to Interpret an Economic Index? Generating Reports with Topic Sentiment Analysis Proceedings of the 13th International Conference on Building and Exploring Web Based Environments pp.9-10 2025/03

論文 個人の発言と思想に基づくコミュニティ内の偉人の理念を考慮した対話生成 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム 2025/03

論文 コミュニティ内の偉人の理念を考慮したスピーチ生成 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム 2025/03

講演発表 甲南大学における数理・データサイエンス・AI教育プログラム 2025/03/18 大学都市KOBЕにおけるデータサイエンス教育の展開 神戸大学 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

阪本 邦夫

研究課題

論文 Floating Sphere Display Using Soap Bubble or Double Balloon for Aerial Signage Which Enables to Make Long Stay in the Air Proc. of IDW24 pdf 2024/12

論文 シャボン玉球体ディスプレイ「Mirage:」の研究展示ブースのデザイン 日本デザイン学会第3支部2024年度研究発表会概要集 pdf 2025/02/22

論文 球体ディスプレイの空中浮遊プラットフォーム「FLOAT」システム 日本デザイン学会第3支部2024年度研究発表会概要集 pdf 2025/02/22

論文 ホワイトボードを用いた再利用可能なポップディスプレイ 日本デザイン学会第3支部2024年度研究発表会概要集 pdf 2025/02/22

論文 シャボン玉半球反射膜を用いた一方向指向性空中浮遊サイネージ 映像情報メディア学会技術報告 49巻10号 pp.346-349 2025/03/10

講演発表 用于窗口显示的单向可观察成像和变色光学膜 2024/04/02 2024国际显示技术展览会 创新创业项目路演 国际信息显示学会（SID）北京分会 国際会議

講演発表 使用“幻影”显示和“FLOAT”平台系统的空中球形浮动标牌显示器 2025/03/24 2025国际显示技术展览会 创新创业项目路演 国际信息显示学会（SID）北京分会 国際会議

山中 仁寛

研究課題

論文 Classification of visual attention by microsaccades using machine learning International Journal of Biometrics 16巻 3/4号 pp.399-418 2024/04

論文 Emotion intensity in acoustic features and classification accuracy using support vector machine Proceedings of The 2024 International Conference on Kansei Engineering and Emotion Research pp.761-764 2024/11

講演発表 Eye -tracking in driving simulators using head-mounted displays 2024/07 The 16th Asia-Pacific Conference of Vision 国内会議

講演発表 HMD型ドライビングシミュレータを用いたドライバの視線解析 2024/09 ヒューマンインタフェースシンポジウム2024 国内会議

講演発表 HMDを用いた仮想空間における奥行き知覚に関する検討 2024/11 2024年度日本人間工学会関西支部大会 国内会議

若谷 彰良

研究課題 AIデータサイエンスプログラミングの学習向け演習問題の自動生成、GPUを用いたハイブリッド並列、及び量子アニーリング計算の高速化の研究

論文 CVRPに対する量子アニーリング方式の決定変数削減 甲南大学紀要 知能情報学編 17巻1号 pp.1-20 2024/08

論文 Optimization of quantum annealing for the capacitated vehicle routing problem Proc. of 2024 IEEE International Conference on Quantum Computing & Engineering (QCE24) pp.365-366 2024/08

論文 Prototype advisory system for learning C programming using generative AI Proc. of the 15th International Conference on Education & Educational Psychology (ICEPSY 2024) pp.1-10 2024/11

論文 Improvement of Advisory System Using LLM for Run-Time Errors in C Programming Learning Proc. of the 14th Edition of the International Conference on New Perspectives in Science Education pp.1-6 2025/03

小出 武

研究課題 最適化手法の実用化に関する研究

論文 Methods for Home Visit Routing Problem: An Extension of Traveling Salesman Problem with Time Windows Proceedings of the Asia Pacific Industrial Engineering & Management System Conference 2024 pp.848-853 2024/11

新田 直也

研究課題 形式的Webサービスモデルのシミュレーション機能の開発および実証実験

講演発表 デバック技法を共有・再利用する枠組み構築に向けて 2024/11/04 第218回ソフトウェア工学研究発表会 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 DTRAMビジュアルモデリングツール上でのシミュレーション機能の実現と有効性評価 2024/11/05 第218回ソフトウェア工学研究発表会 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会 口頭発表（一般） 国内会議

森元 勸治

研究課題 結び目と3次元多様体

著書 おしゃべり数学 金風舎 190 2024/05/03 ISBN978-4-910491-17-2

神原 誠之

研究課題

論文 Investigating the Efficacy of Pain Relief Through a Robot's Stroking with Speech. HRI (Companion) pp.794-797 2024

論文 Effects of Eye Vergence and Accommodation on Interactions with Content on an AR Magic-lens Display and its Surroundings. IEEE transactions on visualization and computer graphics 31巻8号 pp.4387-4399 2024/05/21

前田 多章

研究課題

論文 記憶の神経基盤と、そこから見えてくるトラウマ治療の神経モデル EMDR研究 16巻1号 pp.6-12 2024/05

論文 EMDRにおいて否定的記憶を想起しながら行う眼球運動に関する考察 EMDR研究 16巻1号 pp.73-85 2024/05

MISC 記憶の神経基盤と、 そこから見えてくるトラウマ治療の神経モデル EMDR研究 16巻1号 pp.6-12 2024/05

田村 祐一

研究課題

- 論文 Size perception in stereoscopic displays based on binocular disparity considering interpupillary distance Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering 11巻1号 pp.93-101 2024
- 論文 両眼視差型立体ディスプレイにおける輻輳距離と大きさ知覚の関係 医用・生体工学研究会 MBE24030号 pp.15-18 2024/06
- 論文 バーチャルリアリティで構築された環境の違いによるタスク処理効率への影響評価 甲南大学紀要.知能情報学編 17巻1号 2024/07
- 論文 Relationship between Convergence Distance and Size Perception in CAVE Type Display Proc. the 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology and the 23rd Asia Simulation Conference 2024/09
- 論文 Size Perception of Text Objects without Depth Cues in Head-Mounted Displays Proc. the 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology and the 23rd Asia Simulation Conference 2024/09
- 講演発表 Recent Advance in Virtual reality (VR) technology 2024/11/22 The 16th Biomedical Engineering International Conference 口頭発表（基調） 国内会議
- 講演発表 両眼立体視における大きさ知覚に関する研究 2024/12/06 第104回C G・可視化研究会 口頭発表（一般） 国内会議

田中 雅博

研究課題

- 論文 Super Resolution for Surveillance Camera's Videos by Applying CodeFormer ICCE-TW 2024 1巻 pp.805-806 2024/07
- MISC 監視カメラによるスマートオフィスウォッチャー 画像ラボ 35巻4号 pp.18-23 2024/04 ISSN0915-6755
- 講演発表 深層学習を利用した異常検知手法SPADEによるシニアカー走行時の路面障害物検知システム 2024/09/18 第32回インテリジェント・システム・シンポジウム 日本知能情報ファジィ学会 国内会議
- 講演発表 シニアカーや移動ロボットにおける2次元LiDARによる路面情報の推定 2024/09/19 第32回インテリジェント・システム・シンポジウム FAN 2024 in Fukushima 日本知能情報ファジィ学会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 金尺を利用した画像認識による果物のサイズ測定 2024/11/02 令和6年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会 電気・情報関係学会北海道支部 口頭発表（一般） 国内会議

瀬本 明代

研究課題

- 論文 Analysis of the Effect between the Information Type on SNSs and User Attributes during Disaster. WWW (Companion Volume) pp.1649-1656 2024
- 論文 Generative Action Procedure Manzai Scenariobased on Maslow's Stages of Need Theory The 13th International Workshop on Advances in Data Engineering and Mobile Computing (DEMoC 2024) pp.319-327 2024/09/24 ISBN978-3-031-72324-7

- 論文 Training Data for Dialogue Generation Considering Philosophies The 26th International Conference on Information Integration and Web Intelligence (iiWAS2024) pp.59-66 2024/12/04 ISBN978-3-031-78089-9
- 論文 Analysis of Behavioral Facilitation Information During Typhoon Period Based on Victim Attributes In The 13th International Symposium on Information and Communication Technology (SoICT 2024) pp.11pages- 2024/12/12
- 論文 Comparative Analysis with Multiple Large-Scale Language Models for Automatic Generation of humorous dialogues The DASFAA 2024 Workshop on Emerging Results in Data Science and Engineering (ERDSE 2024) pp.187-202 2025/01/23 ISBN978-981-96-0913-0
- 論文 異なる特徴を持つ台風における被災者の属性毎の行動促進情報の受け止め方の特徴分析 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2025) 2025/02/27
- 論文 個人の発言と思想に基づくコミュニティ内の偉人の理念を考慮した対話生成 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2025) 2025/02/27
- 論文 コミュニティ内の偉人の理念を考慮したスピーチ生成 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2025) 2025/02/27
- 論文 漫才における笑いの要因抽出の為の比較実験 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2025) pp.8pages- 2025/02/27
- 論文 漫才のわかりやすさを考慮した漫才台本自動生成手法 日本データベース学会データドリブンスタディーズ 3巻5号 pp.7pages- 2025/03
- 論文 読み手の感情に着目したコロナ禍における流言ツイートの特徴分析 日本データベース学会データドリブンスタディーズ 3巻3号 pp.8pages- 2025/03
- MISC フェイクニュース記事からの誤り抽出と訂正手法の提案 甲南大学知能情報学部 甲南大学紀要.知能情報学編 17巻1号 pp.21-34 2024/07/31

梅谷 智弘

研究課題

- 論文 Development of a CaCO3 Precipitation Method Using a Peptide and Microwaves Generated by a Magnetron Processes 12巻7号 pp.1327-1327 2024/06/26 ISSN2227-9717
- 論文 漫才のわかりやすさを考慮した漫才台本自動生成手法 日本データベース学会 データドリブンスタディーズ 3巻5号 2025/03
- 講演発表 寝具の多点センシングを利用した寝室空間の見守り制御システムの検討 2024/05/31 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会2024 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門 ポスター発表 国内会議
- 講演発表 Rapid Development of Mobile Service Robot in Public Space for Robotics Challenge Experiments 2024/09/21 International Artificial Intelligence and Dapa Processing Symposium (IDAP '24) 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Webブラウザ制御システムを利用した音声対話サービスロボットの開発 2024/12/18 第25回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 計測自動制御学会システムインテグレーション部門 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 細胞核インジェクションのためのピベット形状条件の検討 2024/12/19 第25回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 計測自動制御学会システムインテグレーション部門 ポスター発表 国内会議

講演発表	オープンソースプロダクトを用いた屋外移動ロボットのシステム統合 2025/01/15 2024年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	漫才におけるポケコンポーネント自動生成 2025/02/27 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2025) 日本データベース学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	漫才における笑いの要因抽出の為の比較実験 2025/03/01 第17回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2025) 日本データベース学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ペプチドの線維形成に関する実測データから得られる主成分得点と分子記述子の相関を用いた毒性配列予測 2025/03/28 日本化学会第105春季年会 日本化学会 ポスター発表 国内会議

北村 達也

研究課題	発声・発話訓練法の開発と評価, 音声生成の観測技術およびシミュレータの開発, 対話ロボットシステムの開発
論文	発話のしにくさの自覚と性格因子の関連に関するアンケート 甲南大学紀要知能情報学編 17巻1号 pp.35-43 2024/07/31
論文	Effects of increased nasal volume due to topical adrenaline on the voice Journal of Voice 2024/09
論文	Kymograph-based indicator for assessing articulatory motion in repetitive speech production Acoustical Science and Technology 46巻2号 pp.167-172 2025/03/01
講演発表	音声生成系の可視化およびAIを活用した解析 2025/03/01 近畿音声言語研究会 近畿音声言語研究会 口頭発表（招待・特別） 国内会議

木原 真紀

研究課題	照合可能暗号の数理的基礎研究及びその応用について, 照合可能暗号とアフィン線形暗号に関する研究, 行列計算を必要としない量子回路に関する研究
論文	Affine線形暗号と照合可能暗号について 甲南大学紀要 知能情報学編 17巻2号 pp.61-74 2025/02/28
講演発表	A Study on the Security of Authentication Algorithm Based on Verifiable Encryption 2024/05/16 The 44th International Conference & School on Quantum Probability and Infinite Dimensional Analysis Association for Quantum Probability and Infinite Dimensional Analysis 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	PDI認証を用いたシングルサインオンへの結託攻撃とその考察 2024/12/12 第47回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2024) 国内会議
講演発表	照合可能暗号とアフィン線形暗号に関する考察 2025/01/29 2025年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2025) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Considerations on a Mathematical Characterization of RNA Transcription-Based Symmetric Cryptosystem 2025/03 International Joint Workshop of QP45& QBIC 2025 国際会議

和田 昌浩

研究課題	
論文	A Framework of Detection and Recognition for Players on Baseball Stadium for an Automatic Broadcasting System by using AI Cameras Proc. of 2025 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing pp.261-264 2025/02/27

マネジメント創造学部

マネジメント創造学科

JODOIN Joshua J.

研究課題	Higher Education Sustainability Office, Language Education for Sustainable Development (LESD)
講演発表	A Comparison of Environmental Accountability in Japanese Higher Education: Moving Beyond the Recycle Bin 2024/06/01 The Tenth Annual Conference on Global Higher Education at Lakeland University Japan Lakeland University Japan 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	A Comparison of Environmental Accountability in Japanese Higher Education: Moving Beyond the Recycle Bin 2024/06/01 The Tenth Annual Conference on Global Higher Education at Lakeland University Japan Lakeland University Japan 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	A Powerful Approach to Challenges Faced by the Japanese University System: Language Education for Sustainable Development (LESD) 2024/06/30 Global Negotiation Symposium (GNS) 2024 Japan University English Model United Nations (JUEMUN) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Language Education for Sustainable Development (LESD): A Path to Intercultural Communication in the Language Classroom 2025/03/19 RELC 2025 SEAMEO Regional Language Centre (RELC) 口頭発表（一般） 国際会議

JONES Brent A.

研究課題	Collaborative Online International Learning (COIL) and Team-Based Learning research, specifically how Instructional Design, Educational Technology, and Educational Psychology can be leveraged in university level language education contexts.
論文	Facilitating intercultural communication and engagement through student-led online international conferences The Journal of Teachers Helping Teachers 12巻 pp.58-78 2024/12/15 ISBN979-8-34-750666-8
論文	Nurturing community engagement with oral history projects Memoirs of the Center for Education in General Studies, Konan University 3巻 pp.107-112 2025/03/31
講演発表	Japanese People and Society 2024/04/08 San Beda University 2024 at Konan University Konan University, Hirao School of Management 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議
講演発表	Enhancing Cross-Cultural Exchange with AI: ChatGPT's Role in an International Online Student Conference 2024/06/18 JALTCALL 2024 Japan Association for Language Teaching (Computer-Assisted Language Learning SIG) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Engaging Learners in Oral Histories Projects 2024/06/29 Global Negotiation Symposium 2024 Japan University English Model United Nations 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Building Confidence in Public Speaking 2024/07/22 Osaka Ichiritsu Summer English Camp Osaka Ichiritsu High School 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

- 講演発表 COILing for Humanity, Intercultural Sensitivity, and Communicative Competence 2024/08/26 EuroCALL 2024: CALL for Humanity European Association for Computer Assisted Language Learning 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 The Four Pillars of Team-Based Learning (TBL): Where Does CALL Fit In? 2024/09/06 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Kyrgyz Foreign Language Teachers Association 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Enhancing Language Teaching Through Socratic Circles 2024/09/06 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Kyrgyz Foreign Language Teachers Association 国際会議
- 講演発表 COILing for Humanity, Intercultural Sensitivity, and Communicative Competence 2024/09/10 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Kyrgyz Foreign Language Teachers Association 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Enhancing Language Teaching Through Socratic Circles 2024/09/10 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Kyrgyz Foreign Language Teachers Association 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 The Four Pillars of Team-Based Learning (TBL): Where Does CALL Fit In? 2024/09/12 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Bishkek State University 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Building Confidence in Public Speaking 2024/09/12 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Bishkek State University 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Enhancing Language Teaching Through Socratic Circles 2024/09/13 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World Teachers Helping Teachers & Bishkek State University シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国際会議
- 講演発表 COILing for Humanity, Intercultural Sensitivity, and Communicative Competence 2024/09/13 THT 2024 in the Kyrgyz Republic: Humanistic Language Teaching in an AI World 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 The Four Pillars of Team-Based Learning (TBL): Where does CALL fit in? 2024/11/01 THT-BELTA 2024 Teachers Helping Teachers & Bangladesh English Language Teachers Association 国際会議
- 講演発表 Fostering Intercultural Sensitivity With COIL Projects 2024/11/16 JALT2024 - Moving JALT into the Future: Opportunity, Diversity, and Excellence Japan Association for Language Teaching 国際会議
- 講演発表 Designing for Learner Engagement and Improved Learning Trajectories 2025/03/12 THT 2025 in Uzbekistan Teachers Helping Teachers 国際会議

PALMER Roger W.

研究課題 In-service training of language instructors

伊藤 健頭

研究課題 テキストマイニングなどの手法を活用した企業ディ
スクロージャーに関する実証研究および実験研究

講演発表 トーンとリーダービリティが投資家の判断に与える影響
2024/08/28 日本会計研究学会第83回年次大会 口頭発表（一
般） 国内会議

榎木 美樹

研究課題 インドにおける亡命チベット人の社会統合に関する
社会背景

論文 岐路に立つ亡命チベット社会：インドにおけるチベット難民
政策の変遷 難民研究ジャーナル 14巻 pp.94-106
2025/03/30

論文 現代インドにおける亡命チベット人女性の立場の複雑性
Hirao School of Management Review 15巻 pp.23-42
2025/03/31

金坂 成通

研究課題 地方公共団体および事業の効率性に関する研究

講演発表 財政の健全性について 2024/07/25 関西大学 経済・政治研
究所 財政と公会計研究班 2024年度 第3回定例研究会 関
西大学 経済・政治研究所 財政と公会計研究班 口頭発表
（招待・特別） 国内会議

寺内 衛

研究課題 “ユニバーサルリテラシー”の規定に関する研究

論文 [研究ノート] 日本経済の現状に関する研究メモ（2025年1月
現在） Hirao School of Management Review 15巻 pp.1-22
2025/03/31 ISSN21860165

著書 タウア・ニン『最新VLSIの基礎』第3版（日本語版）丸善出
版 265-297, 523-572 2024/10/30 ISBN9784621310267

上村 一樹

研究課題 社会政策に関する計量経済分析

真崎 克彦

研究課題 ブータン王国の村落ビジネス振興の現状と課題の研
究、中部山村での小規模ビジネス振興の戦略・計画
策定のためのアクションリサーチ

論文 Reorienting the Sustainable Development Goals: Lessons
from Bhutan's Gross National Happiness Journal of
Developing Societies 40巻2号 pp.195-216 2024/06

論文 Operationalizing farmers' cooperatives as "social
innovation" in Bhutan: Lessons from a mountain village
dairy cooperative Journal of South Asian Research 2巻1号
pp.21-45 2024/06

講演発表 "Reorienting the SDGs towards sustainable transitions:
Lessons from Bhutan's experiment in GNH" 2024/04/05
Workshop 12 on Gross National Happiness (GNH) 口頭発表
（招待・特別） 国際会議

講演発表 "Gelephu Mindfulness City: Towards promoting 'proximity
in the plural'" 2024/06/20 The Suja & Dzaw Convention of
the Druk Journal (in Thimphu) 口頭発表（招待・特別） 国際
会議

講演発表 "Gelephu Mindfulness City: Towards promoting 'proximity
in the plural'" 2024/07/31 The 2nd Suja & Dzaw
Convention of the Druk Journal (in Paro) 口頭発表（招待・
特別） 国際会議

杉本 喜美子

研究課題 1) 西アフリカにおける通貨統合とデジタル化 2)
BRICSは維持可能な経済統合となりうるか

講演発表 Can the BRICS become a sustainable economic and
financial union? 2024/09/20 French/Japanese Conference
on Asian and International Economies in an Era of
Globalization, Sciences Po Aix, 口頭発表（一般） 国際会議

青木 慶

研究課題 個人参画型の価値共創

MISC 書評 岡田庄生（2023）.『ユーザー発案者効果ーユーザー
創造製品のマーケティング・コミュニケーション戦略ー』碩
学舎 マーケティングジャーナル 45巻2号 pp.178-180
2025/03/31

講演発表 The Ripple Effect: Elevating Well-Being through the
Dynamics of Knowledge Sharing 2024/07/22 33rd
International Congress of Psychology 国際会議

講演発表 オンラインサロンから派生する価値共創 個人知の融合を促進
するコミュニティとは 2024/10/13 日本マーケティング学会
マーケティングカンファレンス2024 口頭発表（一般） 国
内会議

講演発表 From Exclusive to Collaborative: How Closed Communities
Foster Value Co-Creation 2024/12/26 International
Conference on Managing Talent and Market in Artificial
Intelligence (AI) Driven Digital Economy 口頭発表（一般）
国際会議

講演発表 仕事を通じたウェルビーイングの向上 -複業による個人知の
深化のプロセス- 2025/03/20 第3回ウェルビーイング学会学
術集会 ウェルビーイング学会 口頭発表（一般） 国内会議

前田 正子

研究課題 少子化の中の保育所の今後の可能性とその役割につ
いての検討

MISC なぜ日本の「49歳の女性たち」は世界で一番子どもを産んで
いないのか…その裏の「残酷な現実」 現代ビジネスオンライ
ン 2024/12/02

MISC 八潮道路陥没は「私たちの責任」…負担を避けて「将来にツ
ケを回してきた」末に起こった「インフラ大崩壊」 現代ビジ
ネスオンライン 2025/02/25

講演発表 『少子化と子ども罰』ー人口戦略に求められるもの
2024/07/11 認定こども園連盟令和6年度 中央研修 認定こ
ども園連盟 国内会議

講演発表 少子化をめぐる母の壁ー女性の返還制度や意識は追いつくか
2024/07/19 行財政研修会東京セミナー 公開講演, セミ
ナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

講演発表 子育て支援の現状と課題 2024/07/22 保育士・幼稚園教諭の
ための保育行政 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講
習, 講義等 国内会議

講演発表 「こども家庭庁の誕生とこども若者施策」 2024/07/28 若者
協同実践全国フォーラム サマーセッション 公開講演, セミ
ナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

講演発表 日本の少子化に要因とその背景にあるものー教育と子ども数
の関係を考える 2024/08/02 近畿地区国立大学付属学校 夏季
研修会 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等
国内会議

講演発表 女性のライフコースの変化に社会や制度は追いつくか
2025/03/07 広島県議会予算特別委員会参考人意見陳述 広島
県議会 国内会議

講演発表 「少子高齢化の進む日本でー多様化する女性のライフコー
ス」 2025/03/07 関西広域連合・関西女性活躍推進フォーラ
ム 関西広域連合・関西女性活躍推進フォーラム 国内会議

谷口 るり子

研究課題 大阪市の公園樹・街路樹管理について

論文 大阪市における公園樹・街路樹管理の課題と提案ー公園樹・
街路樹の安全対策事業を中心にー 実践政策学 10巻1号 pp.63-
76 2024/06

中村 聡一

研究課題

木成 勇介

研究課題 感情・ホルモンが意思決定に与える影響に関する基
礎的研究

林 美玉

研究課題 EC サイトにおける選択オーバーロードと適正品揃え
数

論文 地域ブランドの言語的表現のテキストマイニング：地域団体
商標を対象として 日本商業学会 第74回 全国研究大会 報告
論集 pp.68-70 2024/05/26

論文 選択オーバーロードと EC サイトにおける適正品揃え数 商品
開発・管理研究 21巻1号 pp.24-41 2024/09

講演発表 地域ブランドの言語的表現のテキストマイニング：地域団体
商標を対象として 2024/05/26 日本商業学会 第74回全国研究
大会 口頭発表（一般） 国内会議

フロンティアサイエンス学部

生命化学科

白井 健二

研究課題	生体分子工学、生体機能関連化学、タンパク質・ペプチド工学 人工ペプチドを用いたナノ・バイオへの工学的応用展開
論文	Development of a CaCO ₃ Precipitation Method Using a Peptide and Microwaves Generated by a Magnetron Processes 12巻 pp.1327-1327 2024/06
論文	Complex and Non-sequential Current Signatures of a β -Hairpin Peptide Confined in a Nanopore Analytical Chemistry 97巻 pp.2044-2051 2025/01/22 ISSN0003-2700
論文	Development of detection system for lead ions in mixture solutions using UV-Vis measurements with peptide immobilized microbeads Scientific Reports 15巻 pp.3249-2025/01/25
MISC	ナノバイオ分野におけるマイクロ波の影響に関する研究 色材協会誌 97巻6号 pp.156-159 2024/06
MISC	ナノバイオ分野におけるマイクロ波の影響に関する研究と産業応用を目指した技術開発 マイクロ波の工業応用事例集 pp.345-349 2025/02
MISC	ラーニング・アシスタント活用事例紹介と ラーニング・アシスタント経験学生へのアンケート調査 甲南大学全学共通教育センター紀要 3巻 pp.191-196 2025/03
講演発表	クリック反応を用いて種々のナノポアを作製しその特性を評価する 2024/08/09 第56回若手ペプチド夏の勉強会 ポスター発表 国内会議
講演発表	配列と線維形成・細胞接着・毒性の相関解析に基づいて有用配列を設計する 2024/08/09 第56回若手ペプチド夏の勉強会 ポスター発表 国内会議
講演発表	光開裂リンカービーズを用いて様々なペプチドナノポアの簡便解析を目指す 2024/08/09 第56回若手ペプチド夏の勉強会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ペプチド固定化ビーズを用いた簡便な鉛イオンの環境測定法の確立 2024/08/09 第56回若手ペプチド夏の勉強会 ポスター発表 国内会議
講演発表	高い触媒活性をもつ金ナノ粒子の作製のためのペプチド固定化ビーズの開発 2024/08/09 第56回若手ペプチド夏の勉強会 ポスター発表 国内会議
講演発表	Fabrication of nanopores composed of beta-sheet peptides 2024/08/28 37th European Peptide Symposium ポスター発表 国内会議
講演発表	Search for cell adhesion beta-sheet peptides using molecular descriptors and statistical analysis of data from thioflavin T assay and CD measurements 2024/08/28 37th European Peptide Symposium ポスター発表 国内会議
講演発表	Novel prodrugs of HIV-1 protease inhibitor with an N-amidinoglycine moiety 2024/08/28 37th European Peptide Symposium ポスター発表 国内会議
講演発表	独創的研究者育成を目指したペプチド固相合成を題材とした基礎実験の構築 2024/09/04 第72年次大会・工学教育研究会講演会II ポスター発表 国内会議
講演発表	ペプチド固定化ビーズを用いた環境中の鉛イオンの簡便な検出 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム ポスター発表 国内会議

講演発表	ペプチド固定化ビーズを用いた環境中の鉛イオンの簡便な検出 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム ポスター発表 国内会議
講演発表	マイクロ波を用いてペプチドの細胞内小器官への高効率導入を目指す 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	種々の線維形成ペプチドの測定データに基づく主成分得点と分子記述子を利用した細胞接着配列・細胞毒性配列の設計 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	迅速なC-SPRA法(アレルギー感作試験法)に用いるペプチド固定化樹脂の検討 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	ペプチドビーズを用いたミネラルゼーションによる金ナノ粒子のワンポットでの合成と固定化 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	凝集に関するデータの主成分解析によるペプチド配列と会合数との相関の解明 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	ペプチドビーズを用いた環境測定のための簡便な鉛イオン分離・検出システムの開発 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	マイクロ波がペプチド合成に及ぼす影響の調査 2024/12/13 第39回関西地区ペプチドセミナー ポスター発表 国内会議
講演発表	マイクロ波照射による細胞内小器官移行性ペプチドのミトコンドリア取り込み効率の向上 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	ペプチドの線維形成に関する実測データから得られる主成分得点と分子記述子の相関を用いた毒性配列予測 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	金イオンと銀イオンを用いた金還元ペプチドによる異方性金ナノ構造体の作製 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 口頭発表(一般) 国内会議
講演発表	ペプチドを用いた金ナノ粒子固定化ビーズのワンポット合成とその触媒活性の評価 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 口頭発表(一般) 国内会議
講演発表	ペプチド固定化ビーズを用いた種々の β -バレル型ナノポアの作製と分析 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 口頭発表(一般) 国内会議
講演発表	ペプチド固定化ビーズと色素を用いた迅速な皮膚感作性評価法の開発 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 口頭発表(一般) 国内会議
講演発表	統計解析と分子記述子を用いたペプチド配列とナノポアの会合数との相関の解明 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	学生基礎実験(ペプチド合成)におけるアンケートの計量テキスト分析と実験内容の改良 2025/03/26 日本化学会第105春季年会 ポスター発表 国内会議

栢森 史浩

研究課題	ペプチドナノポアの開発、ナノバイオサイエンス、マイクロ波化学、生命現象へのマイクロ波の影響解明
論文	Development of a CaCO ₃ Precipitation Method Using a Peptide and Microwaves Generated by a Magnetron Processes 12巻7号 pp.1327- 2024/06
著書	マイクロ波の工業応用事例集 技術情報協会 345-349 2025/02
MISC	ナノバイオ分野におけるマイクロ波の影響に関する研究 色材協会誌 97巻6号 pp.156-159 2024/06

講演発表	配列と線維形成・細胞接着・毒性の相関解析に基づいて有用配列を設計する 2024/08 第56回若手ペプチド夏の勉強会 国内会議
講演発表	Fabrication of nanopores composed of beta-sheet peptides 2024/08 37th European Peptide Symposium/14th International Peptide Symposium 国際会議
講演発表	Search for cell adhesion beta-sheet peptides using molecular descriptors and statistical analysis of data from thioflavin T assay and CD measurements 2024/08 37th European Peptide Symposium/14th International Peptide Symposium 国際会議
講演発表	クリック反応を用いて種々のナノポアを作製しその特性を評価する 2024/08 第56回若手ペプチド夏の勉強会 国内会議
講演発表	光開裂リンカービーズを用いて様々なペプチドナノポアの簡便解析を目指す 2024/08 第56回若手ペプチド夏の勉強会 国内会議
講演発表	独創的研究者育成を目指したペプチド固相合成を題材とした基礎実験の構築 2024/09 第72回年次大会・工学教育研究講演会 国内会議
講演発表	ナノポアライブラリの構築および測定・解析手法の確立 2024/09 第18回バイオ関連化学シンポジウム 国内会議
講演発表	De novo design, synthesis, and assessment of amphiphilic β -helical peptide containing unnatural amino acids for nanopore formation 2024/10 The 61th Japanese Peptide Symposium 国内会議
講演発表	De novo-design, synthesis, and evaluation of amphiphilic β -helical peptide aimed to nanopore sensing application 2024/10 The 61th Japanese Peptide Symposium 国内会議
講演発表	Optimization of turn structure for de novo designed nanopore-forming peptide 2024/10 The 61th Japanese Peptide Symposium 国内会議
講演発表	Fabrication of peptidyl resins with a photocleavable linker for construction of nanopore-forming peptide library 2024/10 The 61th Japanese Peptide Symposium 国内会議
講演発表	マイクロ波を用いてペプチドの細胞内小器官への高効率導入を目指す 2024/12 第39回関西地区ペプチドセミナー 国内会議
講演発表	迅速なC-SPRA法(アレルギー感作試験法)に用いるペプチド固定化樹脂の検討 2024/12 第39回関西地区ペプチドセミナー 国内会議
講演発表	凝集に関するデータの主成分解析によるペプチド配列と会合数との相関の解明 2024/12 第39回関西地区ペプチドセミナー 国内会議
講演発表	統計解析と分子記述子を用いたペプチド配列とナノポアの会合数との相関の解明 2025/03 日本化学会第105春季年会 国内会議
講演発表	ペプチド固定化ビーズを用いた種々の β -バレル型ナノポアの作製と分析 2025/03 日本化学会第105春季年会 国内会議
講演発表	C-SPRA(Chromophore-Solid phase Peptide Reaction Assay)法を用いた皮膚感受性の評価とDPRA(Direct Peptide Reactivity Assay)法比較検討 2025/03 日本薬学会第145年会 国内会議
講演発表	ペプチドの線維形成に関する実測データから得られる主成分得点と分子記述子の相関を用いた毒性配列予測 2025/03 日本化学会第105春季年会 国内会議
講演発表	マイクロ波照射による細胞内小器官移行性ペプチドのミトコンドリア取り込み効率の向上 2025/03 日本化学会第105春季年会 国内会議

講演発表	ペプチド固定化ビーズと色素を用いた迅速な皮膚感受性評価法の開発 2025/03 日本化学会第105春季年会 国内会議
講演発表	学生基礎実験（ペプチド合成）におけるアンケートの計量テキスト分析と実験内容の改良 2025/03 日本化学会第105春季年会 国内会議

甲元 一也

研究課題

講演発表	難水溶性抗酸化物質を抽出するベタイン誘導体水溶液の特性 2024/06/02 第21回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウムポスター発表 国内会議
講演発表	β -グルカンナノ粒子へのスチルベノイドのキャビティへの包接における構造特性の解析 2024/09/08 第76回日本生物工学会大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ベタイン誘導体水溶液を用いた食品残渣からの有効成分の抽出 2024/09/10 第76回日本生物工学会大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ベタイン誘導体とカチオン・アニオンの組み合わせによる水相の相分離挙動 2024/11/29 2024ハロゲン利用ミニシンポジウム 臭素化学懇話会 ポスター発表 国内会議

三好 大輔

研究課題

論文	細胞内環境で安定化する核酸構造を標的とした低分子薬の開発 MEDCHEM NEWS (日本薬学会) 34巻1号 pp.36-42 2024/04
論文	Quantitative Effects of the Loop Region on Topology, Thermodynamics, and Cation Binding of DNA G-quadruplexes ACS Omega 9巻 pp.35028-35036 2024/07
論文	Factors Affecting Liquid-Liquid Phase Separation of RGG Peptides with DNA G-Quadruplex ChemMedChem 2024/09
論文	Bioinformatic Analysis of Actin-Binding Proteins in the Nucleolus During Heat Shock Genes 15巻12号 pp.1580-2024/09
論文	The role of cytosine methylation in regulating the topology and liquid-liquid phase separation of DNA G-quadruplexes Chem. Sci. 16巻 pp.4213-4225 2024/10
論文	NRAS DNA G-quadruplex-targeting molecules for sequence-selective enzyme inhibition Chem. Commun. 2024/10
論文	Roles of Loop Region in Folding Kinetics and Transcription Inhibition of DNA G-Quadruplexes Biochemistry 64巻 pp.609-619 2025/01
論文	ケミカルバイオロジーの冒険（12）核酸を標的とした低分子・中分子化合物 現代化学 648巻 pp.32-39 2025/02
論文	Three- and four-stranded nucleic acid structures and their ligands RSC Chemical Biology 6巻 pp.466-491 2025/03
講演発表	核酸構造が誘起する液液相分離現象 2024/05 ナノ学会 第22回大会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	構造・配列選択的なDNA四重らせん構造リガンドによる酵素阻害 2024/08 第34回バイオ・高分子シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	核酸の特殊な構造を狙った新しい創薬 2024/08 大学見本市 2024～イノベーション・ジャパン ポスター発表 国内会議
講演発表	Liquid-Liquid Phase Separation of Nucleic Acids 2024/08 International Congress on Pure & Applied Chemistry (ICPAC) MONGOLIA 2024 口頭発表（招待・特別） 国際会議

講演発表	シトシンのメチル化によって制御されるグアニン四重らせん構造の液液相分離 2024/08 第 34 回バイオ・高分子シンポジウム ポスター発表 国内会議
講演発表	構造化したループ領域をもつグアニン四重らせん構造の液液相分離 2024/09 第18回バイオ関連化学シンポジウム ポスター発表 国内会議
講演発表	Triplex nucleic acid induces liquid-liquid phase separation 2024/09 XXV International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids ポスター発表 国際会議
講演発表	Phase separation of G-quadruplex regulated by epigenetic modification 2024/09 XXV International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids ポスター発表 国際会議
講演発表	核酸四重らせん構造と RGG タンパク質による液液相分離に影響する因子 2024/09 第73回高分子討論会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	グアニン四重らせん構造によって誘起される液液相分離に対するエピジェネティック修飾の影響 2024/09 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	グアニン四重らせん構造の液液相分離に対する構造化ループの影響 2024/10 CSJ化学フェスタ2024 ポスター発表 国内会議
講演発表	DNAのI-motif構造が誘起する液液相分離の制御 2024/10 CSJ化学フェスタ2024 ポスター発表 国内会議
講演発表	核酸グアニン四重らせん構造が誘起する液液相分離の制御機構の解明 2024/10 CSJ化学フェスタ2024 ポスター発表 国内会議
講演発表	グアニン四重らせん構造の液液相分離に対する構造化ループの影響 2024/10 CSJ化学フェスタ2024 ポスター発表 国内会議
講演発表	DNAのI-motif構造が誘起する液液相分離の制御 2024/10 CSJ化学フェスタ2024 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	三好 大輔 2024/12 2024年度 岐阜大学公開講座 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	三好大輔 2024/12 熊本大学工学部講演会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	がん抑制因子p53の機能低下がもたらす核小体ダイナミクスの変容 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	核酸の非標準構造が誘起する液液相分離とその制御 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	核酸の非標準構造が誘起する液液相分離とその制御 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	Y. Hashimoto, H. Kubo, R. Suzuki, K. Kawauchi, and D. Miyoshi 2024/12 17th International Symposium on Nanomedicine (ISNM2024) 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	細胞核ナノトランスポーターを用いた核酸-ペプチド液滴へのドラッグデリバリー技術の開発 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	竹内 浩平、月生 雅也、橋本 佳樹、杉本 渉、藤田 英明、三好 大輔、川内 敬子 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	谷口 慎也、月生 雅也、李 先民、鈴木 涼介、取井 猛流、鶴田 充生、三好 大輔、川内 敬子 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	レトロトランスポゾンLINE-1の転移におけるグアニン四重らせん構造の役割 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議

講演発表	テロメアDNA構造選択的リガンドのスクリーニングとその細胞内効果の検証 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	p53機能欠損細胞でみられる抗がん剤処理誘導性の核小体ストレス応答の解明 2024/12 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	吉川 美咲、鶴田 充生、高宮 渚、川内 敬子、三好 大輔 2025/03 日本化学会 第105春季年会(2025) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	鶴田 充生、Shil Sumit、川内 敬子、三好 大輔 2025/03 日本化学会 第105春季年会(2025) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	鈴木 涼介、鶴田 充生、川内 敬子、三好 大輔 2025/03 日本化学会 第105春季年会(2025) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	小坂 直暉、中田 実紀、鶴田 充生、川内 敬子、三好 大輔 2025/03 日本化学会 第105春季年会(2025) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	綾 瑞穂、鶴田 充生、川内 敬子、三好 大輔 2025/03 日本化学会 第105春季年会(2025) 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	橋本 佳樹、久保 宏樹、川内 敬子、三好 大輔 2025/03 日本化学会 第105春季年会(2025) 口頭発表（一般） 国内会議

松井 淳

研究課題

講演発表	金属ポルフィリンを用いたダミー分子インプリント法によるシアニジン認識 2024/11/07 第35回クロマトグラフィー科学会議 クロマトグラフィー科学会 ポスター発表 国内会議
------	--

西方 敬人

研究課題

MISC	がん免疫療法における CAR 細胞療法の多様性とその展望 Journal of the Society of Japanese Women Scientists 25巻 pp.43-48 2025/02/18
------	---

石川 真実

研究課題 糖化による幹細胞老化メカニズムの解明

赤松 謙祐

研究課題

論文	Preparation of golf ball-like polymer particles bearing site-selective functional groups ACS Appl. Mater.Interfaces in press 2024
論文	Structure and Thermoelectric Characterization of p-Type SnTe Nanobulk Material Synthesized by Charge Compensation Chemical Reaction Energies 17巻190号 2024
論文	“Interfacial analysis of the ion-transport process controlling the steady-state current in a two-phase electrodeposition system using polyelectrolyte membranes RSC Applied Interfaces 2024
論文	Structural transformation of silver(I)-thiolate coordination polymer film at solid-liquid interfaces CrystEngComm 26巻 pp.6269-6273 2024
論文	Cr(NO3)3 as a New Etching Reagent for an Al-based Metal-Organic Framework to Control Its Crystal Size and Defects Cryst. Growth Des 24巻 pp.1766-1773 2024
論文	Direct Formation of ZIF-8 Crystal Thin Films on the Surface of a Zinc Ion-Doped Polymer Substrate Inorganics 12巻21号 2024

講演発表 廃液フリー高速電析システムの開発に向けた固-液界面イオン輸送ダイナミクスの解析 2024/09 2023 電気化学秋季大会 口頭発表 (招待・特別) 国内会議

川上 純司

研究課題 核酸医薬、RNA工学、遺伝子工学 アンチセンス核酸医薬の薬効予測法の開発

論文 Separation of the diastereomers of phosphorothioated siRNAs by anion-exchange chromatography under non-denaturing conditions Journal of Chromatography A 1721巻 pp.464847- 2024/04/26

論文 異なるカチオン共存下におけるG4 アプタマーの構造変化のカロリメトリーを用いた検出 熱測定 51巻4号 pp.148-152 2024/10/25

論文 L-Histidine Modulates the Catalytic Activity and Conformational Changes of the HD3 Deoxyribozyme genes 15巻 pp.1481- 2024/11/17

論文 Bioinformatic Analysis of Actin-Binding Proteins in the Nucleolus During Heat Shock genes 15巻12号 pp.1580- 2024/12/09

論文 Sequence-Specific Free Energy Changes in DNA/RNA Induced by a Single LNA-T Modification in Antisense Oligonucleotides International Journal of Molecular Sciences 25巻 pp.13240-13240 2024/12/10

著書 核酸医薬 モダリティ・合成・分析・DDSの最新動向 NTS 2024/04 ISBN978-4-86043-886-9

講演発表 Rapid monitoring of the purification process of oligonucleotide impurities using a benchtop MALDI-TOF MS system 2024/06 72nd ASMS (American Society for Mass Spectrometry) Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics ポスター発表 国際会議

講演発表 核酸医薬品における原薬の品質管理と課題 2024/06/28 立命館大学 創剤・製剤技術研究コンソーシアム 2024年度第1回研究会「低分子から中分子医薬品原薬の開発におけるアップグレード」 口頭発表 (招待・特別) 国内会議

講演発表 連続クロマトグラフィー (MCSGP) 技術を用いたオリゴ核酸製造プロセスの開発と製造コストの削減 2024/07/05 日本プロセス化学会2024サマーシンポジウム ポスター発表 国内会議

講演発表 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方:総括 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方:不純物分析 1 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方:遺伝子発現変動解析 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方:アンチセンス医薬モデルの製造 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 変異したウイルスRNAに対する結合を指向したENA修飾ASOの熱力学的評価 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 合成オリゴ核酸精製過程のMALDI-TOF MS迅速モニタリング 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 核酸医薬に混入する目的物質由来不純物のオフターゲット評価の考え方:不純物分析 2 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 非変性条件の陰イオン交換クロマトグラフィーによるPS修飾を有するsiRNAのジアステレオマーの分離 2024/07/16 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 シングル四重極 LC/MS による合成核酸不純物の定量 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 GalNAc修飾siRNAの逆相イオンペアクロマトグラフィーによる分析法検討 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 動的光散乱法を利用したアンチセンス核酸の自己相互作用検出 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 オリゴ核酸不純物の生成における硫化剤の影響 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 2D-LC/MSによるオリゴ核酸不純物の分離と定量解析 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 RPIP-LC-MSによる 100 mer化学合成オリゴヌクレオチドの分離研究と構造確認 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 イオンペア逆相クロマトグラフィーを用いた核酸医薬不純物の分離分析に関する検討 -標準分析法の構築に向けて- 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 様々なメーカーのHFIPを用いたオリゴ核酸の分析におけるMS感度の差異 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 オリゴヌクレオチドのリン酸付加不純物の付加位置判別の試み-合成標品を用いたLC/MS解析- 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 Regnase-1 hairpin RNAを標的としたASOの物理化学的機能評価 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 連続クロマトグラフィー (MCSGP) を用いたオリゴ核酸の精製 (第二報) 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 合成オリゴヌクレオチドに見出されたジエチルアミン由来不純物の同定 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 円二色性分光法と統計検定を組み合わせた核酸医薬品の高次構造変化の数値化法の開発 2024/07/17 日本核酸医薬学会第9回年会 ポスター発表 国内会議

講演発表 rRNA量の低下が引き起こす核小体構造変化におけるG-quadruplexの働き 2024/08 2024年度文部科学省学術変革領域研究先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会 ポスター発表 国内会議

講演発表 p53機能欠損が惹起する異常な核小体ストレス応答の解明 2024/08 2024年度文部科学省学術変革領域研究先端モデル動物支援プラットフォーム若手支援技術講習会 ポスター発表 国内会議

講演発表 The development of continuous purification process for oligonucleotides purification and its potential benefits 2024/09/04 XXV International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids (IRT2024) ポスター発表 国際会議

講演発表 Stability and structural analysis of DNA/RNA heteroduplexes containing a bulge 2024/09/04 XXV International Round Table on Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids (IRT2024) ポスター発表 国際会議

講演発表 DNAzymeにおける基質認識配列の分子設計指針 2024/11/28 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議

講演発表	RNAセンサーの分子設計における不活性構造予測の重要性 2024/11/29 第47回日本分子生物学会年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	核酸医薬品の品質管理および分析・評価のポイント 2024/12/18 株式会社 R & D 支援センター主催セミナー 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	GuNA導入したASOの熱力学的な特性評価 2025/03/28 日本薬学会第145年会 ポスター発表 国内会議
講演発表	示差走査熱量計を用いた核酸医薬品の構造不純物の検出 2025/03/28 日本薬学会第145年会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	イオンペア逆相液体クロマトグラフィーを用いたS化オリゴヌクレオチドのPS/PO置換不純物の分離分析 2025/03/28 日本薬学会第145年会 口頭発表（一般） 国内会議

川内 敬子

研究課題	核酸の高次構造を標的としたがん治療法の開発，メカニカルストレスががん細胞に及ぼす影響，がん抑制因子p53の機能低下が惹起する異常な核小体ストレス応答の分子機構解明
論文	Quantitative Effects of the Loop Region on Topology, Thermodynamics, and Cation Binding of DNA G-quadruplexes ACS Omega 9巻32号 pp.35028-35036 2024/07
論文	Non-canonical olfactory pathway activation induces cell fusion of cervical cancer cells. Neoplasia 57巻 pp.101044-101044 2024/08
論文	NRAS DNA G-quadruplex-targeting molecules for sequence-selective enzyme inhibition Chem. Commun. 60巻 pp.13179-13182 2024/11
論文	Bioinformatic analysis of actin-binding proteins in the nucleolus during heat shock Genes 15巻 pp.1580- 2024/12
論文	Factors affecting liquid-liquid phase separation of RGG peptides with DNA G-Quadruplex ChemMedChem 20巻2号 pp.e202400460- 2025/01
論文	The role of cytosine methylation in regulating the topology and liquid-liquid phase separation of DNA G-quadruplexes Chemical Science 16巻10号 pp.4213-4225 2025/01
論文	Roles of Loop Region in Folding Kinetics and Transcription Inhibition of DNA G-Quadruplexes Biochemistry 64巻 pp.609-619 2025/02
MISC	細胞内環境で安定化する核酸構造を標的にした低分子薬の開発 MEDCHEM NEWS 34巻 pp.36-42 2024/04
MISC	日本酒麹菌産生物質デフェリフェリクリシンががん細胞に及ぼす効果について 食と医療 29巻 pp.14-20 2024/04
MISC	がん免疫療法におけるCAR細胞療法の多様性とその展望 日本女性科学者の会学術誌 25巻 pp.43-48 2025/01
MISC	Three- and four-stranded nucleic acid structures and their ligands RSC Chem. Biol. 6巻 pp.466-491 2025/02
講演発表	Crosstalk between actin remodeling and p53 signaling in the DNA damage response 2024/09/20 第83回日本癌学会学術総会 シンポジウム・ワークショップ パネル（公募） 国内会議
講演発表	がん抑制因子p53の機能低下がもたらす核小体ダイナミクスの変容 2024/11/27 第47回 日本分子生物学会年会 日本分子生物学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

村嶋 貴之

研究課題	有機合成を駆使した凝集誘起発行色素の合成と環境負荷物質の検出
講演発表	PFOAの蛍光によるセンシングの試み 2024/11/29 第16 回臭素化学懇話会年会 臭素化学懇話会 ポスター発表 国内会議

中野 修一

研究課題	
論文	Basic protein- and peptide-induced stabilization of long-loop DNA G-quadruplexes Biochimie 219巻 pp.110-117 2024/04
論文	Inhibition of RNA phosphodiester backbone cleavage in the presence of organic cations of different sizes ChemBioChem 25巻13号 pp.e202400276- 2024/05/07

長濱 宏治

研究課題	
論文	Tendon Tissue Regeneration With Cell Orientation Using an Injectable Alginate-Cell Cross-linked Gel The American Journal of Sports Medicine 2025/03/25
著書	スプレー投与可能な生体適合性ゲルを用いた癒着防止材の開発 技術情報協会 347-359 2025/01/31 ISBN978-4-86798-060-6

鶴岡 孝章

研究課題	
論文	Engineering of CdS-chain arrays assembled through S...S interactions in 1D semiconductive coordination polymers Chemical Communications 2024 ISSN1359-7345
論文	Interfacial analysis of the ion-transport process controlling the steady-state current in a two-phase electrodeposition system using polyelectrolyte membranes RSC Applied Interfaces 2024
論文	Development of a CaCO3 Precipitation Method Using a Peptide and Microwaves Generated by a Magnetron Processes 12巻7号 pp.1327-1327 2024/06/26

藤井 敏司

研究課題	生物無機化学、錯体化学、ペプチド、生体機能関連化学 アルツハイマー型認知症の早期診断システムの開発
MISC	化学大家 川本幸民 和光純薬時報 93巻1号 pp.20-23 2025/01/15
講演発表	フェロクラターゼ共発現系を用いて作製した コバルト置換シトクロムP450のキャラクタリゼーション 2024/09/13 第18回 バイオ関連化学シンポジウム 日本化学会生体機能関連化学部会・日本化学会バイオテクノロジー部会 ポスター発表 国内会議
講演発表	非対称なキレート環を持つN2S3型NHaseモデル錯体の合成と性質 2024/09/19 錯体化学会第74討論会 錯体化学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	金属ポルフィリンを用いたダミー分子インプリント法によるシアニジン認識高分子の合成と中心金属の影響 2024/11/07 第35回クロマトグラフィー科学会議 クロマトグラフィー科学会 ポスター発表 国内会議
講演発表	非対称なキレート環を有するN2S3型NHaseモデル錯体の開発 2025/03/27 日本化学会第105春季年会 日本化学会 ポスター発表 国内会議

高嶋 洋平

研究課題

論文 Interfacial analysis of the ion-transport process controlling the steady-state current in a two-phase electrodeposition system using polyelectrolyte membranes RSC Appl. Interfaces 1巻 pp.1069-1076 2024/05

論文 Structural transformation of silver(I)-thiolate coordination polymer film at solid-liquid interfaces CrystEngComm 26巻 pp.6269-6273 2024/10

論文 Development of a New Structural Transformation Reaction in Cr-Based MOFs Induced by Fluoride Chem. Asian J pp.e202401717- 2025/02

フロンティアサイエンス研究科

生命化学専攻

遠藤 玉樹

研究課題

論文 Guanidine modification improves functions of natural RNA-targeting alkaloids New J. Chem. 48巻 pp.8529-8533 2024/05/21

論文 Contrasting effect of different crowding agents on pseudoknot RNA stability Med. Chem. Res. 33巻 pp.2079-2084 2024/08/08

MISC 四重鎖DNAを内包した人工ウイルスキャプシドの創製 日本化学会春季年会講演予稿集(Web) 104th巻 2024

講演発表 Interactions between fluorogens and i-motif DNAs depending on loop sequences 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議

講演発表 分子クラウディング環境に応答するグアニン四重鎖形成領域のゲノムワイドスクリーニング 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 擬似細胞システムを使った細胞内の四重らせん構造の解析 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 四重鎖DNAを内包した人工ウイルスキャプシドの創製 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 RNA conformational dynamics in gene regulation system that applicable for designing functional materials 2024/12/02 MNP/BioNano Seminar 公開講演，セミナー，チュートリアル，講習，講義等 国際会議

講演発表 Predictability of environment-dependent formation of the behavior of DNAs in human mitochondria 2025/03/04 To B or Not to B Symposium 2025 口頭発表（招待・特別） 国際会議

講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (20) : G-quadruplex DNA formations depending on the environments in the mitochondrial matrix 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (13): Global and local molecular crowding effects depending on the size of crowding cosolute on stability of pseudoknot RNA 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議

講演発表 Construction of artificial viral capsid encapsulating quadruplex DNA and its intracellular delivery 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議

建石 寿枝

研究課題

論文 Controlling the local conformation of RNA G-quadruplex results in reduced RNA/peptide cytotoxic accumulation associated with C9orf72 ALS/FTD Small Methods 9巻 pp.in press- 2025/03

論文 Imperfect G-quadruplex as an emerging candidate for transcriptional regulation Nucleic Acids Res. 53巻5号 pp.in press- 2025/03

MISC Climbers 公益社団法人 高分子学会 高分子 73巻9号 pp.464-464 2024 ISSN0454-1138

- MISC 神経変性疾患に関わる核酸の周辺環境に依存した構造解析とその制御 日本分子生物学会年会プログラム・要旨集(Web) 47th巻 2024
- MISC 四重鎖DNAを内包した人工ウイルスキャプシドの創製 日本化学会春季年会講演予稿集(Web) 104th巻 2024
- MISC 非二重らせん核酸に調節される遺伝子発現機構 一般社団法人日本女性科学者の会 日本女性科学者の会学術誌 25巻 pp.37-42 2025/01/25 ISSN1349-4449

高橋 俊太郎

研究課題 ゲノム変異を引き起こす非ワトソン-クリック型塩基対の化学的基盤の解明

- 論文 Elucidating the role of groove hydration on stability and functions of biased DNA duplexes in cell-like chemical environments Journal of the american chemical society 2024/11/27
- 講演発表 Development of pseudo-cellular systems to understand effects of molecular environments on G-quadruplex behaviors in cells 2024/07/05 20th RSC Nucleic Acids Forum ポスター発表 国際会議
- 講演発表 Quantitative analysis for quadruplex functions regulated by ligand binding 2024/07/15 The Seminar of School of Pharmacy 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 Twisting of i-motif DNA for functionalization in diverse crowding conditions 2024/08/30 FISNA2024 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 ATP-mediated regulation of stability and function of i-motif DNA 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議
- 講演発表 Elucidating the Role of Groove Hydration on Stability and Functions of Biased DNA Duplexes in Cell-Like Chemical Environments 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議
- 講演発表 Interactions between fluorogens and i-motif DNAs depending on loop sequences 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議
- 講演発表 Twisting of helicity induces diverse functionality of i-motif DNA 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議
- 講演発表 , Quantify specific interactions determining G-quadruplex function during cancer progression using a pseudo-cellular system, 東京理科大学葛飾キャンパス, 2024年9月3日～6日 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議
- 講演発表 擬似細胞システムを使った細胞内の四重らせん構造の解析 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 RNA複製エラーを引き起こす非ワトソン-クリック型塩基対形成 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 RNA複製酵素の精密性に及ぼす分子環境の効果 2024/09/25 第73回高分子討論会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 細胞内核酸の安定性と機能を予測・決定するための重要因子を明らかにする疑似細胞システム 2024/09/25 第73回高分子討論会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 Nearest-neighbor parameters meet AI: Functional prediction of DNAzyme 2024/10/24 Advances in Noncanonical Nucleic Acids “ANNA2024” 口頭発表（招待・特別） 国際会議

- 講演発表 Nearest-neighbor parameters with AI beyond experiments: Prediction of RNA secondary structures containing mismatches 2024/10/24 Advances in Noncanonical Nucleic Acids “ANNA2024” 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 Predictions of the function of DNA from the sequence and environment information 2024/12/03 Special seminar of Department of Chemistry 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 Predictability of environment-dependent formation of the behavior of DNAs in human mitochondria 2025/03/04 To B or Not to B Symposium 2025 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 Quantify specific interactions determining G-quadruplex and i-motif formation during cancer progression 2025/03/04 To B or Not to B Symposium 2025 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 Chemistry of four letters of nucleic acids coding functions in cells 2025/03/11 The Seminar of Department of Biophysics 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (20) : G-quadruplex DNA formations depending on the environments in the mitochondrial matrix 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (12) : Role of groove hydration on stability and functions of biased DNA duplexes 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (15): Universal prediction of DNAzyme activity using new nearest neighbor parameters and AI 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (14), Development of methods to predict RNA secondary structures in cells 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 , New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (18) : Comparison of the stability of DNA duplexes among normal and cancer cells 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (19): ATP regulates the DNA stability through structure-dependent cation exchange 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議

全学共通教育センター

KIRK Stanley Arthur

研究課題 Japanese Canadian Migration History

- 講演発表 Life History of Tak Matsuba 2024/05/11 「フロム ミオ」：三尾科研パブリック・ヒストリー国際シンポジウム Mio Canada Museum 口頭発表（招待・特別） 国際会議
- 講演発表 Nima Voices Interview Series: Episode 16 Stan KIRK 2024/06/26 Streamed Interview series: Nima Voices Japanese American National Museum, Discover Nikkei Website その他 国内会議
- 講演発表 Matsunaga Family History in Canada 2024/08/13 Vancouver Buddhist Church 2024 Obon Tour Vancouver Japanese Buddhist Church, North Island College 口頭発表（招待・特別） 国内会議
- 講演発表 Life History of Basil Izumi 2024/08/18 (not a conference, but a presentation to a church group after worship service) Holy Cross Japanese Canadian Anglican Church 口頭発表（一般） 国際会議

MACH Thomas Michael

研究課題 Language teaching methodology, learner autonomy and self-access, cross-cultural interaction

WANG Marian

- 研究課題 国際共働授業e-ラーニングプロジェクトに関する研究をする。学生の異文化理解学習体験を調査する。教員が抱くキャリア開発に関する研究をする。
- 論文 The cosmopolitan development of adolescents at an international secondary school in Japan THT Journal 12巻1号 pp.8-30 2024 ISSN2188-0603
- 論文 Engaging part-time EFL teachers at Japanese universities 甲南大学全学共通教育センター紀要 3号 pp.1-14 2025/03/31
- 講演発表 EFL teaching: Lessons learned from teaching during COVID-19 in Japanese universities 2024/10/23 Fu Jen Catholic University Special Lecture Series Department of English Language & Literature Fu Jen Catholic University 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国際会議
- 講演発表 The professional development of Asian American and Asian Australian EFL teachers at Japanese higher education institutions 2024/11/01 2024 CFLL International Conference on Transition and Transformation: Explorations in Language, Literature, Culture, and Translation College of Foreign Languages and Literatures Fu Jen Catholic University 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Expanding collaborative project-based learning projects across courses 2024/11/10 The 33rd International Symposium on English Language Teaching and Learning ETA-ROC, Yuan Ze University & TESPA English Teachers' Association-Republic of China 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 The professional goals of contract teachers in universities 2024/11/17 全国語学教育学会 第50回年次国際大会教材展示会 全国語学教育学会 口頭発表（一般） 国際会議

- 講演発表 Research in progress in EFL: Global human resource development of learners and professional development of teachers 2024/12/11 Fu Jen Catholic University Special Lecture Series Department of English Language & Literature Fu Jen Catholic University 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国際会議

伊庭 緑

研究課題 異文化理解・国際理解教育（Education for Cross-Cultural Understanding）Applied Linguistics(応用言語学) English Phonetics/Phonology(英語音声学・音韻論) Teaching English as a foreign language (外国語としての英語教育)

伊東 浩司

研究課題 女性スプリンターのトレーニング方法の研究 本学の正課外教育の実践・研究

岡村 こず恵

研究課題 大阪におけるNPO参加型運営の模索

- 講演発表 【講演会・セミナー】「市民参加勉強会」 2024/09/05 「孤独・孤立対策担い手育成支援事業」市民参加勉強会 特定非営利活動法人シミズシーズ 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議
- 講演発表 【講演会・セミナー】「参加のデザイン短期集中ゼミ」 2025/01/26 「孤独・孤立対策担い手育成支援事業」参加のデザイン短期集中ゼミ 特定非営利活動法人シミズシーズほか 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議
- 講演発表 【講演会・セミナー】「人口減少社会におけるネットワークの生かし方」 2025/03/14 令和6年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援団体ネットワーク構築事業 気仙沼まちづくり支援センター 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

吉川 歩

研究課題 主観情報処理に関する研究 特に、問題解決のための「か・き・く・け・こ」ループの改良と実践 ネットワークゲームを題材とした「継続と飽き」の解析のためのデータ収集 プロ野球（特に阪神タイガース）を題材としたAI活用データ分析のためのデータ収集 記憶にできるだけ頼らないパスワード作成法の提案と実装 受講者の理解度と満足度に着目した授業評価の試行と解析

吉田 桂子

研究課題 英語教育（高等教育における英語・英語圏文化指導） 応用言語学（発音指導） 国際協力・貢献（海外ボランティア）

吉本 忠弘

- 研究課題 スポーツ運動における技の創発分析、平生鈺三郎の教育思想に関する研究
- 論文 基礎スキーにおける不整地滑走の技術構造 スポーツ運動学研究 37号 pp.81-91 2024/12/25 ISSN1340-7163

論文	甲南大学におけるスポーツ関連事業の体系化 甲南大学スポーツ・健康科学教育研究センター紀要 25巻 pp.53-63 2025/03 ISSN1881-2260
論文	甲南大学における正課外教育における指導者の役割 -自主的活動における指導のありかたとは- 甲南大学全学共通教育センター紀要 3号 pp.15-23 2025/03/31 ISSN2758-4917
講演発表	日本のスポーツはこう変わる！～人生100年時代に向けた生涯スポーツの取り組み～ 2024/12/07 令和6年度 兵庫体育・スポーツ科学学会秋季シンポジウム 兵庫体育・スポーツ科学学会 シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国内会議

久保 はるか

研究課題	環境保全のための行政機関と政策過程の研究、自治体の再生可能エネルギー政策に関する研究、日本の海洋環境法政策の現状と課題、地域コミュニティによるまちづくり、震災復興のまちづくりの研究（行政学、環境政策）
論文	Japan's Policy on Stratospheric Ozone Depletion (Chapter 12) Hiroshi Ohta ed., Handbook of Japan's Environmental Law, Policy and Politics, Amsterdam University Press 2025/01

宮川 貴美子

研究課題	箱庭療法の基礎的研究ならびに不登校支援の実践的研究
------	---------------------------

宮川 聡

研究課題	補助参加の要件および判決効の研究
------	------------------

金 泰虎

研究課題	韓国の国語醇化と外来語としての日本料理語
論文	韓国における国語醇化と外来語の選定に関する考察『韓国文化研究』（韓国文化学会） 14号 pp.1-28 2024/08/31 ISSN2186-9626
論文	正倉院佐波加盤付属文書の機能と伝来―内容の解釈を踏まえて― 『「かのように」の古文書世界―コミュニケーションの史的行動学―』 彩流社 pp.193-223 2024/11/25
講演発表	A Study on the Selection of Loanwords in Korea -Focusing on Japanese Culinary Words- 2024/06/27 The 16th Annual Conference(Madrid) of The International Society of Korean Applied Linguistics 2024 国際会議
講演発表	日本人学習者を対象とする韓国文化の教育 2024/09/07 湖南大学人文社会科学研究所・日本韓国文化学会・韓国国際文化交流学会 共催国際学術大会 国際会議
講演発表	Korean cultural education plan based on interculturalism using ancient Korea-Japan exchange history 2024/10/18 The 12th World Congress of Korean Studies 国際会議

桂 豊

研究課題	コーチ学（サッカー）指導法、動作分析。ゴルフ・スキースキーの指導法、動作分析。生きる力。
論文	集中授業による「生きる力」の変化についてⅦ ― 2022-23、2023-24集中スキーIKR調査報告 ― 甲南大学スポーツ健康科学教育研究センター紀要 2025/03

胡 金定

研究課題	中国古典諸子百家についての研究
------	-----------------

高 龍秀

研究課題	韓国企業の研究
------	---------

高砂 孝緒

研究課題	公共財供給における所有権配分と投資効率性に関する理論研究
講演発表	金融政策と金融リテラシーはバブルを抑制するか？ 2024/10/20 日本経済学会 2024年度秋季大会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	The threat of sabotage and collusion in tournaments 2025/03/10 大阪学院大学経済学会研究会 口頭発表（一般） 国内会議

黒田 弘美

研究課題	韓国人日本語学習者に対する「漢語サ変動詞」の指導法について―受身文を中心として―
論文	「日韓語の漢語サ変動詞の学習方法について ―日本語と韓国語の学習者を対象として―」 『長崎外大論叢』 28号 2025/03
論文	「韓国人日本語学習者の漢語サ変動詞の使用傾向について ―学習者の母語との比較から指導法を考える―」 甲南大学全学共通教育センター紀要 3号 pp.41-56 2025/03/31
講演発表	「日本語学習者における受身と「～てしまう」の使い分け ―学習者独自の文法規則を考える―」 2024/07/20 日本語教育学会九州・沖縄支部集会 国内会議

山本 シャーリ

研究課題	Global Education, Collaborative Online International Learning (COIL), Autonomy-Supportive Learning Environments, Active Learning
論文	日米大学間におけるCOILプロジェクト実践―グローバル教育の活性化― 甲南大学全学共通教育センター紀要 （第3）巻 pp.145-162 2025/03
講演発表	Cultivating Global Connections: A Cross-Cultural COIL Initiative on Sustainability 2024/08/07 国際教育夏季研究大会2024 国際教育研究コンソーシアム ポスター発表 国内会議
講演発表	How Could We Increase Student Engagement through COIL? Exploring Strategies, Benefits, and Challenges 2024/08/23 The 22nd International Conference for Media in Education . シンポジウム・ワークショップ パネル（指名） 国際会議

山本 貴揚

研究課題	医療過誤被害者の救済法理
------	--------------

篠田 有史

研究課題	個人の特性に着目した学習者分析手法の研究開発とそれを活用したeラーニングシステムに関する研究開発 ほか
講演発表	全学向けオンデマンド学習コースにおける「学びのスタイル」とメタ認知の調査と分析 2024/08/17 2024PCカンファレンス 口頭発表（一般） 国内会議

小西 幸男

研究課題	高齢者・生涯教育・リカレント教育の研究
------	---------------------

水澤 克子

- 研究課題 大学生の体力の特徴について横断的に調査し、明らかにする、ヨガやピラティスを大学の体育に取り入れた効果について検討する、ニュースポーツ（ピックルボール、モルックなど）の体験が、スポーツ活動の継続につながる可能性についての実践
- 論文 甲南大学新入生の体力について（2023年度、2024年度の結果） 甲南大学全学共通教育センター紀要 第3号 pp.133-143 2025/03/31
- 論文 甲南大学新入生の体力について-2009年～2024年度の測定結果より- 甲南大学 スポーツ・健康科学教育研究センター紀要 第25号 pp.25-37 2025/03/31

西浦 太郎

- 研究課題 学生相談領域における学生と教職員の相談ニーズに関する研究
- 論文 コロナ禍・パンデミック下での大学教員側の困難について－オンライン授業と対面授業のはざまで－ 甲南大学 学生相談室紀要 32号 pp.43-55 2025/02/25
- 著書 甲南大学学生相談室 32号 2023年度利用者統計報告 甲南大学学生相談室紀要 2025/02/25
- 講演発表 コロナ禍3年の大学生の心理・修学状況に関する研究 -A大学学生相談機関の利用者数・相談傾向から- 2024/05/26 第42回日本学生相談学会 日本学生相談学会 口頭発表（一般） 国内会議

西川 耕平

- 研究課題
- 講演発表 The Revisit of Japanese Management from a Followership Perspective 2024/04/26 Global Followership Conference Global Followership Conference 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Developing middle-level management in Japan 2024/05/24 SEAM Conference 2024 International Conference on the Socio-Economic Approach to Management 口頭発表（一般） 国際会議
- 講演発表 Middle as Wisdom in Resilience: A Path to Sustainable Growth 2024/07/06 International Conference on Building A Resilient Economy: Policies and Strategies for Sustainable Growth Jaipuria Institute of Management 口頭発表（基調） 国際会議
- 講演発表 A Case Study of the Special Program for Seniors at Konan University: Multicultural Experience for Seniors 2024/08/10 379: Internationally Collaborating for the Future at the Academy of Management Academy of Management その他 国際会議
- 講演発表 Succession Process from the Social Psychological Perspectives: How can a successor, as a follower, transform into the CEO as a leader? 2024/08/31 International Family Business Enterprises Conference (IFBEC) 2024 Foundation for Research, Education and Development 口頭発表（一般） 国際会議

石井 康一

- 研究課題 社会学的角度からの現代中国表象文化研究、中国現代文学・演劇研究、中国語教授法研究、中国映像表現文化の日本との比較研究、古典芸能日中比較研究

石井 昇

- 研究課題 行政法と私法に関する研究 義務付け訴訟に関する研究

石川 隆士

- 研究課題 風の詩学：豎琴と螺旋
- 講演発表 神域へのためらい：Nathaniel Hawthorneの“The New Adam and Eve”における風の詩学 2024/06/08 沖縄外国文学会第39回大会 沖縄外国文学会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 神域へのためらい：Nathaniel Hawthorneの“The New Adam and Eve”における風の詩学 2024/09/22 日本英文学会中部支部第76回大会 日本英文学会中部支部 口頭発表（一般） 国内会議

千葉 美保子

- 研究課題 歴史教育における学びのデザイン、学習成果の測定、大学における学習環境デザインの検討、アクティブラーニング型授業の実践と効果検証

曾我部 晋哉

- 研究課題 各国における転倒予防法の調査ならびに転倒予防のメカニズムの解明
- 論文 Global Consensus Statement How Can Judo Contribute to Reducing the Problem of Injurious Falls in Older Adults? The arts and Sciences of Judo 4巻1号 pp.14-27 2024/04/01
- 論文 集中授業における「生きる力」の変化についてⅦ－2022-23, 2023-24集中スキーIKR調査報告- スポーツ・健康科学教育研究センター紀要 25巻 pp.11-23 2025/03
- 論文 Influences of Genu Varum and Weight Load on Femorotibial Angle at Varying Stance. Bulletin of Konan Sport and Health Sciences Research 25巻 pp.1-9 2025/03
- 著書 中高生のためのやさしいスポーツ医学 日本写真企画 1-136 2024/11/27 ISBN978-4-86562-198-3
- 著書 受け身のススメ ～転倒から身を守る理論と実践～ 全日本柔道連盟 2025/03/01
- MISC ～ケガを防ぐ命を守る～転倒予防とマネジメントの理論と実際 第5回「空間認知能を鍛える」 JATI EXPRESS 100巻 pp.70-71 2024/04/01
- MISC 第21回指導現場で使える！わかりやすいトレーニングサイエンス「疲労下でのバランストレーニング：疲労の影響を検証したランダム化比較試験」 JATI EXPRESS 100巻 pp.82-83 2024/04/01
- MISC 健康寿命延伸のための転倒予防トレーニング 健康日本 4巻 pp.20-21 2024/04/01
- MISC 転倒予防のためのバランス・トレーニング 健康日本 5巻 pp.20-21 2024/05/01
- MISC 海外の「JUDO」ホントのところ 第29回「柔道の発展をグローバルな視点から考えよう～ブータン王国のこれまでとこれから～」 まいんど 39巻 pp.35- 2024/06/01
- MISC ～ケガを防ぐ命を守る～転倒予防とマネジメントの理論と実際 第6回「デュアルタスクで脳と体を鍛える」 JATI EXPRESS 101巻 pp.50-53 2024/06/01
- MISC ～ケガを防ぐ命を守る～転倒予防とマネジメントの理論と実際 第7回「歩き方を鍛える」 JATI EXPRESS 102巻 pp.48-51 2024/09/01

MISC	～ケガを防ぐ命を守る～転倒予防とマネジメントの理論と実際 第8回「深部感覚を鍛える」 JATI EXPRESS 103巻 pp.54-58 2024/11/01
MISC	海外の「JUDO」ホントのところ 第31回「アメリカで人気のある柔術 それでも柔道でなければならない理由とは？」 まいんど 42巻 pp.28- 2024/11/30
MISC	～ケガを防ぐ命を守る～転倒予防とマネジメントの理論と実際 第9回「リズム感を鍛える」 JATI EXPRESS 104巻 pp.46-49 2024/12/01
MISC	～ケガを防ぐ命を守る～転倒予防とマネジメントの理論と実際 第10回「フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームと転倒の関連性について考える」 JATI EXPRESS 105巻 pp.42-43 2025/02/01
MISC	海外の「JUDO」ホントのところ 第32回「アジアを代表する経済・教育大国シンガポールの柔道事情を探る！」 まいんど 43巻 pp.28-28 2025/02/01
講演発表	Current Trends and Perspectives for Judo in Japan's Aging Society 2024/06/20 7th Scientific & Professional Conference, "APPLICABLE RESEARCH IN JUDO " European Judo Union,Croatian Judo Federation,University of Zagreb Faculty of Kinesiology 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	スウェーデンが展開する転倒予防法について 2024/08/30 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会 日本体育・スポーツ・健康学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	ヨーロッパにおける柔道を利用した転倒予防法プログラムに関する研究：指導者養成を中心に 2024/08/31 日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会 日本体育・スポーツ・健康学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	柔道を利用した転倒予防法の国際比較 2024/09/21 日本武道学会第57回大会 日本武道学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	柔道を利用した転倒予防法プログラムに関する研究：ダイナミック・バランス・フォー・ライフ（アデレード大学、オーストラリア）の考察を中心に 2024/09/21 日本武道学会第57回大会 日本武道学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	柔道経験者と一般成人の重心動揺の比較 2024/09/22 日本武道学会第57回大会 日本武道学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	The Effect of Different Knee Alignment on Center of Gravity Sway during One-Leg Standing 2024/12/03 ASIA-SINGAPORE CONFERENCE ON SPORT SCIENCE 2024 East Asia Research 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	“Ukemi No Susume” Project The Potential of Kata-based Exercise for Fall Prevention Programs 2024/12/13 International Conference Safe Falling for Older People through Judo 2024 University of Hertfordshire 口頭発表（一般） 国際会議
講演発表	人生100年時代到来! 指導者なら知っておきたい転倒予防の理論と実践 2025/01/20 日本トレーニング指導者協会オンデマンドセミナー 日本トレーニング指導者協会 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議

谷守 正寛

研究課題 日本語構文（係り結び、ウナギ文）

中西 桃子

研究課題	児童福祉施設における支援者支援および多職種連携におけるAMBITの活用、メンタライゼーションに基づく子どもの心理治療（MBT-C）の効果検証
講演発表	メンタライゼーションに基づく子どもの支援 2024/08/19 令和6年虎伏学園心理臨床ワークショップ 社会福祉法人虎伏学園 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国内会議
講演発表	児童福祉施設における組織コンサルテーション 2024/09/08 「組織で働くための精神分析ーそこで生き延び貢献する術としてー」 小寺記念精神分析研究財団主催 国内会議
講演発表	「よりよいチームワークのために支援者のところに光をあてる」 AMBIT（Adaptive Mentalization-Based Integrative Treatment）を学ぼう 2024/11/25 近畿児童心理治療施設 テーマ別研修会 国内会議
講演発表	「こども支援とメンタライゼーション」について体験を通して考える 2025/02/03 cocoro-net@osaka'24 大阪府社会福祉協議会 国内会議

中村 典子

研究課題	フランス語と英語を対照できるデジタル教材・練習問題の開発、ジロドゥとサルトルの「演劇における文体」に対する考え方の比較
MISC	動詞の時制に関する文献について、共有と交換を目指す Mise en commun et échanges : références bibliographiques sur les temps verbaux Revue japonaise de didactique du français 19巻1-2号 pp.338-343 2024 ISSN1880-5930 共著

長谷川 雄彦

研究課題 図書館運営のあり方に関する研究

辻本 桜子

研究課題	「助言」場面における発話行為に関する研究
論文	「日本語表現」再履修生の学習スキルに関する自己評価ー初年次履修生との比較ー 愛知淑徳大学初年次教育研究年報 9号 pp.9-12 2024/05
論文	大学生による大学生のための「やさしい日本語」関連動画の制作過程 日本教育工学会研究報告集 2024巻2号 pp.105-110 2024/07
著書	加害者にさせないために 晃洋書房 201-208 2024/07/20
MISC	「やさしい日本語」を使った救命救急講習会 大阪保険医新聞 pp.6-6 2024/04/05
MISC	民学連携「やさしい日本語」の普及と研究活動 社会教育 第79巻 pp.106-107 2024/10/01 共著
講演発表	大学生による大学生のための「やさしい日本語」関連動画の制作過程 2024/07/13 2024年度第2回日本教育工学会研究会 日本教育工学会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	学部留学生のための「若者ことば」講座ーグローバルコモンズの活用事例ー 2024/08/07 国際教育夏季研究大会（SIIEJ） 2024 国際教育研究コンソーシアム ポスター発表 国際会議

定金 浩一

研究課題 ・特別支援学級における各種アプリの有効性について
・ユニバーサルな生徒指導について

梅本 剛正

研究課題 証券市場の規制と上場会社のガバナンス

- 論文 東芝の非上場化とガバナンス ジュリスト 1595号 pp.98-103 2024/04
- 論文 非財務情報の虚偽記載と2つの「重要な事項」の解釈 証券レポート 1743号 pp.21-35 2024/04
- 論文 非財務情報の重要な事項についての虚偽記載 佐伯仁志ほか編『刑事法の理論と実務 6』 pp.111-129 2024/06
- 著書 金融商品取引法 中央経済社 2024/04

鳩貝 耕一

研究課題 ICTを活用した教育理論・手法, 数理・データサイエンス・人工知能 (AI) ・量子コンピュータ教育手法, テレワークの統計学的解析

板倉 集一

研究課題 知的財産法における民事上の責任に関する研究

武田 佳久

研究課題 大社接続, 大学生の職業選択による意識調査, キャリアデザイン

平井 一樹

- 研究課題 初級日本語文法の「組み合わせ」と教材化、国際リテラシー社会人クラスでの「気づき」の深化
- 論文 リカレント特設科目 (国際理解) の授業報告 ―取り組みと課題― 甲南大学 全学共通教育センター紀要 3号 pp.95-105 2025/03/31

野村 幸宏

- 研究課題 ドイツ語教育法、ドイツ文化・社会、異文化間調整能力
- 論文 「新学習指導要領」に見る外国語学習の意義と目的 ―第二外国語を中心に― 甲南大学全学共通教育センター紀要 3号 pp.57-67 2025/03/31 ISSN2758-4917
- 著書 スタート！1 ノイ ―コミュニケーション活動で学ぶドイツ語― 三修社 2025/02/20 ISBN9784384123128
- 著書 スタート！1 ノイ ワークブック ―コミュニケーション活動で学ぶドイツ語― 三修社 2025/02/20 ISBN9784384123135
- 著書 スタート！1 ノイ ―コミュニケーション活動で学ぶドイツ語― 教授用資料 三修社 2025/02/20

野村 和宏

- 研究課題 パブリック・スピーチの理論と指導法、評価方法の研究、メディアとテクノロジーの外国語教育への応用, パブリック・スピーキング、スピーチ・コミュニケーション研究、日本人英語学習者の英語発話に及ぼす要因の分析
- 論文 Effects of Personality Traits and Affective Factors on English Prosodic Features in Japanese University Students: Acoustic and Physiological Analyses JACET Journal 69号 2024
- 論文 日米大学間におけるCOILプロジェクト実践―グローバル教育の活性化― 甲南大学全学共通教育センター紀要 第3号 pp.145-162 2025/03/31

- 講演発表 Cultivating Global Connctions: A Cross-Cultural COIL Initiative on Sustainability 2024/08/07 Summer Institute on International Educationk Japan 一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム 国際会議
- 講演発表 Effects of Personality Traits and AffectiveFactors on English Prosodic Features inJapanese University Students: Acoustic andPhysiological Analyses 2024/08/29 The 63rd JACET International Convention 大学英語教育学会 口頭発表 (一般) 国際会議
- 講演発表 Interpretive Reading "It's Christmas" by Louise Abney 2024/12/14 第29回大学英語教育学会オーラル・コミュニケーション・フェスティバル 大学英語教育学会オーラル・コミュニケーション研究グループ 国内会議

鷗木 千加子

- 研究課題 スポーツ指導及び体育授業における指導に関する研究, スポーツ史研究
- 論文 甲南大学の体育実技における学修支援についての報告 (2022-2023年度) 甲南大学スポーツ・健康科学教育研究センター紀要 25号 pp.39-46 2025/03 ISSN1881-2260

先端生命工学研究所

高津 正子

研究課題 核酸化学, 核酸イメージング

学長直属（特別客員教授）

杉本 直己

研究課題 非二重らせん核酸を活用した遺伝子発現の制御法を開発する核酸化学研究拠点の形成, 非Watson-Crickワールドの核酸化学の確立と国際核酸化学研究拠点の形成, いつ、どこで、どのように、核酸の高次構造は形成し機能するのかを予測する

論文 Guanidine modification improves functions of natural RNA-targeting alkaloids New Journal of Chemistry 48巻19号 pp.8529-8533 2024/04/08 ISSN1144-0546

論文 Contrasting effect of different crowding agents on pseudoknot RNA stability Medicinal Chemistry Research 33巻 pp.2079-2084 2024/08/24

論文 Elucidating the Role of Groove Hydration on Stability and Functions of Biased DNA Duplexes in Cell-Like Chemical Environments Journal of the American Chemical Society 146巻47号 pp.32479-32497 2024/11/06

論文 Imperfect G-quadruplex as an emerging candidate for transcriptional regulation Nucleic Acids Res. 53巻5号 pp.gkaf164-gkaf164 2025/02/27

講演発表 "To B or not to B" in Nucleic Acids Chemistry, "Basic Physical Chemistry of Nucleic Acids", "Applied Physical Chemistry of Nucleic Acids" 2024/06/04 The Seminar of Department of Bioorganic Chemistry, Centre of Molecular and Macromolecular Studies, the Polish Academy of Sciences Centre of Molecular and Macromolecular Studies of the Polish Academy of Sciences 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表 "To B or not to B" in Nucleic Acids Chemistry 2024/06/07 The Seminar of Department of Bioorganic Chemistry Poznan branch of the Polish Academy of Science 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表 "To B or not to B" in Nanotechnology of Nucleic Acids 2024/07 The Seminar of School of Pharmacy University of College London, School of Pharmacy 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表 Quantitative analysis for quadruplex functions regulated by ligand binding 2024/07 The Seminar of School of Pharmacy University of College London, School of Pharmacy 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表 Regulation of gene expression regulated by nucleic acid structures, University of Reading 2024/07/04 Seminar in University of Reading 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表 Development of pseudo-cellular systems to understand effects of molecular environments on G-quadruplex behaviors in cells 2024/07/05 20th RSC Nucleic Acids Forum ポスター発表 国際会議

講演発表 "To B or not to B" in Nanotechnology of Nucleic Acids 2024/07/05 11th International Conference on DNA Nanotechnology 山東師範大学 化学化工・材料科学学院 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表 Role of Bulge-Containing G-Quadruplexes in Transcriptional Regulation, London, The Royal Society of Chemistry 2024/07/05 20th RSC Nucleic Acids Forum ポスター発表 国際会議

講演発表 "To B or not to B" in Nucleic Acids Chemistry 2024/07/08 The Seminar of Institute of Elemento-organic Chemistry The State Key Laboratory of Elemento-organic Chemistry of Nankai University 口頭発表（招待・特別）国際会議

講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2024/09 XXV International Roundtable of Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids (IRT2024) 日本核酸化学会 口頭発表（招待・特別） 国際会議	講演発表	Nearest-neighbor parameters meet AI: Functional prediction of DNAzyme 2024/10/24 Advances in Noncanonical Nucleic Acids “ANNA2024” 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	ATP-mediated regulation of stability and function of i-motif DNA 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	Nearest-neighbor parameters with AI beyond experiments: Prediction of RNA secondary structures containing mismatches 2024/10/24 Advances in Noncanonical Nucleic Acids “ANNA2024” 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	Quantitative analysis of i-motif and G-quadruplex structures on CDH1 gene under pH and K ⁺ variations 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2024/10/28 The Seminar of Bioanalytical Chemistry Department, Faculty of Chemistry Adam Mickiewicz University 公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等 国際会議
講演発表	Gene regulatory mechanisms of imperfect G-quadruplexes with bulges 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	Beyond the Watson-Crick Double Helix: Make New History of Nucleic Acids (9) 2024/11/02 Asia 3 Roundtable on Nucleic Acids 2024 A3RONA 2024 Organizing Committee 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	Interactions between fluorogens and i-motif DNAs depending on loop sequences 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	To B Or Not To B” In Nucleic Acids Chemistry 2024/11/11 Solutions in Chemistry 2024 The Croatian Chemical Society 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	Twisting of helicity induces diverse functionality of i-motif DNA 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	神経変性疾患に関わる核酸の周辺環境に依存した構造解析とその制御, 福岡国際会議場・マリンメッセ福岡 2024/11/27 第50回日本分子生物学会年会 口頭発表（招待・特別） 国内会議
講演発表	Quantify specific interactions determining G-quadruplex function during cancer progression using a pseudo-cellular system 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2024/12/04 the 11th Asian Biological Inorganic Chemistry Conference Asian Bioinorganic Chemistry Steering Committee 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	Elucidating the Role of Groove Hydration on Stability and Functions of Biased DNA Duplexes in Cell-Like Chemical Environments 2024/09/03 XXV International Roundtable of Nucleosides ポスター発表 国際会議	講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2025/01/08 Special Departmental Seminar of Chemistry Department of City University of Hong Kong City University of Hong Kong 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	In Cell Statistical Thermodynamics for Analyzing and Controlling Functions of Nucleic Acids 2024/09/07 日本大学自然科学研究所国際核酸科学シンポジウム(IRT2024ポストシンポジウム) 日本大学文理学部自然科学研究所 口頭発表（招待・特別） 国際会議	講演発表	All about “To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2025/01/11 The 7th Asian Chemical Biology Conference 2025 (ACBC) The Hong Kong University of Science and Technology 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	疑似細胞システムを使った細胞内の四重らせん構造の解析 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2025/01/30 The Seminar of Department of Molecular Medicine of the University of Padua University of Padua 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	RNA複製エラーを引き起こす非ワトソン・クリック型塩基対形成 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2025/02/03 The Seminar of Department of Pharmacy, University of Naples Federico II University of Naples “Federico II” 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	分子クラウド環境に応答するグアニン四重鎖形成領域のゲノムワイドスクリーニング 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	Predictability of environment-dependent formation of the behavior of DNAs in human mitochondria 2025/03/04 To B or Not to B Symposium 2025 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	四重鎖DNAを内包した人工ウィルスカプシドの創製, つくば国際会議場 2024/09/12 第18回バイオ関連化学シンポジウム ポスター発表 国内会議	講演発表	Quantify specific interactions determining G-quadruplex and i-motif formation during cancer progression 2025/03/04 To B or Not to B Symposium 2025 口頭発表（招待・特別） 国際会議
講演発表	RNA複製酵素の精密性に及ぼす分子環境の効果 2024/09/25 第73回高分子討論会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (20) : G-quadruplex DNA formations depending on the environments in the mitochondrial matrix 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	細胞内核酸の安定性と機能を予測・決定するための重要因子を明らかにする疑似細胞システム 2024/09/25 第73回高分子討論会 口頭発表（一般） 国内会議	講演発表	New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (12) : Role of groove hydration on stability and functions of biased DNA duplexes 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
講演発表	Quantitative Investigation of i-Motif Structures in the CDH1 Gene Under pH and Potassium Ion Fluctuation 2024/10/13 第15回 日本女性科学者の会 学術大会 ポスター発表 国内会議		
講演発表	“To B or not to B” in Nucleic Acids Chemistry 2024/10/22 Giants and Forerunners in Nucleic Acid Chemistry the Slovenian Academy of Sciences and Arts 口頭発表（招待・特別） 国際会議		

- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (14),
Development of methods to predict RNA secondary
structures in cells 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会
口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (15):
Universal prediction of DNAzyme activity using new
nearest neighbor parameters and AI 2025/03/26 日本化学
会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (18) :
Comparison of the stability of DNA duplexes among
normal and cancer cells 2025/03/26 日本化学会第105回春
季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (13): Global
and local molecular crowding effects depending on the
size of crowding cosolute on stability of pseudoknot RNA
2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般）
国内会議
- 講演発表 Construction of artificial viral capsid encapsulating
quadruplex DNA and its intracellular delivery 2025/03/26
日本化学会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (19): ATP
regulates the DNA stability through structure-dependent
cation exchange 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口
頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids Chemistry (16) :
Cellular compartment size as a critical factor in the
stability and function of nucleic acids 2025/03/26 日本化学
会第105回春季年会 口頭発表（一般） 国内会議
- 講演発表 New Data Science in Nucleic Acids (17): Development of a
pseudo-cellular system with different molecular crowding
environments 2025/03/26 日本化学会第105回春季年会 口頭
発表（一般） 国内会議

研究年報

2 0 2 4

KONAN RESEARCH ANNUAL REPORT

2025 年 10 月 発行

編集 甲南大学フロンティア研究推進機構

発行 甲南大学

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

TEL 078-435-2754



